

B-LOOP

CADECT 操作マニュアル

令和 7 年 9 月 1 日

株式会社イズミコンサルティング

目次

1.	システム概要	8
1.1	概要	8
2.	概要説明	10
2.1	機能構成	10
2.2	画面構成	11
2.2.1	エリア入力画面	11
2.2.2	3D 表示	13
3.	システムの使い方（全体）	14
3.1	カテゴリメニュー（左メニュー）	14
3.2	編集領域の制御	15
3.2.1	ヘッダーメニュー	15
3.2.2	サブ・ヘッダーメニュー	24
3.2.3	フッターメニュー	28
4.	建物概要	30
4.1	建物概要を開く	30
4.2	建物概要を適用する	30
5.	室・部材情報設定	31
5.1	室・部材情報設定の機能説明	31
6.	室・部材 – 室情報	32
6.1	室情報を開く	32
6.2	室情報を追加する	33
6.3	室情報を削除する	34
6.4	室情報をコピーする	35
6.5	室情報を編集する	36
6.6	諸元表示項目を設定	37
6.7	室情報を最新の状態に更新する	38
7.	室・部材 – 構造体設定	39
7.1	構造体設定を開く	39
7.2	構造体設定を追加する	40
7.3	構造体を追加する（直接入力）	43
7.4	構造体設定を削除する	45
7.5	構造体設定をコピーする	46
7.6	構造体設定を編集する	47
7.7	構造体をグループ化する	48

7.7.1	グループ登録	48
7.7.2	グループ削除	50
7.7.3	グループコピー	51
7.7.4	グループ編集	52
7.7.5	グループ化	53
7.7.6	グループ解除	55
7.7.7	グループ化の変更	56
7.7.8	グループ登録時の構造体記号の自動採番について	58
7.8	構造体記号を自動採番する	59
8.	室・部材 – 建具	60
8.1	建具設定を開く	60
8.2	建具設定を追加する	61
8.2.1	ガラス記号	63
8.3	建具設定を削除する	64
8.4	建具設定をコピーする	65
8.5	建具設定を編集する	66
8.6	建具をグループ化する	67
8.6.1	グループ登録	67
8.6.2	グループ削除	70
8.6.3	グループコピー	71
8.6.4	グループ編集	72
8.6.5	グループ化	73
8.6.6	グループ解除	75
8.6.7	グループ化の変更	76
8.6.8	グループ登録時の建具名称の自動採番について	78
8.7	建具名称を自動採番する	79
9.	室・部材 – 垂直重ね壁	80
9.1	垂直重ね壁を開く	80
9.2	垂直重ね壁を追加する	81
9.3	垂直重ね壁を削除する	83
9.4	垂直重ね壁をコピーする	84
9.5	垂直重ね壁を編集する	85
10.	室・部材 – 負荷系統	86
10.1	負荷系統を開く	86
10.2	負荷系統を追加する	87
10.3	負荷系統を削除する	88
10.4	負荷系統をコピーする	89
10.5	負荷系統を編集する	90

11. 室・部材 – 諸元設定	91
11.1 諸元設定を開く	91
11.2 諸元設定を追加する	92
11.3 諸元設定を削除する	94
11.4 諸元設定をコピーする	95
11.5 諸元設定を編集する	96
12. 階	97
12.1 階を開く	97
12.2 階を設定する	97
12.3 階を追加する	98
12.4 階を削除する	99
12.5 階を編集する	100
12.6 階の入れ替え	101
13. 下図	102
13.1 下図を開く	102
13.2 下図を表示する	103
13.2.1 画像読込	103
13.2.2 画像設定	105
13.2.3 ポイントを指定して移動	106
13.2.4 画像の表示設定	108
13.3 下図を削除する	109
13.4 下図を別の階の下図に合わせて設定する	110
14. エリア	111
14.1 エリア入力を開く	111
14.2 エリアを入力する	111
14.2.1 頂点入力	112
14.2.2 矩形入力	112
14.2.3 エリア設定情報	113
14.2.4 諸元設定	117
14.3 エリアをまとめて設定する	119
14.4 エリアの範囲を再設定する	122
14.5 頂点を増やす	123
14.5.1 エリアメニューから頂点追加	123
14.5.2 壁メニューから頂点追加	123
14.5.3 頂点メニューから頂点追加	124
14.6 エリアをコピーする	125
14.7 エリアを他階にコピーする	126
14.7.1 エリアメニューからエリアをコピーする	126

14.8	壁をまとめて設定する	127
14.9	構造体（壁）種別ごとに壁の色を変更する	129
14.10	壁の移動と寸法入力	130
14.11	エリアを削除する	131
14.12	壁を削除する	132
14.13	頂点を削除する	133
14.14	屋外空間を作成する	134
14.15	エリア合体.....	137
14.16	エリア分割.....	138
14.17	円弧	139
14.18	エリアの建物用途、室用途、空調有無による色分け表示	140
14.18.1	室用途設定エリアの適用	141
14.18.2	室用途設定エリアの凡例	143
14.19	吹抜け空間における上下階の室情報の紐づけ設定	144
14.19.1	吹抜けを設定する	144
14.19.2	吹抜けを解除する	147
14.20	壁の配置 No を自動採番	149
15.	建具	150
15.1	建具を開く	150
15.2	建具を設定する	150
15.3	建具リストから仕様情報を追加する	153
15.4	建具リストから仕様情報を更新する	156
15.5	建具の仕様を作成する	158
15.6	建具の仕様を変更する	162
15.7	開口をまとめて設定する	163
15.8	建具を他階にコピーする	163
15.9	建具を削除する	164
16.	屋根	165
16.1	屋根を開く	165
16.2	屋根を入力する	166
16.3	エリアから自動生成	167
16.4	自動生成	169
16.5	屋根を削除する	170
16.6	屋根に点を追加する	170
16.7	屋根の点を削除する	171
16.8	屋根を編集する	171
16.9	屋根を自動分割	172
16.10	屋根を手動分割	173

16.11	屋根合体	175
16.12	勾配屋根の計算	176
16.12.1	勾配屋根の計算を入力する	177
16.13	屋根をまとめて設定する	179
17.	汎用作図 – 通り芯	180
17.1	通り芯を開く	180
17.2	通り芯を直接入力する	181
17.3	通り芯を 2 点入力する	183
17.4	通り芯の選択	185
17.5	通り芯の再設定	186
17.6	通り芯の削除	187
17.7	通り芯の再配置	188
18.	汎用作図 – 補助ポイント	189
18.1	補助ポイントを開く	189
18.2	補助ポイントを追加する	190
18.3	補助ポイントを削除する	191
19.	汎用作図 – 文字	192
19.1	文字を開く	192
19.2	文字を追加する	192
19.3	文字を削除する	194
20.	汎用作図 – 線・多角形	195
20.1	線・多角形を開く	195
20.2	線・多角形を入力する	196
20.3	線・多角形を削除する	198
21.	汎用作図 – 円・円弧	199
21.1	円・円弧を開く	199
21.2	円・円弧を入力する	200
21.3	円・円弧を削除する	201
22.	リスト表示	202
22.1	リスト表示を開く	202
22.1.1	部屋リストの並び替え設定	202
22.2	リストからオブジェクトを選択する	203
23.	3D 表示リスト表示	204
23.1	3D 表示を開く	204
23.2	表示メニューを開く	205
23.3	リスト表示を開く	206

23.4	3D の強調表示	207
23.5	3D の構成	209
24.	ファイル	210
24.1	ヘッダーメニューから開く	210
24.2	室/部材データ・インポート	211
24.3	室/部材データ・エクスポート	212
24.4	図面 (PDF)・エクスポート	213
24.5	リスト (CSV)・エクスポート	218
25.	保存	220
25.1	上書き保存 (B-LOOP 共通データ生成なし)	220
25.2	上書き保存 (B-LOOP 共通データも生成する)	220
25.2.1	保存前のエラーチェック	221
25.2.2	保存時のエラー対処	224
25.3	バックアップを別プランとして複製保存	226
26.	チェック機能	228
26.1	ヘッダーメニューからチェック	228
27.	補正機能	229
27.1	ヘッダーメニューから補正	229
27.1.1	部屋・エリア境界直線化	230
27.1.2	エリアのポイント結合	231
27.1.3	間取りをチェックして補正	232
27.1.4	間取りをチェックして補正 - 鋭角エリア	232
27.1.5	間取りをチェックして補正 - 歪み壁	233
27.1.6	間取りをチェックして補正 - 不揃い点	234
27.1.7	間取りをチェックして補正 - 交差エリア	235
27.1.8	間取りをチェックして補正 - 隙間部屋	236
27.2	エリア選択して補正	237
27.2.1	部屋・エリア境界直線化	238
27.2.2	エリアのポイント結合	239
27.3	Revit データ取込時の図面補正	240
27.3.1	簡易補正	240
27.3.2	詳細補正	241

1. システム概要

1.1 概要

CADECT では、Revit アドオンツールから出力された建物モデル CAD データから、データ連携して簡易 2D 平面図（室エリア）や簡易 3D モデル化し、ビューア上で確認や修正が行うことができます。また、Revit を使用せずに、CADECT で簡易建物モデルを作成することもできます。簡易建物モデルを使って、図面の編集や、STABRO 負荷計算アプリなどに使用する情報を付加することを目的としたツールです。

CADECT ではインストールなど環境整備不要で、ブラウザ上で使用できます。

【推奨環境】

- ・ OS Windows10、 Windows11
- ・ ブラウザ Windows : Chrome(最新バージョン)
- ・ 表示解像度 1920×1080 以上（表示スケール 100%の場合）
- ・ フォントサイズ 中

※ Windows Chrome でのフォントサイズ設定方法

Chrome⇒設定⇒デザイン⇒フォントサイズ⇒中（推奨）



- ・ CPU、メモリ

Revit2021 の推奨環境を基準とします。

AUTODESK Revit 2021 製品の動作環境情報

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/revit/troubleshooting/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/System-requirements-for-Autodesk-Revit-2021-products.html>

※ Revit モデルを読み込む場合は、そのモデルを作成した PC と同程度のスペックが必要となります。

・パフォーマンス分析

マシンのスペックに対して、処理能力、ブラウザ、GPU、WebGL の 4 項目について起動時にパフォーマンス分析した結果を表示します。結果に対する動作環境の目安については下記の表をご参照ください。表示方法については、『3.2.1.2』をご参照ください。

パフォーマンス分析ダイアログ	パーセンテージ	動作環境の目安
	100%	快適に動作します。
	75～100%未満	ほぼ問題なく動作します。
	50～75%未満	動作しますが遅延などが発生する可能性があります。
	～50%	動作しないか動作保証はできません。

2. 概要説明

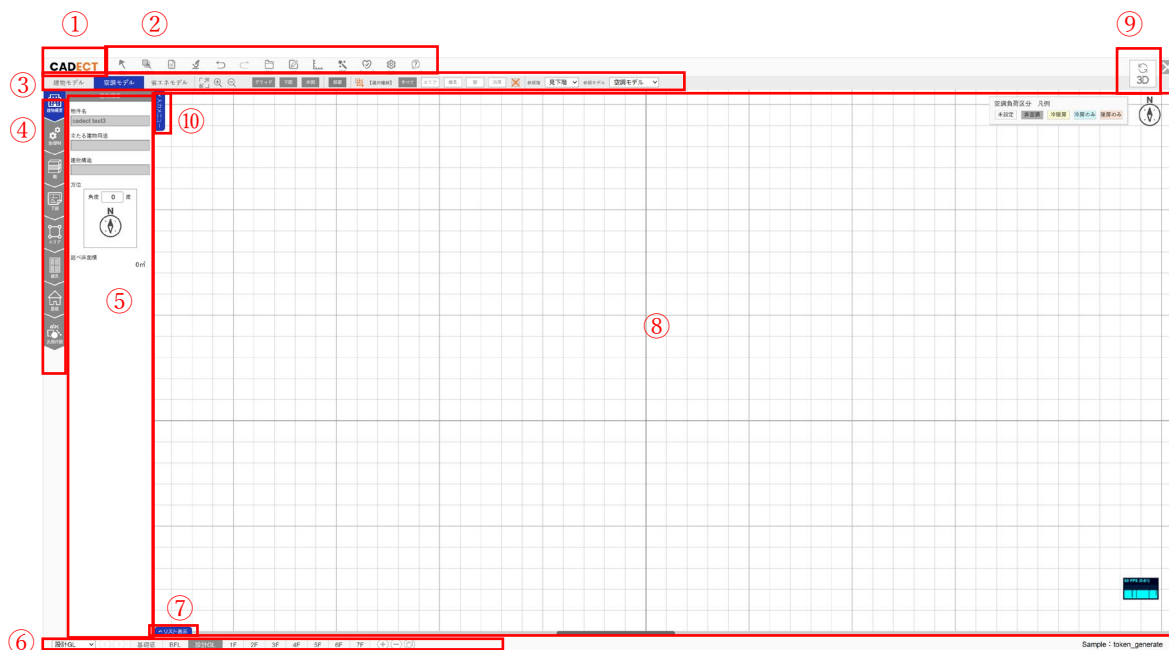
2.1 機能構成

主な機能一覧

建物概要	間取りの主たる建物用途、構造、方位などを設定します。
室/部材	図面に使用する室情報・部材情報を作成します。
階	建物の階構造、高さ情報の設定をします。Revit で設定してあれば、連携時に階情報もインポートされます。
下図	下図として使用したい画像、PDF または DXF を取込みます。DXF は画像情報として取り込まれます。
エリア	エリア入力で、間取りを作成します。線分を入力し、自動的にエリアに変換します。
建具	室/部材で作成した建具アイテムを壁に配置します。
屋根	フラット屋根を入力します。
汎用作図	間取り作成をより行いやすくするための、通り芯、補助点や汎用図形を作成することができます。
3D ビュー	2D ビューで作成した間取りを 3D 表示します。

2.2 画面構成

2.2.1 エリア入力画面



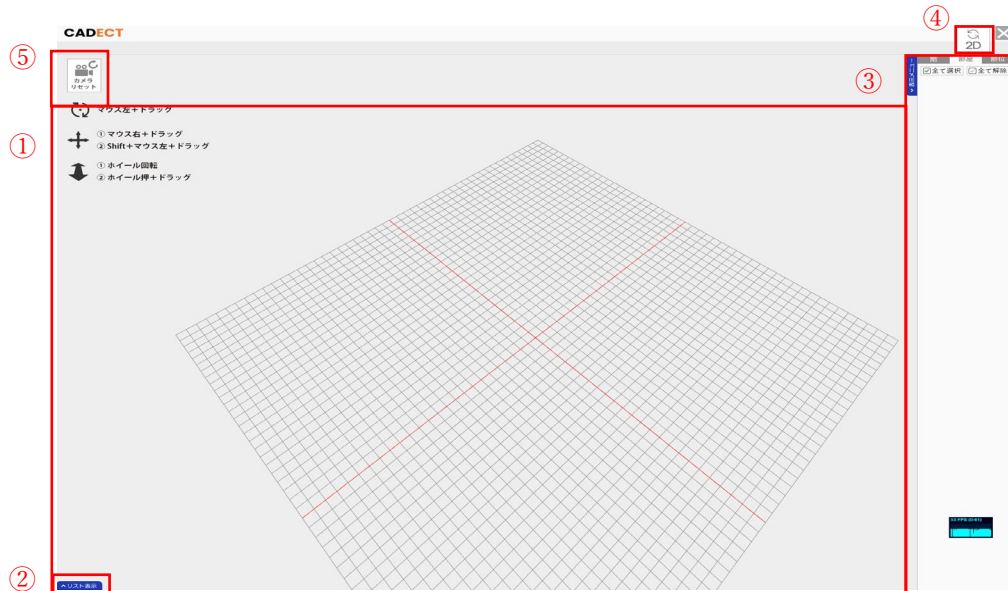
【エリア入力画面構成】

①	ロゴ	システムのロゴ表示です。
②	ヘッダーメニュー	選択ボタン、次選択ボタン、ファイル、アンドウ・リドゥボタン、保存ボタン、編集メニュー、表示メニュー、補正メニュー、チェックメニュー、設定メニュー、ヘルプメニューを含みます。エリア編集に関わる全体的な処理や設定に関する機能があります。
③	サブ・ヘッダーメニュー	モデル切り替えボタン、画面の拡大縮、表示設定（グリッド、下図、作図、部屋）、選択方法、選択アイテム（すべて、エリア、建具、壁、汎用）、スナップ機能（全スナップ、汎用機能のみスナップ、全スナップなし）を含むメニュー領域。エリア編集に関わるモデルや表示設定に関する機能があります。
④	カテゴリメニュー	入力メニューの切り替えボタン。カテゴリを選択すると、選択したカテゴリに応じたメニューが開閉して表示されます。

		【カテゴリ種類】 ・建物概要 ・室/部材 ・階 ・下図 ・エリア ・建具 ・屋根 ・汎用作図
⑤	入力メニュー	選択されたカテゴリに応じたメニュー一覧を表示する領域。アイテムの入力開始ボタンの他、間取りに関する情報を設定する画面。
⑥	フッターメニュー	階選択のドロップダウンリストと、階選択のタブリストがあります。ドロップダウンリストとタブリストは連携しています。ここで階の増減も可能です。
⑦	リスト表示	表示中の間取りの部品一覧の表示。
⑧	編集領域	エリア等の情報を設定後、編集領域に表示させます。
⑨	3D ボタン	3D 表示に切り替えます。
⑩	√入力メニュー	入力メニューを閉じるボタン。

2.2.2 3D 表示

エリア入力画面の 3D ボタンをクリックして表示される画面です。



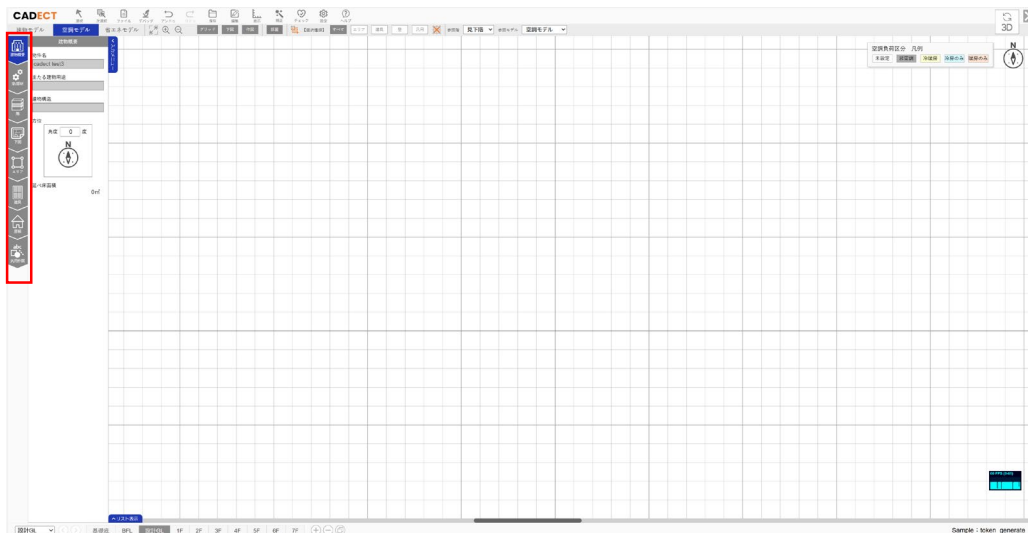
【3D 表示画面構成】

①	3D 立体表示領域	エリア入力画面で設定した建物情報を 3D で表示します。
②	リスト表示	表示中の間取りの部品一覧の表示。
③	表示メニュー	部品種別ごとの表示制御メニュー。
④	2D ボタン	エリア入力画面に切り替えます。
⑤	カメラリセット	カメラ位置を初期位置に戻します。

3. システムの使い方（全体）

3.1 カテゴリメニュー（左メニュー）

入力メニューの切り替えボタン。カテゴリを選択すると、選択したカテゴリに応じたメニューが開閉して表示されます。



【カテゴリ種類】

- ・建物概要…建物情報の表示と編集を行う画面。
- ・室/部材（室・部材情報設定）…部屋の用途や壁・床・天井・屋根の構造体、建具等の情報を設定する画面。室情報、構造体、建具の設定を含みます。
- ・階…物件の階数を設定するための画面。
- ・下図…下絵画像もしくは、下絵 CAD 図面（CAD 図面を画像化）を読み込む機能。
- ・エリア…エリアを指定するための画面。
- ・建具…建具を指定するため画面。カーテンウォール、窓、ドアの設定を含みます。
- ・屋根…屋根を指定するための画面。
- ・汎用作図…図面のガイド図を作図するための機能。

3.2 編集領域の制御

3.2.1 ヘッダーメニュー

エリア編集に関わる全体的な処理や設定に関係します。



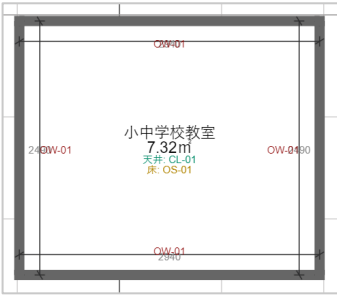
【ヘッダーメニュー一覧情報】

①	選択	編集領域を選択します。入力メニューが出ている場合は閉じます。
②	次選択	クリックした座標に他の要素(エリア、壁、建具等)が重なって配置されている場合に、同じ座標にある次の要素を選択します。
③	ファイル	外部ファイルの入出力に関する機能です。詳細情報については、『 ファイル 』をご参照ください。
④	アンドゥ	手順の一つ前に戻ります。
⑤	リドゥ	手順の次に進みます。アンドゥを使用時に使います。
⑥	保存	編集中の建物データの保存に関する機能です。
⑦	編集	エリア情報の編集に関する機能です。 【編集情報】 ・ アンドゥ…手順の一つ前に戻ります。 ・ リドゥ…手順の次に進みます。アンドゥ使用時に使います。
⑧	表示	部屋名、天井情報、床情報、寸法線（外壁寸法線、内壁寸法線、地中壁・接地壁寸法線、界壁寸法線）、建具情報、壁、壁情報、の表示/非表示。 「全て選択」、「全て解除」ボタンをクリックすると、表示/非表示を一括操作できます。
⑨	補正	Revit データを取り込んだ際の図面補正や補正補助として使用します。
⑩	チェック	データ連携に必要なエリア形状などの作図入力に関するチェックを行い、検出されたエラーを表示する機能です。詳細は、『 チェック機能 』をご参照ください。
⑪	設定	表示カスタマイズ、パフォーマンス分析、文字サイズ、壁色を設定します。各種設定情報を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
⑫	ヘルプ	CADECT のバージョン番号、ショートカットキー一覧、オンラインマニュアル、プランデータの送信（サポート専用）に関する記載があります。

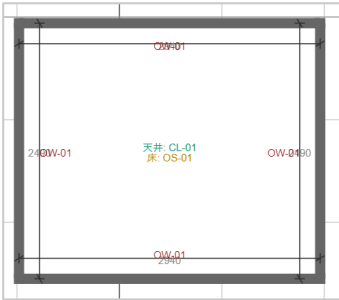
3.2.1.1 表示



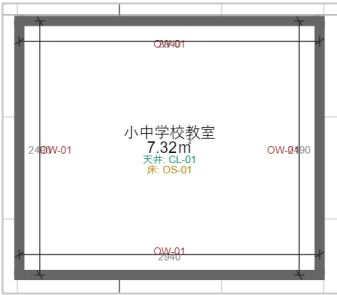
【部屋名の表示】



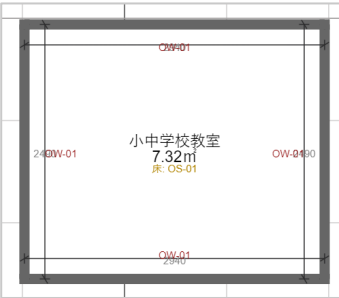
【部屋名の非表示】



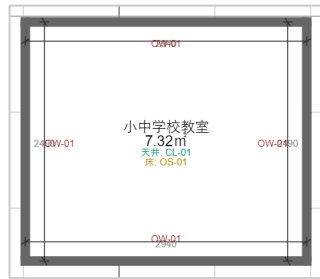
【天井情報の表示】



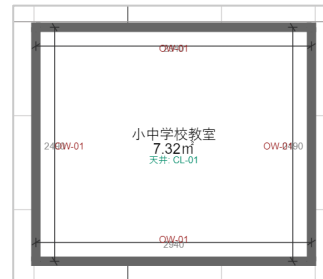
【天井情報の非表示】



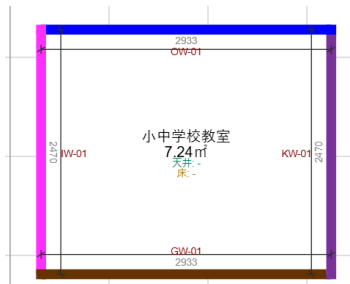
【床情報の表示】



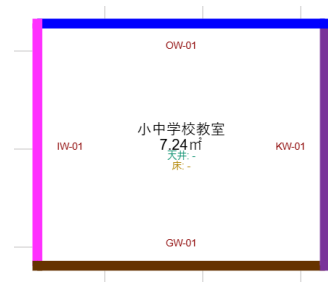
【床情報の非表示】



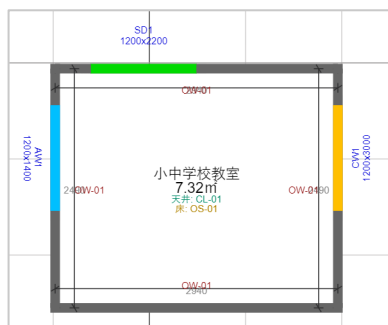
【寸法線の表示】



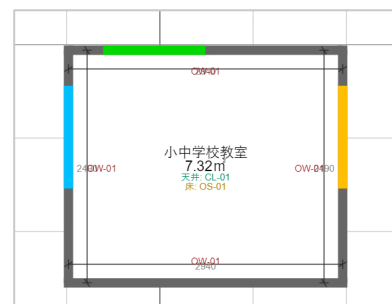
【寸法線の非表示】



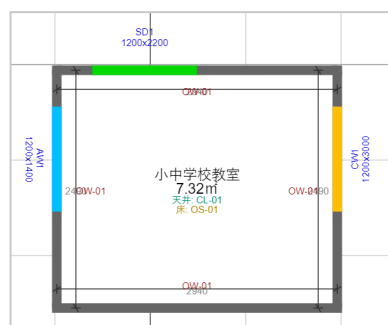
【建具符号の表示】



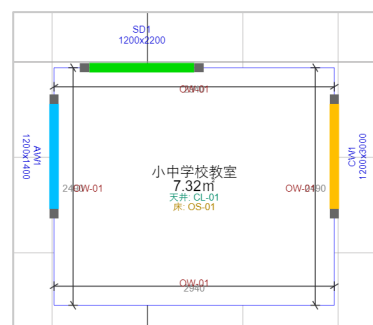
【建具符号の非表示】



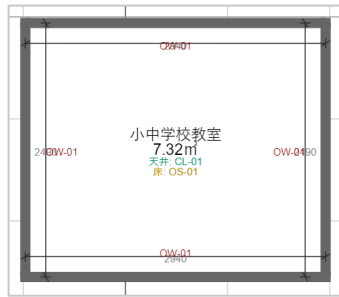
【壁の表示】



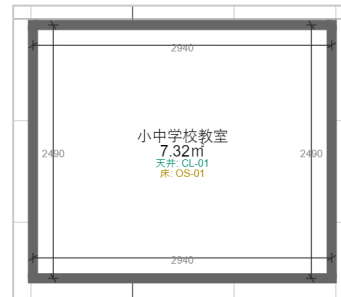
【壁の非表示】



【壁情報の表示】



【壁情報の非表示】



3.2.1.2 設定

①

表示カスタマイズ

初期値に戻す

☒ 5グリッド単位でグリッド線を太くする

グリッド色：

グリッド中心色：

背景色：

②

通知

保存確認：

☒ 有り ☐ 無し

保存確認の間隔：

30

分

③

パフォーマンス分析

☐ 起動時にパフォーマンスチェックを行わない

④

文字サイズ設定

初期値に戻す

部屋名：

150 mm

寸法：

100 mm

建具情報：

100 mm

壁情報：

100 mm

天井情報：

100 mm

床情報：

100 mm

⑤

壁色設定

初期値に戻す

外壁：

内壁：

地中壁：

シンボル文字サイズ設定

初期値に戻す

系統名：

150 mm

機器番号：

150 mm

形式：

150 mm

OK

キャンセル

【設定情報】

①	表示カスタマイズ	表示グリッド・背景色の変更をします。
②	通知	自動保存確認ダイアログの設定をします。保存確認「有り」を選択した場合、保存確認の間隔の時間に応じて保存確認ダイアログを自動通知します。デフォルトは、「有り」に設定されています。「無し」を選択した場合は通知しません。 保存確認の間隔：5分～300分の間で設定できます。 保存の確認 × 前回の保存から5分が経過しています。 作業内容を保存しますか？ はい いいえ 保存の確認の際「はい」を選択した場合は、「保存ダイアログ」へ遷移します。保存の詳細については、『保存』をご参照ください。

③	パフォーマンス分析	起動時にパフォーマンス分析ダイアログを表示するかどうかを設定します。起動時に表示させない場合は、「起動時にパフォーマンスチェックを行わない」へチェックを入れます。パフォーマンス分析の詳細については、『1.1』をご参照ください。  The screenshot shows a window titled 'パフォーマンス分析' (Performance Analysis). At the top, a green circle indicates '100%' completion with the text 'この環境では快適に動作します。' (Operates comfortably in this environment). Below is a section titled 'Performance Results' containing a table: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>処理能力</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>処理能力</td> <td>100%</td> <td>CPUの処理能力を計測しました。</td> </tr> <tr> <td>ブラウザ</td> <td>100%</td> <td>接続ブラウザはChromeです。</td> </tr> <tr> <td>GPU</td> <td>100%</td> <td>グラフィックボードの性能を計測しました。</td> </tr> <tr> <td>WebGL</td> <td>100%</td> <td>対応WebGLの性能を計測しました。</td> </tr> </tbody> </table> At the bottom, there is a checkbox labeled '起動時にパフォーマンスチェックを行わない' (Do not perform performance check at startup) and a '閉じる' (Close) button.		処理能力	結果	処理能力	100%	CPUの処理能力を計測しました。	ブラウザ	100%	接続ブラウザはChromeです。	GPU	100%	グラフィックボードの性能を計測しました。	WebGL	100%	対応WebGLの性能を計測しました。
	処理能力	結果															
処理能力	100%	CPUの処理能力を計測しました。															
ブラウザ	100%	接続ブラウザはChromeです。															
GPU	100%	グラフィックボードの性能を計測しました。															
WebGL	100%	対応WebGLの性能を計測しました。															
④	文字サイズ設定	部屋名/寸法/建具情報/壁情報/天井情報/床情報の表示文字の大きさと色を設定します。文字サイズには、50 から 1000 までの値が入力できます。															
⑤	壁色設定	2D ビュー上の外壁/内壁/地中壁の色を設定します。 (本マニュアルに記載されている 2D ビュー上の画像内の壁の色が初期値になっていない箇所がありますが、記載内容に問題はありません。)															

3.2.1.3 ヘルプ



【設定情報】

①	バージョン情報	CADECT のバージョン情報を表示します。
②	ショートカット	作図中の各キー操作についての説明を掲載しております。 ※ 「クリック位置に移動」が効かない場合は、スムーズスクロールが無効になっている場合があります。スムーズスクロールが有効になっているか確認し、以下の手順より有効にしてください。(OS : Windows ブラウザ : Chrome) 【詳細手順】 ① Chrome のアドレスバーに「chrome://flags」を入力し、Enter キーを押す。 ② 画面上部の「Search flags」の欄に「smooth scrolling」を入力する。 smooth scrolling ③ smooth scrolling フラグの設定を「Enabled」に変更し、Chrome を再起動する。 Smooth Scrolling Animate smoothly when scrolling page content. - Windows, Linux, ChromeOS, Android, Fuchsia, Lacros #smooth-scrolling Default Enabled Disabled

③	オンラインマニュアル	「オンラインマニュアルはこちら」をクリックでマニュアルをブラウザから閲覧できます。
④	サポートを依頼する	「依頼する」ボタンをクリックで、作業中のプランデータに関するお問い合わせの送信できます。問題のあるデータの解決、及び今後の機能改善に用いることができます。 「プランデータの閲覧及び複製を承諾する」場合は、チェックボックスへチェックを入れてください。「依頼する」をクリックすると、お問い合わせ内容ダイアログへ遷移します。

3.2.1.4 お問い合わせ内容

①

お問い合わせ内容

お客様情報

企業名	〇〇工務店
メールアドレス	登録メールアドレスを表示します
ユーザー名	ユーザー名を表示します
物件No	
物件名	Sample
プラン名	token_generate
ご希望連絡先	※上記と異なるメールアドレスへご連絡をご希望の場合は、ご入力ください。 sample@sample.co.jp

②

お問い合わせ概要

作図方法が分からない

③

お問い合わせメッセージ（※必須）

- ◆どのタイミングで（例：メニューから通り芯を選択したとき）
- ◆どんな操作をしたら（例：線を描画し、次に使いたい図形をメニューから選
- ◆どうなった（例：描いたはずの線が消えてしまった）
- ◆どうなってほしかった（例：描画が残ってほしかった）
- ◆何で困っているか（例：正しい操作手順がわからない）

作図方法が分からない

- エラー解消方法が分からない
- 保存ができない
- 「他のアプリとの連携用」にチェックを付けて保存できない
- 各アプリ連携について
- その他

④

送信

【設定情報】

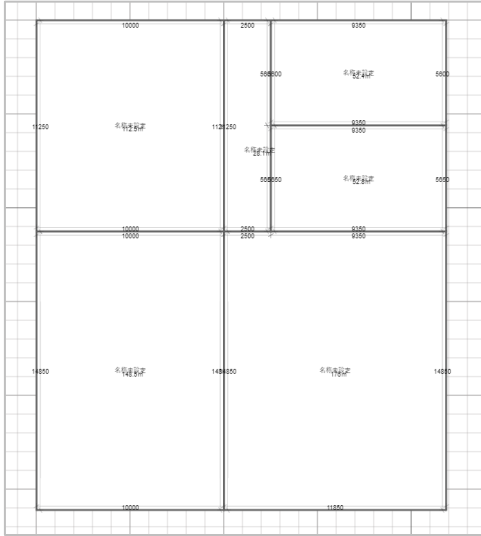
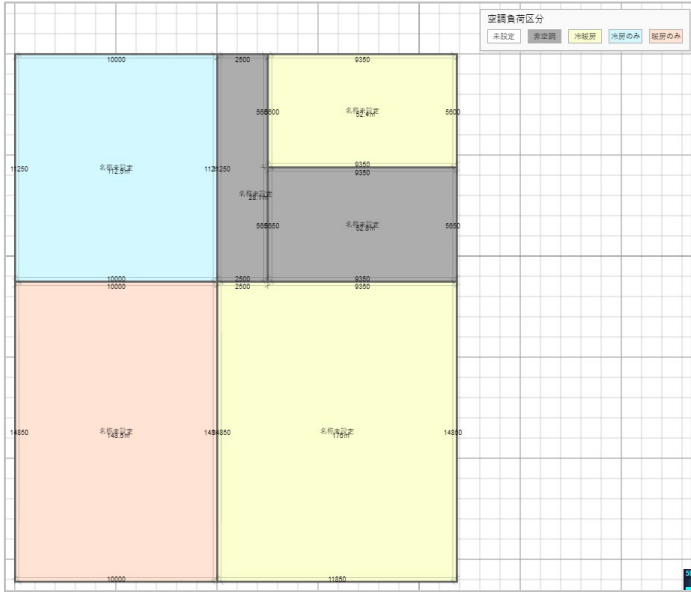
①	お客様情報	企業名、メールアドレス、ユーザー名、物件 No、物件名、プラン名、を表示します。ご希望連絡先は、登録メールアドレスと異なる場合は入力してください。
②	お問い合わせ概要	お問い合わせの概要をプルダウンより選択してください。
③	お問い合わせメッセージ	ご質問内容をご参考に詳細をご記入ください。
④	送信	「送信」クリックで確認メッセージダイアログへ遷移します。内容を確認後、「はい」をクリックするとお問い合わせ内容が弊社サポートへ送信されます。また、送信が成功した場合は、ご登録メールアドレス及びご希望連絡先（入力した場合）へ通知されます。 確認メッセージ 以下の内容で送信します。よろしいですか？ 閲覧および複製の許諾 許諾しない お問い合わせ概要 作図方法が分からない お問い合わせメッセージ ◆どのタイミングで（例：メニューから通り芯を選択したとき） ◆どんな操作をしたら（例：線を描画し、次に使いたい図形をメニューから選択した） ◆どうなった（例：描いたはずの線が消えてしまった） ◆どうなってほしかった（例：描画が残ってほしかった） ◆何で困っているか（例：正しい操作手順がわからない） はい いいえ

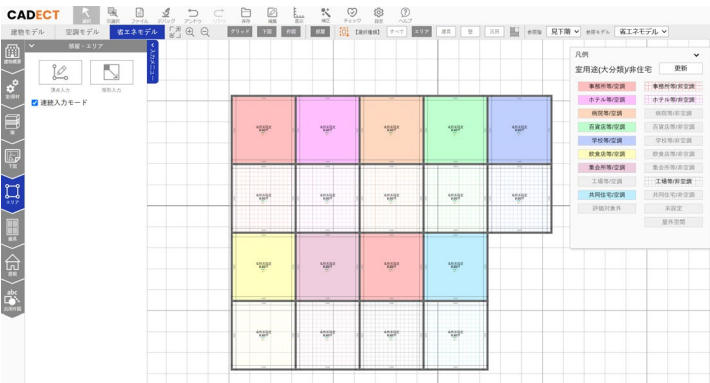
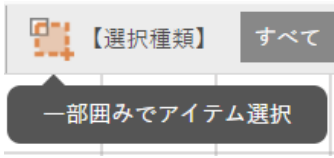
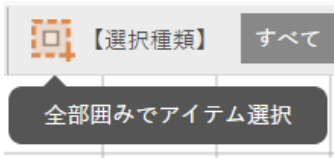
3.2.2 サブ・ヘッダーメニュー

エリア編集に関わるモデルや表示設定に関係します。

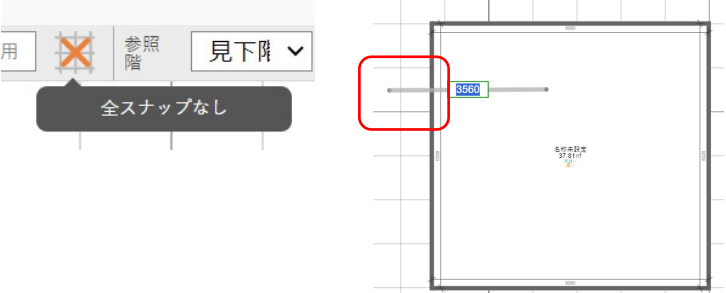


【サブ・ヘッダーメニュー一覧情報】

①	建物モデル 建物モデル	作成した建物の情報を確認できます。 
②	空調モデル 空調モデル	空調負荷区分が確認できます。エリアごとに非空調（換気あり）、非空調（換気無し）、冷暖房、冷房のみ、暖房のみを色で分けて確認できます。 

③	省エネモデル 省エネモデル	エリアの建物用途、室用途、住宅を色分けし確認できます。 
④	画面の拡大縮小 	画面を拡大・縮小できます。
⑤	表示設定（グリッド、下図、作図） グリッド 下図 作図	グリッド線・読み込んだ下図・作成した作図の表示/非表示を設定できます。
⑥	表示設定（部屋） 部屋	部屋領域の表示を透明、半透明、不透明の3段階で設定できます。
⑦	選択方法/ 選択対象 (すべて、エリア、 建具、壁、汎用) 【選択種類】	アイテムを選択する際、一部囲み、もしくは全部囲みのいずれかが選択できます。また、下記選択種類の中から選択対象アイテムを指定できます。 ・一部囲み…アイテムの一部を囲むとアイテムが選択できます。  ・全部囲み…アイテムのすべてを囲むとアイテムが選択できます。  【選択種類】 ・すべて…選択制限がなく、エリア、建具、壁、屋根、汎用、全て選択できます。エリアを囲むように選択した場合はエリア選択が優先となり、壁は選択されません。

		・エリア…エリアのみ選択可能となります。 ・建具…建具のみ選択可能となります。 ・壁…壁のみ選択可能となります。 ・汎用…汎用作図のみ選択可能となります。
⑧	スナップ機能 	頂点や線、汎用作図へのスナップ（吸着）機能です。ボタンをクリックすることで、作図中でも3パターン切り替えが可能です。キーボードの「S」押下でも同様の操作が可能です。 ・全スナップ…全ての頂点と線をスナップします。 作図入力中に部屋や屋根の辺と重なる箇所に交点マークが表示されます。 ・汎用作図のみスナップ…汎用作図のみスナップします。 ・全スナップなし…全てにスナップしません。 作図入力中に部屋や屋根の辺と重なる箇所には交点マークは表示されません。

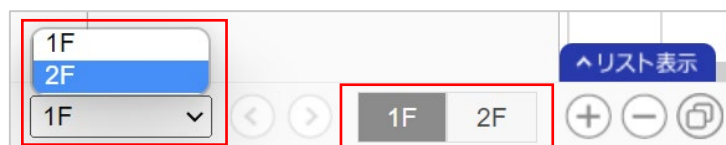
		
⑨	参照階・参照モデル 参照階 見下階 ▼ 参照モデル 建物モデル 、	各種選択種類の中から、作図の下に表示する階を選択します。 【選択種類】 1. 参照階 ・なし…階を表示しません。 ・見上階…作図中の階の1つ上階を表示します。 ・見下階…作図中の階の1つ下階を表示します。 ・1F…1Fを表示します。 ・2F…2Fを表示します。 ・3F…3Fを表示します。 ※ 上記の1F・2F・3Fは例であり作成した階の名称に準じます。 2. 参照モデル ・建物モデル…参照階で設定された階の建物モデルを表示します。 ・空調モデル…参照階で設定された階の空調モデルを表示します。 ・省エネモデル…参照階で設定された階の省エネモデルを表示します。

3.2.3 フッターメニュー

階の追加・削除・コピー・選択等の設定をします。

3.2.3.1 階の選択

階選択のドロップダウンリスト、または階選択のタブリストから編集領域に表示させる階を選択します。



3.2.3.2 階の追加

フッターメニューから階を追加する場合は、「+」ボタンをクリックします。



「+」ボタンをクリックすると、階の追加ダイアログが表示されます。

① 地上/地下: ☒ 地上 ☐ 地下

② 階名称: 1F

③ 連携: CADECT

④ 階高さ: 3500 mm

⑤ 天井高: 2400 mm

⑥ 床高: 50 mm

追加する キャンセル

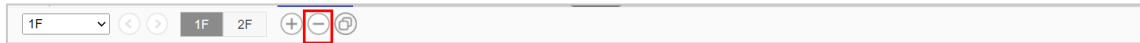
各種情報を選択して、「追加する」ボタンをクリックします。

【設定情報】

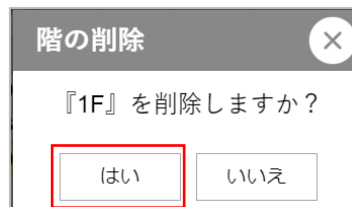
①	地上/地下	地上階、もしくは地下を追加するかを選択します。
②	階名称	階の名称を入力します。
③	連携	CADECT で階を追加するので、連携には「CADECT」がデフォルト設定されています。
④	階高さ	建物の階の高さ。地上の 1 階分の高さを数値入力します。
⑤	天井高	建物の天井の高さ。床から天井までの高さを数値入力します。
⑥	床高	建物の床の高さ。階高の 0 mm を基準として床部分の高さを数値入力します。

3.2.3.3 階の削除

追加した階を削除する場合は、「－」ボタンをクリックします。



「－」ボタンをクリックすると、階の削除ダイアログを表示します。



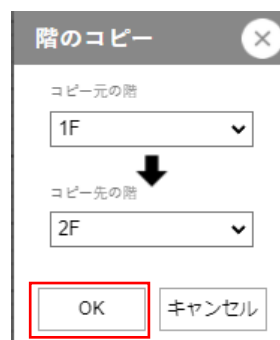
「はい」をクリックすると、削除されます。

3.2.3.4 階のコピー

階のエリアを別階に複製する場合は、「コピー」ボタンをクリックします。



「コピー」ボタンをクリックすると、階のコピーダイアログを表示します。コピー元とコピー先の階を選択して、「OK」ボタンをクリックします。



3.2.3.5 物件名・プラン名の表示

フッターの右端に B-LOOP 上の物件名とプラン名を表示します。物件名：プラン名の形式で表示します。



4. 建物概要

建物の概要設定を行い、建物概要を作成します。方向は 3D 表示で建物の向きを確認できます。

4.1 建物概要を開く

カテゴリメニューより建物概要を開きます。

4.2 建物概要を適用する

設定情報を選択して適用します。

【設定情報】

①	方位	建物の角度。建物の角度を入力します。角度を変更し、方位磁石で方向を確認することができます。整数のみ 0～359 まで入力可能です。
---	----	---

5. 室・部材情報設定

5.1 室・部材情報設定の機能説明

左メニューより、「室/部材」ボタンをクリックし、室・部材情報設定を開きます。



【室・部材種類】

①	室情報	室を登録します。
②	構造体	構造体を登録します。
③	建具	建具を登録します。
④	垂直重ね壁	垂直重ね壁を登録します。
⑤	負荷系統	負荷系統を登録します。
⑥	諸元設定	諸元設定を登録します。

6. 室・部材 - 室情報

室情報を行い、エリアメニューや屋根メニューに表示される室リストを作成します。モデル（建物モデル、空調モデル、省エネモデル）によって設定可能項目が変わります。

6.1 室情報を開く

カテゴリメニューより、室/部材をクリックし、室・部材情報設定を開きます。室情報ボタンをクリックし、室情報設定ダイアログを開きます。



6.2 室情報を追加する

室情報設定ダイアログの追加ボタンをクリックして情報設定ダイアログを開きます。

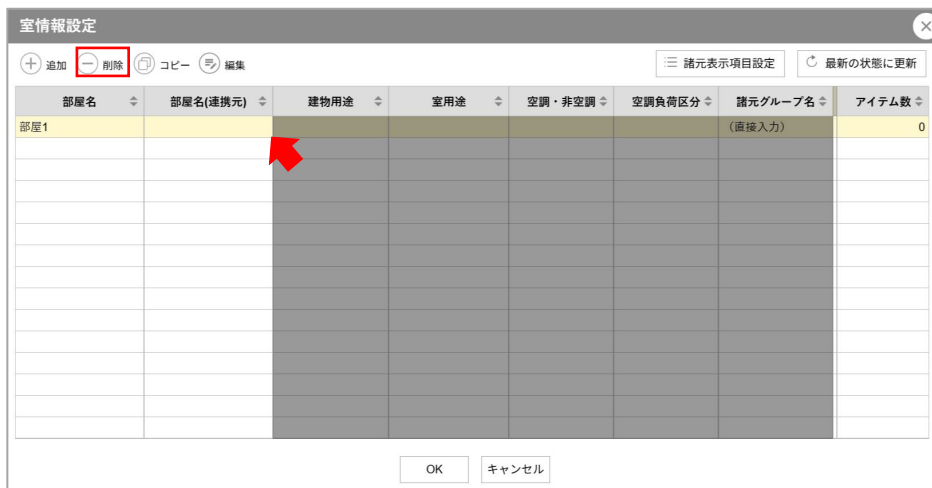
各種情報を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

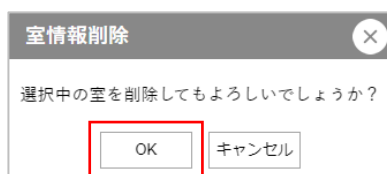
①	建物用途	室の建物用途。選択を変更すると室用途の選択肢が変わります。省エネモデルのみ入力可能です。
②	室用途	室の用途。省エネモデルのみ入力可能です。
③	部屋名 (CADECT)	室を作成した際に表示される部屋名称。室用途選択で初期値は変動しますが、変更が可能です。建物モデルで部屋を追加する際、部屋名は、「部屋 1」「部屋 2」「部屋 3」…と、部屋 +1 の連番にて初期名称を自動表示します。この場合も部屋名の変更が可能です。
④	空調・非空調	室が空調のある空間なのか、ない空間なのかを設定します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。空調モデル、省エネモデルでは、設定した内容により室が色分け表示されます。省エネモデルでは、室用途のデフォルト空調が非空調の場合は、入力不可となります。
⑤	空調負荷区分	室の空調負荷区分を設定します。選択肢は、冷暖房・冷房のみ・暖房のみの 3 種類。空調モデルで、設定した内容により室が色分け表示されます。空調モデルのみ入力可能です。
⑥	諸元グループ	諸元グループを設定します。空調モデルのみ入力可能です。 ※ 「諸元グループ」の概要については 「CADECT⇔STABRO データ変換対応表」／ 「CADECT⇔SeACD データ変換対応表」の巻末で説明しています。

6.3 室情報を削除する

室情報から削除したい室の行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーを押しながら削除したい行を複数選択し、「削除」ボタンをクリックします。



「削除」ボタンをクリックすると、以下の室情報削除ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、削除します。



6.4 室情報をコピーする

室情報からコピーしたい室の行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーを押しながらコピーしたい行を複数選択し、「コピー」ボタンをクリックします。

[illegible]

「コピー」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。「はい」ボタンをクリックして、選択した室をコピーします。

選択した室をコピーしますか？

6.5 室情報を編集する

室情報設定ダイアログのテーブルから編集したい室の行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。また、複数行編集したい場合は、Ctrl キーを押しながら編集したい行を複数選択し、「編集」ボタンをクリックします。

[illegible]

「編集」ボタンをクリックすると情報設定ダイアログが表示されます。情報設定ダイアログから編集したい項目にチェックを入れた後、各種情報を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

情報設定

変更したい項目を選択して設定します。

① ☐ 建物用途

② 室用途

③ ☐ 部屋名(CADECT)

事務所

④ ☐ 空調・非空調

☐ 空調 ☐ 非空調 (換気あり)

☒ 非空調 (換気なし)

※非空調 (換気なし) にすると機器設定ソフトに連携できません。

⑤ ☐ 空調負荷区分

冷暖房

⑥ ☐ 諸元グループ

OK キャンセル

【設定情報】

『室情報を追加する』をご参照ください。

※ 選択が1つの場合は、チェックボックスが選択された状態で表示されます。

6.6 諸元表示項目を設定

諸元の表示を行いたい場合、「諸元表示項目設定」ボタンをクリックします。

[illegible]

「諸元表示項目設定」ボタンをクリックすると、諸元表示項目設定ダイアログが表示されます。

×

諸元表示項目設定

☐ 屋内条件

夏期

乾球温度 [°C]

相対湿度 [°C]

冬期

乾球温度 [°C]

相対湿度 [°C]

☐ 照明 [W/m²]

☐ 人体負荷

人員密度 [人/m²]

顕熱SH [W/人]

潜熱LH [W/人]

☐ その他の内部発熱負荷(OA)

消費電力 [W/m²]

負荷率

☐ 換気

換気回数 [回/h]

換気方式

OK

キャンセル

表示したい項目にチェックを入れて「OK」ボタンをクリックすると、表示項目が設定できます。

6.7 室情報を最新の状態に更新する

室情報設定の「追加」ボタンをクリックし、室を追加すると、「最新の状態で更新」ボタンがクリック可能となります。

室情報設定

+

-

コピー

編集

≡ 諸元表示項目設定

最新の状態に更新

部屋名 ⇅	部屋名(連携元) ⇅	建物用途 ⇅	室用途 ⇅	空調・非空調 ⇅	空調負荷区分 ⇅	諸元グループ名 ⇅	アイテム数 ⇅
事務所						(直接入力)	0
ロビー						(直接入力)	0

OK

キャンセル

「最新の状態に更新」ボタンをクリックすると、下記ダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。エリアが入力されていない部屋名は室情報のリストから削除されます。



室情報を最新状態に更新しますか？
エリアが入力されていない部屋名は室情報から削除されます。

7. 室・部材 – 構造体設定

構造体設定を行い、エリア設定、屋根メニューに表示される構造体(壁・床・天井・屋根)のリストを作成します。モデル（建物モデル、空調モデル、省エネモデル）によって設定可能項目が変わります。

7.1 構造体設定を開く

カテゴリメニューより、室/部材をクリックし、室・部材情報設定を開きます。「構造体」ボタンをクリックし、構造体リストダイアログを開きます。



7.2 構造体設定を追加する

構造体設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックして、構造体情報ダイアログを開きます。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: ① 外壁 ② 構造体記号(CADECT): OW-01 ③ ☐ 日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☐ 直接入力

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [m ² ・K/W]	材料図	参照元

※ ドラッグ & ドロップで並び替えが出来ます。

仕上がりイメージ

外 ← → 内

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m ² ・K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [m ² ・K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(m ² ・K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	6.667

OK キャンセル

設定したい属性タブ(壁・床・天井・屋根)に切り替え、各種設定情報を入力します。

【設定情報】

①	種別	構造体の種別を設定します。
②	構造体記号 (CADECT)	CADECT での構造体の記号を設定します。デフォルトは、種別により英字部分が異なり、「英字 2 文字」+「-」+「数字 2 文字」です。最大 255 文字まで入力可能です。
③	日射なし(日陰)	日射なし (日陰) に設定する場合は、チェックボックスを選択します。

構成材料の「追加」ボタンをクリックすると、材料選択ダイアログが表示されます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能項目です。



各種情報を選択して、「追加」ボタンをクリックします。終了する場合は、「閉じる」もしくは右上の「×」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	建材選択参照元	建材データ参照元の種類。省エネ、JIS、茶本（便覧）より選択し、建材情報が入っているデータの参照元を選択します。
②	材料情報	材料のデータ。追加したい材料データの行を選択します。
③	材料検索	検索したい材料の名称を検索ボックスにテキスト入力すると、材料が絞り込み表示されます。

TIPS 連続追加する方法

構造体設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックして、構造体情報ダイアログを開きます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能項目です。

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m²・K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [m²・K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(m²・K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(m²・K)]	6.667

設定したい属性タブ(壁・床・天井・屋根)に切り替え、「追加」ボタンをクリックし、材料選択ダイアログを開きます。

No.	材料	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m²·K/W]
2	銅	55	0
3	アルミニウム	210	0
4	銅	370	0
5	ステンレス鋼	15	0
6	岩石	3.1	0
7	土壌	1	0
8	コンクリート	1.6	0
9	軽量コンクリート(軽量1種)	0.8	0
10	軽量コンクリート(軽量2種)	0.5	0
11	軽量気泡コンクリートパネル (ALC パネル)	0.19	0
12	コンクリートブロック (重畳)	1.1	0
13	コンクリートブロック (軽畳)	0.53	0
14	セメント・モルタル	1.5	0
15	押出成型セメント板	0.4	0
16	せっこうプラスター	0.6	0

各種情報を選択し、「追加」ボタンをクリックします。材料選択して「追加」ボタンクリック操作を繰り返し行うことにより材料を連続で追加することができます。

【設定情報】

①	建材選択参照元	建材データ参照元の種類。省エネ、JIS、茶本（便覧）より選択し、建材情報が入っているデータ参照元を選択します。
②	材料情報	材料のデータ。追加したい材料データの行を選択します。
③	材料検索	検索したい材料の名称を検索ボックスにテキスト入力すると、材料が絞り込み表示されます。

7.3 構造体を追加する(直接入力)

構造体設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、構造体情報ダイアログを開きます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能項目です。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 ☐ 日射なし(日陰) ファミリー名: 未設定 タイプ: 未設定 ☒ 直接入力

構成材料:

追加 削除 編集

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [m ² ・K/W]	材料図	参照元

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えができます。

仕上がりイメージ

外 ← → 内

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m ² ・K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [m ² ・K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(m ² ・K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	6.667

OK キャンセル

設定したい属性タブ(壁・床・天井・屋根)に切り替え、「追加」ボタンをクリックすると、材料選択ダイアログが表示されます。

構造体情報

壁 床 天井

種別: 外壁 構造体記号

構成材料:

建材番号 建材名

外 内

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えができます。

材料選択

建材選択参照元: ☒ 省エネ ☐ JIS ☐ 茶本 (便覧) ☒ 直接入力

No	材料	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [m ² ・K/W]
2	銅	55	0
3	アルミニウム	210	0
4	銅	370	0
5	ステンレス鋼	15	0
6	岩石	3.1	0
7	土壌	1	0
8	コンクリート	1.6	0
9	軽量コンクリート(軽量1種)	0.8	0
10	軽量コンクリート(軽量2種)	0.5	0
11	軽量気泡コンクリートパネル (ALC パネル)	0.19	0
12	コンクリートブロック (無量)	1.1	0
13	コンクリートブロック (軽量)	0.53	0
14	セメント・モルタル	1.5	0
15	押出成型セメント板	0.4	0
16	せっこうプラスター	0.6	0

追加 閉じる

「直接入力」ボタンをクリックした後「閉じる」をクリックして、構造体情報ダイアログに戻り各種設定情報を入力します。その後、構造体情報ダイアログの「OK」ボタンをクリックします。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-01 ☐ 日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☐ 直接入力

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [㎡・K/W]	材料図	参照元
7	土壌	0	1	0	pic04.bmp	省エネ
9	軽量コンクリート(軽量1種)	0	0.8	0	pic07.bmp	省エネ

※ ドラッグ&ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [㎡・K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [㎡・K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(㎡・K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(㎡・K)]	6.667

【設定情報】

①	建材名	材料の名称。材料の名称を入力します。
②	厚さ (mm)	材料の厚さ。厚さの数値を入力します。
③	熱伝導率 [W/(m・K)]	材料の熱伝導率。材料の熱伝導率を入力します。熱伝導率を入力すると、熱抵抗を自動計算して表示します。
④	材料図	材料のイメージ図。材料のイメージに合った図を選択します。
⑤	仕上がりイメージ	設定した材料図は仕上がりイメージに反映されます。

TIPS 熱貫流率を直接入力する

設定時に熱貫流率の数値を直接入力したい場合のみ、画面右下の直接入力にチェックを入れ、熱貫流率に数値を入力します。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): OW-02 ☐ 日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☒ 直接入力

構成材料:

建材番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m・K)]	熱抵抗 [㎡・K/W]	材料図	参照元
36	木片セメント板	0	0.15	0	pic02.bmp	省エネ
79	硬質ウレタンフォーム 保温板 2種1号	0	0.023	0	pic16.bmp	省エネ

※ ドラッグ&ドロップで並び替えが出来ます。

OK キャンセル

仕上がりイメージ

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [㎡・K/W]	
表面熱伝達抵抗2 [㎡・K/W]	
熱抵抗合計 [(㎡・K)/W]	
熱貫流率 [W/(㎡・K)]	6.667

7.4 構造体設定を削除する

構造体情報から削除したい構造体の行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーを押しながら削除したい行を複数選択し、「削除」ボタンをクリックします。

[illegible]

「削除」ボタンをクリックすると、構造体の削除ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、削除します。ただし、アイテム数が0以上の場合(編集領域で使用されているアイテムにリンクしているテンプレート)は削除できません。

[illegible]

7.5 構造体設定をコピーする

構造体情報からコピーしたい構造体の行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。

また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーを押しながらコピーしたい行を複数選択し、「コピー」ボタンをクリックします。

し、「コピー」ボタンをクリックします。

[illegible]

「はい」 ボタンをクリックするとテンプレートがコピーされ、構造体リストの最後の行に追加されます。

[illegible]

構造体情報から編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

構成材料の追加、削除を行い設定の編集をします。

※ 構造体に紐づくアイテム数が0の場合は、構造体情報のカテゴリー（壁・床・天井・屋根）を変更することができます。

材料は、ドラッグ&ドロップで順番の入れ替えを行うことができます。

7.7 構造体をグループ化する

設定された構造体(壁・床・天井・屋根)をグループ化します。

Revit から取り込んだ時など、構造体が大量になる場合、一つ一つ構成材料を設定する時間を短縮することができます。グループ記号が存在する構造体は、STABRO や A-repo 連携時にグループ記号で連携されます。

7.7.1 グループ登録

構造体リストの「グループ登録」ボタンをクリックして、構造体 グループ登録ダイアログを開きます。



構造体 グループ登録ダイアログが開きますので、「追加」ボタンをクリックして、グループ登録を追加します。



設定したい属性タブ(壁・床・天井・屋根)に切り替え、各種設定情報を入力し OK をクリックします。

[illegible]

グループ記号が追加登録された状態です。デフォルトは、各構造体記号の頭に G が追加されます。追加を確認したら、「閉じる」をクリックし閉じます。

構造体 グループ登録

+ 追加
 − 削除
 🔄 コピー
 ✎ 編集

🔄 自動採番

構造体記号	構造体種別	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	参照 アイテム数
GOW-01	外壁			6.667	0
GOS-01	外床			6.667	0
GCL-01	天井			4.545	0
GOR-01	屋根			6.667	0

閉じる

グループ記号のみ登録が終わった状態です。構造体記号がグループ化されていないグループ記号の箇所は、「-」が表示されます。

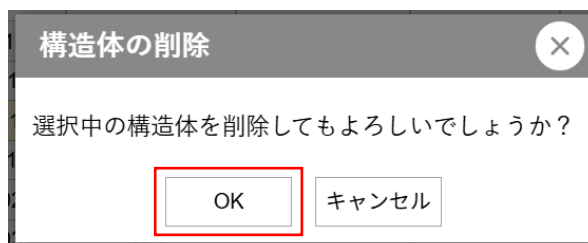
[illegible]

7.7.2 グループ削除

構造体 グループ登録ダイアログを開き、削除したい行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら削除したい行を複数選択し、「削除」ボタンをクリックします。（Ctrl キーをご使用いただくと 1 行ごとの選択が可能です。また、Shift キーをご使用いただくと範囲を指定して選択することができます）



確認ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。



7.7.3 グループコピー

構造体 グループ登録ダイアログを開き、コピーしたい行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながらコピーしたい行を複数選択し、「コピー」ボタンをクリックします。(Ctrl キーをご使用いただくと 1 行ごとの選択が可能です。また、Shift キーをご使用いただくと範囲を指定して選択することができます)



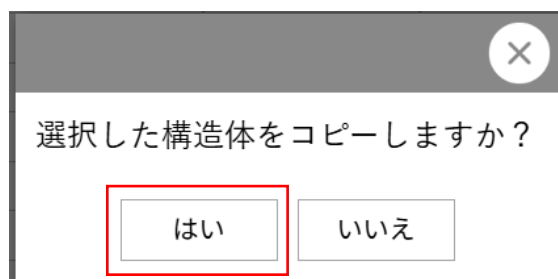
構造体 グループ登録

追加 削除 **コピー** 編集 自動採番

構造体記号	構造体種別	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]
GOW-01	外壁			6.667
GIS-01	内床			4.545
GCL-01	天井			4.545
GOR-01	屋根			6.667
GIW-01	内壁			4.545
GOW-02	外壁			6.667

OK キャンセル

確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



選択した構造体をコピーしますか？

はい いいえ

7.7.4 グループ編集

構造体 グループ登録ダイアログを開き、編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

構造体 グループ登録

構造体記号	構造体種別	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]
GOW-01	外壁			6.667
GIS-01	内床			4.545
GCL-01	天井			4.545
GOR-01	屋根			6.667
GIW-01	内壁			4.545
GOW-02	外壁			6.667

構造体情報の種別や構造体記号(CADECT)の名称の編集をします。
編集が終わったら、「OK」ボタンをクリックします。

構造体情報

壁 床 天井 屋根

種別: 外壁 構造体記号(CADECT): GOW-01 ☐ 日射なし(日陰) ファミリ名: 未設定 タイプ: 未設定 ☐ 直接入力

構成材料:

建材 番号	建材名	厚さ (mm)	熱伝導率 [W/(m·K)]	熱抵抗 [m ² ·K/W]	材料図	参照元

仕上がりイメージ

外 ← → 内

熱貫流率:

項目	値
表面熱伝達抵抗1 [m ² ·K/W]	0.04
表面熱伝達抵抗2 [m ² ·K/W]	0.11
熱抵抗合計 [(m ² ·K)/W]	0.15
熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	6.667

※ ドラッグ＆ドロップで並び替えが出来ます。

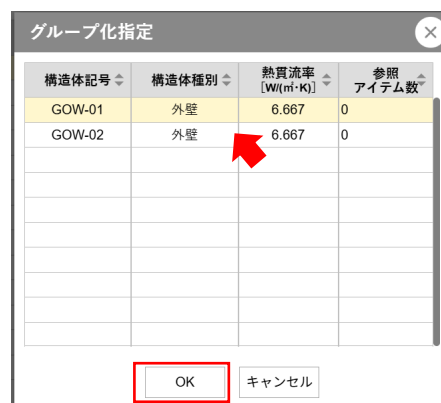
7.7.5 グループ化

グループ化したい構造体記号を選択し、「グループ化」ボタンをクリックします。
複数行同時にグループ化したい場合は、Ctrl キーを押しながらグルーピングしたい行を複数選択し、「グループ化」ボタンをクリックします。



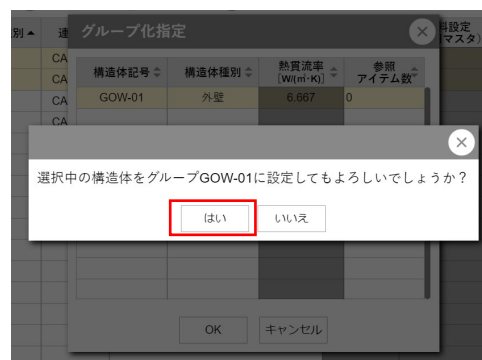
グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリ名	ファミリカテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	アイテム数
-	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
-	OW-02	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OS-01	外床	CADECT		床			6.667	0
-	OS-02	外床	CADECT		床			6.667	0
-	CL-01	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	CL-02	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-02	屋根	CADECT		屋根			6.667	0

グループ化したい構造体記号を選択し、「OK」をクリックします。



構造体記号	構造体種別	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	参照 アイテム数
GOW-01	外壁	6.667	0
GOW-02	外壁	6.667	0

確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



選択中の構造体をグループGOW-01に設定してもよろしいでしょうか？

構造体記号に対し、グループ記号が追加されます。

構造体リスト

+

追加

−

削除

⌂

コピー

✎

編集

+

グループ登録

−

グループ解除

+

グループ化

↺

自動採番

グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリー名	ファミリーカテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	アイテム数
GOW-01	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
-	OW-02	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OS-01	外床	CADECT		床			6.667	0
-	OS-02	外床	CADECT		床			6.667	0
-	CL-01	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	CL-02	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-02	屋根	CADECT		屋根			6.667	0

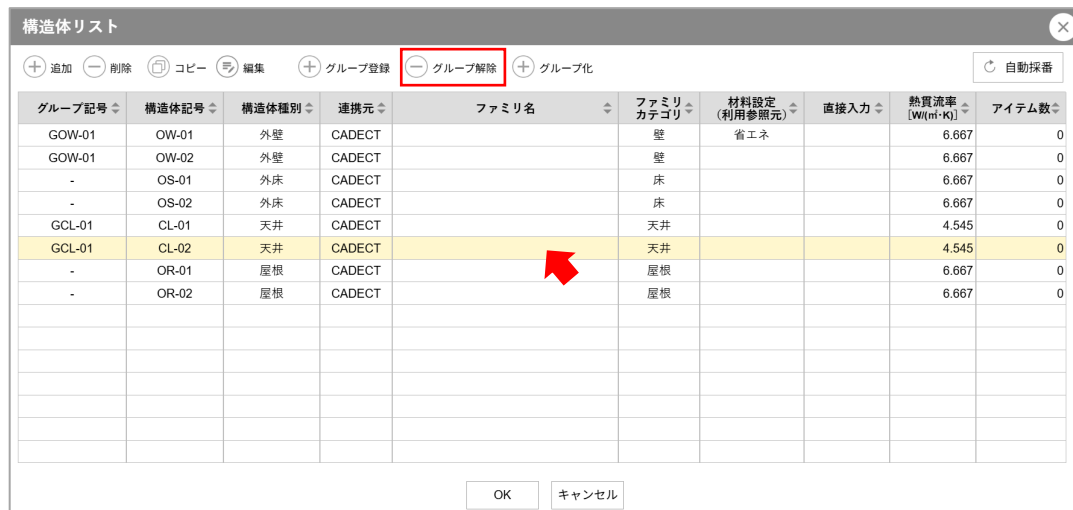
OK

キャンセル

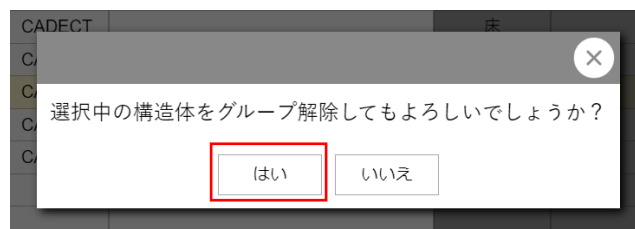
7.7.6 グループ解除

グループ化した状態を解除したい場合は、解除したい列を選択し、グループ解除ボタンをクリックします。

複数行同時に解除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら対象の行を複数選択し、「グループ解除」ボタンをクリックします。



確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



解除された状態です。



7.7.7 グループ化の変更

既にグループ化された構造体記号のグループを変更したい場合は、変更対象を選択した状態で「グループ化」ボタンをクリックします。

グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリ名	ファミリカテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	アイテム数
GOW-01	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
GOW-01	OW-02	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OS-01	外床	CADECT		床			6.667	0
-	OS-02	外床	CADECT		床			6.667	0
GCL-01	CL-01	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	CL-02	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-02	屋根	CADECT		屋根			6.667	0

ダイアログを開いた際、登録済みのグループ記号が選択された状態になっておりますので、変更したいグループ記号を再選択し、「OK」ボタンをクリックします。

構造体記号	構造体種別	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	参照 アイテム数
GOW-01	外壁	6.667	2
GOW-02	外壁	6.667	0

確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

選択中の構造体をグループGOW-02に設定してもよろしいでしょうか？

変更後のグループ記号が付番されます。

構造体リスト

+

追加

−

削除

□

コピー

≡

編集

+

グループ登録

−

グループ解除

+

グループ化

↺

自動採番

グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリ名	ファミリ カテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ・K)]	アイテム数
GOW-01	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
GOW-02	OW-02	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OS-01	外床	CADECT		床			6.667	0
-	OS-02	外床	CADECT		床			6.667	0
GCL-01	CL-01	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	CL-02	天井	CADECT		天井			4.545	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-02	屋根	CADECT		屋根			6.667	0

OK

キャンセル

7.7.8 グループ登録時の構造体記号の自動採番について

グループ登録時の構造体記号を複数登録した後、一部削除するなど名称の連番に欠番が発生した際、名称を連番に採番しなおす機能です。

グループ構造体記号を連番に採番しなおしたい場合は、「自動採番」ボタンをクリックします。

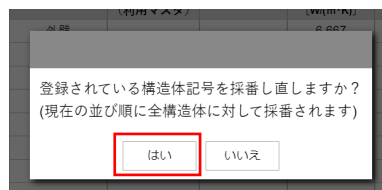


The screenshot shows the 'グループ登録' (Group Registration) dialog box. It has a title bar with a close button. Below the title bar are buttons for '+ 追加' (Add), '- 削除' (Delete), 'コピー' (Copy), and '編集' (Edit). The '自動採番' (Auto Numbering) button is highlighted with a red box. Below these buttons is a table with the following columns: '構造体記号' (Structure Code), '構造体種別' (Structure Type), '材料設定 (利用マスタ)' (Material Setting (Master)), '直接入力' (Direct Input), '熱貫流率 [W/(m²·K)]' (U-value [W/(m²·K)]), and '参照アイテム数' (Reference Item Count). The table contains two rows: GOW-01 (外壁) and GOW-03 (外壁), both with a U-value of 6.667 and a reference item count of 0. At the bottom of the dialog is a '閉じる' (Close) button.

構造体記号	構造体種別	材料設定 (利用マスタ)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	参照 アイテム数
GOW-01	外壁			6.667	0
GOW-03	外壁			6.667	0



下記の確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



The screenshot shows a confirmation dialog box with the text: '登録されている構造体記号を採番し直しますか？ (現在の並び順に全構造体に対して採番されます)' (Do you want to re-number the registered structure codes? (All structure codes will be re-numbered according to the current order)). There are two buttons: 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). The 'はい' button is highlighted with a red box.

連番に採番しなおされた状態です。



The screenshot shows the 'グループ登録' (Group Registration) dialog box after re-numbering. The '自動採番' (Auto Numbering) button is still highlighted with a red box. The table now shows GOW-01 (外壁) and GOW-02 (外壁), both with a U-value of 6.667 and a reference item count of 0. The '閉じる' (Close) button is at the bottom.

構造体記号	構造体種別	材料設定 (利用マスタ)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	参照 アイテム数
GOW-01	外壁			6.667	0
GOW-02	外壁			6.667	0

7.8 構造体記号を自動採番する

構造体リストの構造体記号を複数登録した後、一部削除するなど記号の連番に欠番が発生した際、記号を連番に採番しなおす機能です。

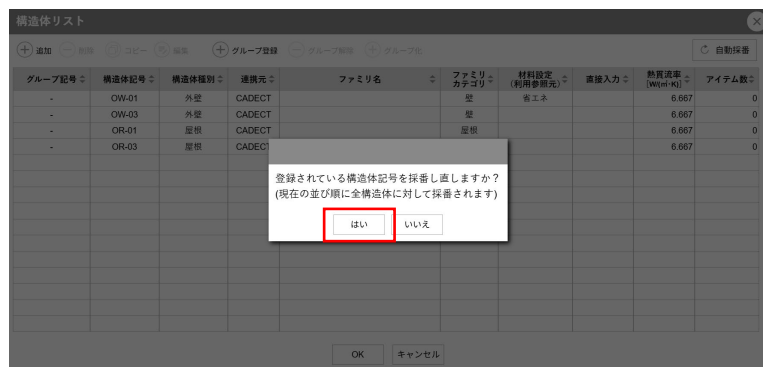
構造体記号を連番に採番しなおしたい場合は、「自動採番」ボタンをクリックします。



グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリ名	ファミリカテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m²·K)]	アイテム数
-	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
-	OW-03	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-03	屋根	CADECT		屋根			6.667	0



下記の確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



登録されている構造体記号を採番し直しますか?
(現在の並び順に全構造体に対して採番されます)

連番に採番しなおされた状態です。



グループ記号	構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリ名	ファミリカテゴリ	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m²·K)]	アイテム数
-	OW-01	外壁	CADECT		壁	省エネ		6.667	0
-	OW-02	外壁	CADECT		壁			6.667	0
-	OR-01	屋根	CADECT		屋根			6.667	0
-	OR-02	屋根	CADECT		屋根			6.667	0

8. 室・部材 – 建具

建具設定を行い、建具メニューに表示される建具リストを作成します。モデル（建物モデル、空調モデル、省エネモデル）によって設定可能項目が変わります。

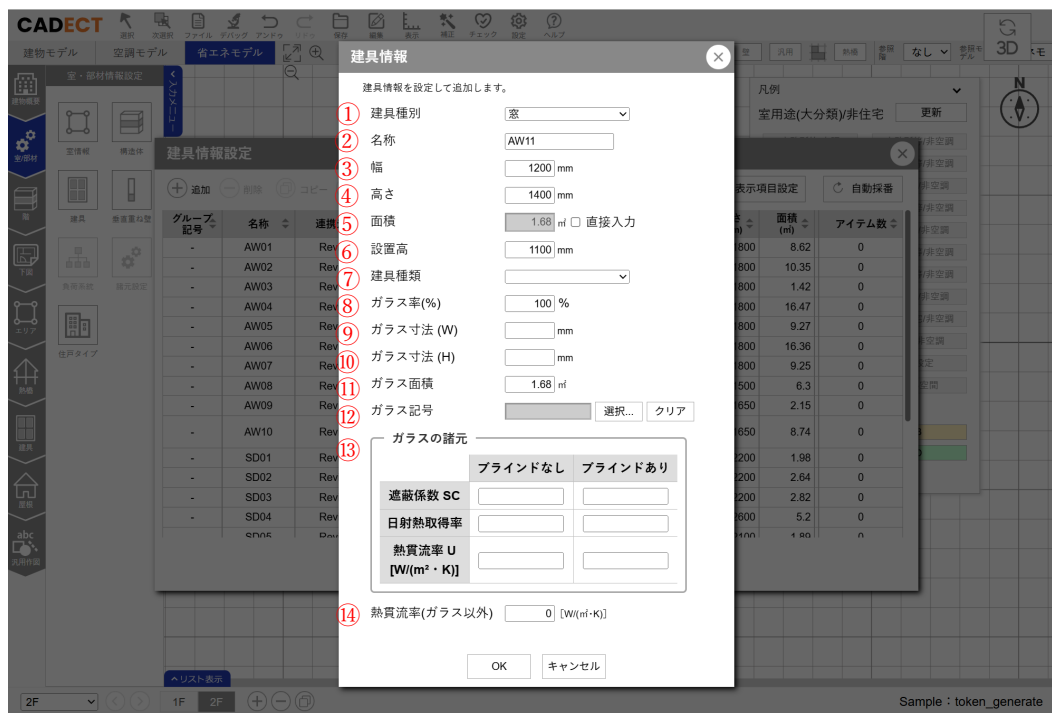
8.1 建具設定を開く

カテゴリメニューよりをクリックし、室・部材情報設定を開きます。「建具」ボタンをクリックし建具情報設定ダイアログを開きます。



8.2 建具設定を追加する

建具情報設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、建具情報ダイアログを開きます。



各種情報を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	建具種別	建具の種類。建具の種類を選択します。
②	名称	建具の名称。建具につけたい名称を入力します。
③	幅	建具の幅。建具の幅の大きさを数値入力します。(最小は100mm)
④	高さ	建具の高さ。建具の高さを数値入力します。
⑤	面積	建具の面積。直接入力にチェックを入れると、面積を数値で直接入力できます。デフォルトは自動求積です。また、自動求積との差分が0～10%の範囲を超えた場合、リスト表示の対象が赤く表示されます。
⑥	設置高	建具の設置高。建具の設置の高さを数値入力します。
⑦	建具種類	建具の材質の種類。建具の種類を選択します。
⑧	ガラス率(%)	建具のガラス率。建具のガラス率を%入力します。
⑨	ガラス寸法(W)	ガラスの幅。ガラスの幅を数値入力します。
⑩	ガラス寸法(H)	ガラスの高さ。ガラスの高さを数値入力します。

⑪	ガラス面積	ガラスの面積。ガラスの幅×ガラスの高さの計算値を表示します。また直接入力も可能です。その場合は、ガラス寸法(W)及びガラス寸法(H)の値は削除され、0 で表示します。
⑫	ガラス記号	ガラスの記号。「選択」ボタンをクリックして、ガラス記号を選択します。また、「クリア」ボタンをクリックすると、設定したガラス記号を削除できます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。(下記、「ガラス記号」に詳細を記載)
⑬	ガラスの諸元	⑫のガラス記号を選択すると、遮断係数 SC、日射熱取得率、熱還流率 U のブラインドがない場合とブラインドがある場合の各値を表示します。また、各値を直接入力し変更した場合はガラス記号がクリアされます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑭	熱貫流率（ガラス以外）	建具のガラス率を設定した部分以外の熱貫流率。熱貫流率を数値入力します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。

8.2.1 ガラス記号

ガラス記号の「選択」ボタンをクリックし、ガラス記号選択ダイアログを開きます。

ガラス記号選択

絞り込み条件

参照元：

指定なし

ガラス構成：

指定なし

LowE膜：

指定なし

建具種別：

指定なし

中空層：

指定なし

型：

指定なし

リセット

シンボル	名前	建具	SC (ブラインドなし)	SC (ブラインドあり)	K [W/(㎡・K)] (ガラス)	K [W/(㎡・K)] (ガラスブラインド)	備考
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)		0.61	0.47	1.4	1.3	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	木製	0.44	0.34	1.95	1.82	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	樹脂製	0.44	0.34	1.95	1.82	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属木複合製	0.49	0.38	2.27	2.09	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属樹脂複合製	0.49	0.38	2.27	2.09	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属製	0.49	0.38	2.64	2.41	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)		0.61	0.47	1.3	1.2	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	木製	0.44	0.34	1.89	1.76	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	樹脂製	0.44	0.34	1.89	1.76	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属木複合製	0.49	0.38	2.19	2.02	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属樹脂複合製	0.49	0.38	2.19	2.02	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属製	0.49	0.38	2.56	2.33	省エネ基準H28
3WgG08	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層8mm)		0.61	0.47	1.2	1.1	省エネ基準H28

OK

キャンセル

必要に応じて画面上部の絞り込み条件検索を使用します。ガラス記号テーブルの行を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

8.3 建具設定を削除する

建具情報から削除したい建具の行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら削除したい行を複数選択し、「削除」ボタンをクリックします。

[illegible]

「削除」ボタンをクリックすると、建具情報削除ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックし、削除します。

建具情報設定

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0

建具情報削除

×

選択中の建具を削除してもよろしいでしょうか？

8.4 建具設定をコピーする

建具情報からコピーしたい建具の行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーを押しながらコピーしたい行を複数選択し、「コピー」ボタンをクリックします。

[illegible]

「はい」ボタンをクリックすると、テンプレートがコピーされ、建具情報設定リストの最後の行に追加されます。

建具情報設定

(+) 追加 (-) 削除 (C) コピー (E) 編集 (+) グループ登録 (-) グループ解除 (+) グループ化 三 建具表示項目設定 自動採番

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0

X

選択した建具仕様をコピーしますか？

はい いいえ

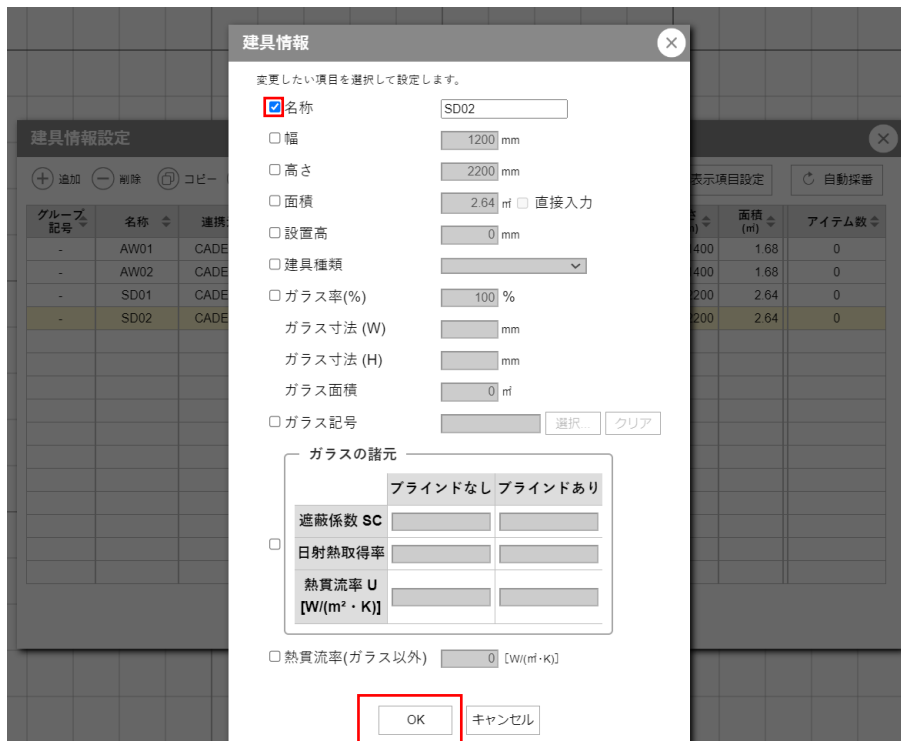
OK キャンセル

8.5 建具設定を編集する

建具情報から編集したい建具の行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。また、複数行編集したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら編集したい行を複数選択し、「編集」ボタンをクリックします。



「編集」ボタンをクリックすると、建具情報ダイアログが表示されます。変更したい項目にチェックを入れ、再設定し、「OK」ボタンをクリックします。



※ 選択が1つの場合は、チェックボックスが選択された状態が表示されます。

8.6 建具をグループ化する

設定された建具(窓・ドア・CW)をグループ化します。

Revit から取り込んだ時など、建具が大量になる場合、一つ一つ建具種類、ガラス記号、ガラス性能値を設定する時間を短縮することができます。なお、幅や高さなど寸法情報は対象外です。

グループ記号が存在する建具は、STABRO や A-repo 連携時にグループ記号で連携されます。

8.6.1 グループ登録

建具情報設定の「グループ登録」ボタンをクリックして、グループ登録ダイアログを開きます。

建具情報設定

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	CW01	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0
-	CW02	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0

グループ登録ダイアログが開きますので、「追加」 ボタンをクリックして、グループ登録を追加します。

グループ登録

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	遮蔽係数 SC (ブラインドなし)	遮蔽係数 SC (ブラインドあり)	日射熱取得率 (ブラインドなし)	日射熱取得率 (ブラインドあり)

閉じる

設定したい建具種別(窓・ドア・CW)を選択入力し、OK をクリックします。

建具情報 [X]

建具情報を設定して追加します。

建具種別 窓
窓
ドア
CW

名称

建具種類

ガラス記号 選択 クリア

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
遮蔽係数 SC		
日射熱取得率		
熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

熱貫流率(ガラス以外) [W/(m²・K)]

OK キャンセル

グループ記号が追加された状態です。デフォルトは、各記号の頭に G が追加されます。
追加を確認したら、「閉じる」をクリックし閉じます。

グループ登録 [X]

+ 追加 - 削除 📄 コピー ✎ 編集 🔄 自動採番

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	遮蔽係数 SC (ブラインドなし)	遮蔽係数 SC (ブラインドあり)	日射熱取得率 (ブラインドなし)	日射熱取得率 (ブラインドあり)
GAW01	窓						
GSD01	ドア						
GCW01	CW						

閉じる

グループ記号のみ登録が終わった状態です。グループ化されていないグループ記号の箇所は、「-」が表示されます。

+

追加

-

削除

⌂

コピー

✎

編集

+

グループ登録

-

グループ解除

+

グループ化

≡

建具表示項目設定

🔄

自動採番

グループ記号

名称

連携元

名称(連携元)

建具種別

幅
(mm)

高さ
(mm)

面積
(㎡)

アイテム数

-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	CW01	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0
-	CW02	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0

OK

キャンセル

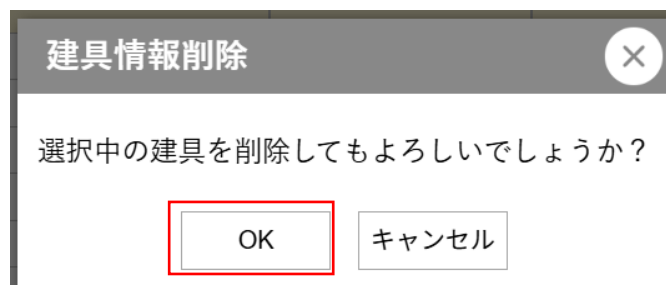
8.6.2 グループ削除

建具 グループ登録ダイアログを開き、削除したい行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら削除したい行を複数選択し、「削除」ボタンをクリックします。(Ctrl キーをご使用いただくと 1 行ごとの選択が可能です。また、Shift キーをご使用いただくと範囲を指定して選択することができます)

参照アイテムがある場合は、削除できません。



確認ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

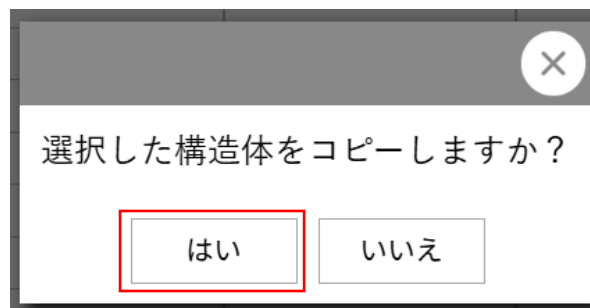


8.6.3 グループコピー

建具グループ登録ダイアログを開き、コピーしたい行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながらコピーしたい行を複数選択し、「コピー」ボタンをクリックします。(Ctrl キーをご使用いただくと 1 行ごとの選択が可能です。また、Shift キーをご使用いただくと範囲を指定して選択することができます)



確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



8.6.4 グループ編集

建具 グループ登録ダイアログを開き、編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。



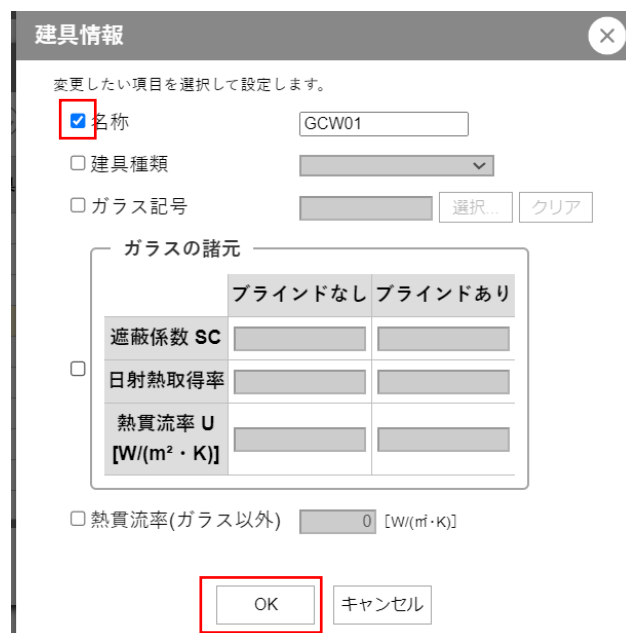
建具 グループ登録

追加 削除 コピー 編集 自動採番

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	遮蔽係数 SC (ブラインドなし)	遮蔽係数 SC (ブラインドあり)	日射熱取得率 (ブラインドなし)	日射熱取得率 (ブラインドあり)
GAW01	窓						
GAW02	窓						
GSD01	ドア						
GAW03	窓						

OK キャンセル

建具の名称や建具種類など変更したい項目を選択し編集をします。
編集が終わったら、「OK」ボタンをクリックします。



建具情報

変更したい項目を選択して設定します。

☒ 名称 GAW01

☐ 建具種類

☐ ガラス記号 選択... クリア

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
遮蔽係数 SC		
日射熱取得率		
熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

☐ 熱貫流率(ガラス以外) 0 [W/(m²・K)]

OK キャンセル

8.6.5 グループ化

グループ化したい建具を選択し、「グループ化」ボタンをクリックします。

複数行同時にグループ化したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながらグルーピングしたい行を複数選択し、「グループ化」ボタンをクリックします。

建具情報設定

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	CW01	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0
-	CW02	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0

OK キャンセル

グループ化したい構造体記号を選択し、「OK」をクリックします。

グループ化指定

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	遮蔽係数 SC (プラインドなし)	遮蔽係数 SC (プラインドあり)	日射熱取得率 (プラインドなし)	日射熱取得率 (プラインドあり)
GAW01	窓						

OK キャンセル

確認ダイアログを表示しますので、設定したい場合は、「はい」をクリックします。

グループ化指定

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	遮蔽係数 SC (プラインドなし)	遮蔽係数 SC (プラインドあり)	日射熱取得率 (プラインドなし)	日射熱取得率 (プラインドあり)
GAW01	窓						

選択中の建具をグループGAW01に設定してもよろしいでしょうか？

8.6.6 グループ解除

グループ化した状態を解除したい場合は、解除したい列を選択し、グループ解除ボタンをクリックします。

複数行同時に解除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら対象の行を複数選択し、「グループ解除」ボタンをクリックします。

建具情報設定

(+)追加 (-)削除 (C)コピー (E)編集 (+)グループ登録 (-)グループ解除 (+)グループ化 ≡ 建具表示項目設定 ↺自動採番

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
GAW01	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
GSD01	SD01	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
-	SD02	CADECT		ドア	1200	2200	2.64	0
GCW01	CW01	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0
-	CW02	CADECT		CW	1200	3000	3.6	0

[OK] [キャンセル]

確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

選択中の建具グループをグループ解除してもよろしいでしょうか？

解除された状態です。

[illegible]

8.6.7 グループ化の変更

既にグループ化されたグループ記号を変更したい場合は、変更対象を選択した状態で「グループ化」ボタンをクリックします。

[illegible]

ダイアログを開いた際、登録済みのグループ記号が選択された状態になっておりますので、変更したいグループ記号を再選択し、「OK」ボタンをクリックします。

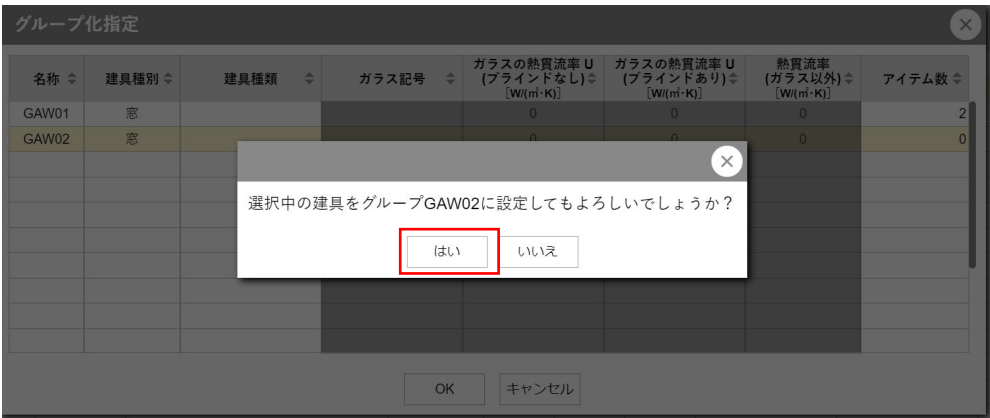
グループ化指定							
名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	ガラスの熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]	ガラスの熱貫流率 U (フラインドあり) [W/(m ² ・K)]	熱貫流率 (ガラス以外) [W/(m ² ・K)]	アイテム数
GAW01	窓			0	0	0	2
GAW02	窓			0	0	0	0



グループ化指定

名称	建具種別	建具種類	ガラス記号	ガラスの熱貫流率 U (ブラインドなし) [W/(m ² ·K)]	ガラスの熱貫流率 U (ブラインドあり) [W/(m ² ·K)]	熱貫流率 (ガラス以外) [W/(m ² ·K)]	アイテム数
GAW01	窓			0	0	0	2
GAW02	窓			0	0	0	0

確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。



変更後のグループ記号が付番されます。



8.6.8 グループ登録時の建具名称の自動採番について

グループ登録時の建具名称を複数登録した後、一部削除するなど名称の連番に欠番が発生した際、名称を連番に採番しなおす機能です。

グループ建具名称を連番に採番しなおしたい場合は、「自動採番」ボタンをクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled '建具 グループ登録' (Furniture Group Registration). At the top, there are buttons for '+ 追加' (Add), '- 削除' (Delete), 'コピー' (Copy), and '編集' (Edit). The '自動採番' (Automatic Numbering) button is highlighted with a red box. Below these buttons is a table with the following columns: '名称' (Name), '建具種別' (Furniture Type), '建具種類' (Furniture Category), 'ガラス記号' (Glass Symbol), '遮蔽係数 SC (ブラインドなし)' (Shading Coefficient SC (Blindless)), '遮蔽係数 SC (ブラインドあり)' (Shading Coefficient SC (Blind)), '日射熱取得率 (ブラインドなし)' (Solar Heat Gain Coefficient (Blindless)), and '日射熱取得率 (ブラインドあり)' (Solar Heat Gain Coefficient (Blind)). The table contains two rows: 'GAW01' and 'GAW03', both with '窓' (Window) as the furniture type. At the bottom of the dialog is a '閉じる' (Close) button.

下記の確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

The screenshot shows a confirmation dialog box with the text: '登録されている名称を採番し直しますか？ (現在の並び順に全建具に対して採番されます)' (Do you want to re-number the registered names? (All furniture will be re-numbered in the current order)). There are two buttons: 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No). The 'はい' button is highlighted with a red box.

連番に採番しなおされた状態です。

The screenshot shows the '建具 グループ登録' (Furniture Group Registration) dialog box after the automatic numbering process. The '自動採番' (Automatic Numbering) button is still highlighted with a red box. The table now shows 'GAW01' and 'GAW02' as the first two rows, both with '窓' (Window) as the furniture type. The '閉じる' (Close) button is at the bottom.

8.7 建具名称を自動採番する

建具情報設定リストの建具名称を複数登録した後、一部削除するなど名称の連番に欠番が発生した際、名称を連番に採番しなおす機能です。

建具名称を連番に採番しなおしたい場合は、「自動採番」ボタンをクリックします。

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW03	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW05	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0

下記の確認ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックします。

登録されている名称を採番し直しますか？
(現在の並び順に全建具に対して採番されます)

連番に採番しなおされた状態です。

グループ 記号	名称	連携元	名称(連携元)	建具種別	幅 (mm)	高さ (mm)	面積 (㎡)	アイテム数
-	AW01	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW02	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW03	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0
-	AW04	CADECT		窓	1200	1400	1.68	0

9. 室・部材 – 垂直重ね壁

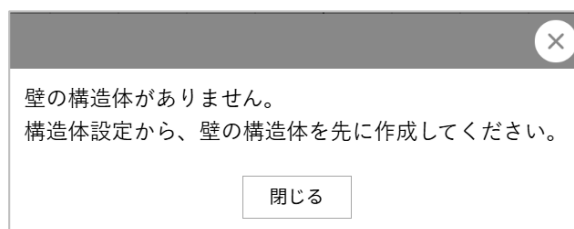
構造体で設定した壁設定の垂直重ね壁設定をします。

9.1 垂直重ね壁を開く

カテゴリメニューより垂直重ね壁をクリックし、垂直重ね壁ダイアログを開きます。



壁の構造体の設定がない場合は、垂直重ね壁のメニューは開けません。設定前にクリックした場合は、下記ダイアログを表示します。構造体設定については、『[構造体設定を追加する](#)』をご参照ください。



9.2 垂直重ね壁を追加する

垂直重ね壁ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、垂直重ね壁情報ダイアログを開きます。

垂直重ね壁情報

① 種別: [外壁] ② 構造体記号(CADECT): [VSGOW-01]

構造体:

(+ 追加) (- 削除) (編集)

構造体記号	連携元	ファミリー名	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]	高さ(mm)	高さ自動計算

※ ドラッグ&ドロップで並び替えが出来ます。
※ 垂直重ね壁に含まれる壁のうち、いずれか1つに「高さ自動計算」を設定してください。

OK キャンセル

【設定情報】

①	種別	構造体の種別を設定します。
②	構造体記号 (CADECT)	CADECT での構造体の記号を設定します。デフォルトは、種別により英字部分が異なり、「英字 5 文字」+「-」+「数字 2 文字」です。

設定情報を入力し、垂直重ね壁情報ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、構造体選択ダイアログを開きます。

構造体選択

① 高さ: [] mm ② ☐ 高さ自動計算

※ 高さの自動計算オプションを選択すると、高さの入力はできず、階高から他の構造体の高さを引いた余りが割り当てられます。
1つの垂直重ね壁につき、自動計算オプションを用いる構造体は1つまで設定できます。

構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリー名	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]
OW-01	外壁	CADECT				6.667
OW-02	外壁	CADECT				6.667

OK キャンセル

【設定情報】

①	高さ	高さを数値入力します。
②	高さ自動計算	チェックを入れると、高さ自動計算オプションをオンにします。高さの自動計算オプションをオンにした場合は高さの入力はありません。階高から他の構造体の高さを引いた余り分を自動で割り当てします。1つの垂直重ね壁につき、自動計算オプションに適用できる構造体は1つまでです。また、垂直重ね壁に含まれる壁のうち、いずれか1つに「高さ自動計算」を設定してください。設定していない場合は、下記のアラートを表示します。 

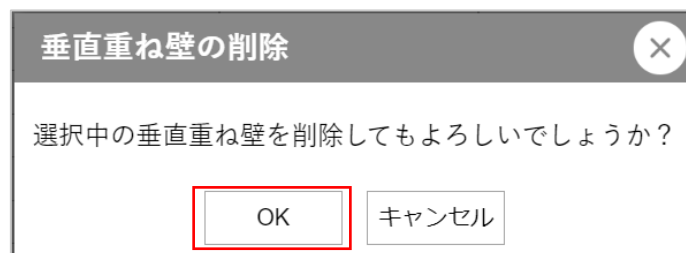
設定情報を入力し、指定したい行を選択します。構造体選択ダイアログの「OK」ボタンをクリックすると、垂直重ね壁情報ダイアログに遷移します。

9.3 垂直重ね壁を削除する

垂直重ね壁から削除したい構造体を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数行選択し、「削除」ボタンをクリックします。



「削除」ボタンをクリックし、垂直重ね壁の削除ダイアログを開きます。「OK」ボタンをクリックして、垂直重ね壁を削除します。ただし、壁に割り当て済みの垂直重ね壁は削除できません。

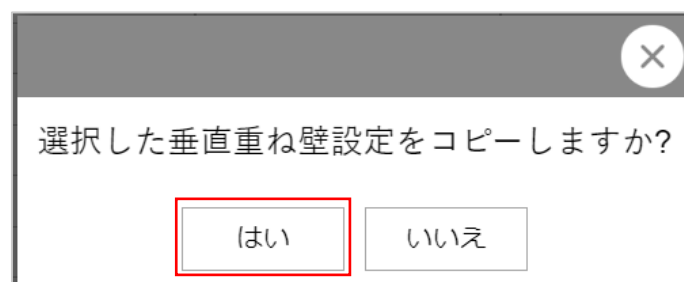


9.4 垂直重ね壁をコピーする

垂直重ね壁ダイアログのコピーしたい行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数行選択し、「コピー」ボタンをクリックします。



「コピー」ボタンをクリックし、ダイアログを開きます。「はい」ボタンをクリックし、行をコピーします。



9.5 垂直重ね壁を編集する

垂直重ね壁ダイアログの編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

垂直重ね壁

⊕ 追加 ⊖ 削除 ☰ コピー 編集

垂直重ね壁名	種別	アイテム数
GOW-01	外壁	0

OK キャンセル

「編集」ボタンをクリックし、垂直重ね壁ダイアログを開きます。変更したい各種項目のチェックボックスへチェックを入れて編集し、「OK」ボタンをクリックすると、変更内容が適用されます。

構造体選択

高さ: mm ☐ 高さ自動計算

※高さの自動計算オプションを選択すると、高さの入力はできず、階高から他の構造体の高さを引いた余り分が割り当てられます。
1つの垂直重ね壁につき、自動計算オプションを用いる構造体は1つまで設定できます。

構造体記号	構造体種別	連携元	ファミリー名	材料設定 (利用参照元)	直接入力	熱貫流率 [W/(m ² ·K)]
OW-01	外壁	CADECT				6.667
OW-02	外壁	CADECT				6.667

OK キャンセル

※ 各編集項目の内容については、『[垂直重ね壁を追加する](#)』をご参照ください。

10. 室・部材 – 負荷系統

負荷系統の設定をします。空調モデルのみ設定可能です。

10.1 負荷系統を開く

カテゴリメニューより負荷システムをクリックし、負荷システム設定を開きます。



10.2 負荷系統を追加する

負荷系統設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、負荷系統設定ダイアログを開きます。負荷系統名を入力し、「OK」ボタンをクリックすると、負荷系統を追加できます。

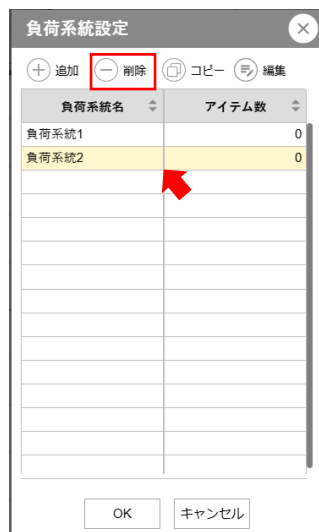


※ 負荷系統名は、グループ内でユニークである必要があります。また、空白やスペースでの登録はできません。

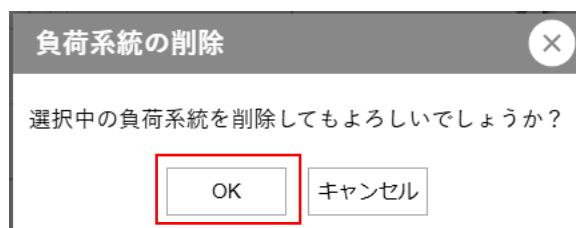
空調モデルでは、負荷系統を追加する際、負荷系統名は、「負荷系統 1」「負荷系統 2」「負荷系統 3」…と、負荷系統+1 の連番にて初期名称を自動表示します。負荷系統名は変更も可能です。

10.3 負荷系統を削除する

負荷系統設定ダイアログから、削除したい行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数行選択し、「削除」ボタンをクリックします。



「削除」ボタンをクリックし、負荷系統の削除ダイアログを表示します。「OK」ボタンをクリックすると、選択した行が削除できます。

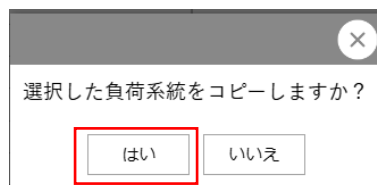


10.4 負荷系統をコピーする

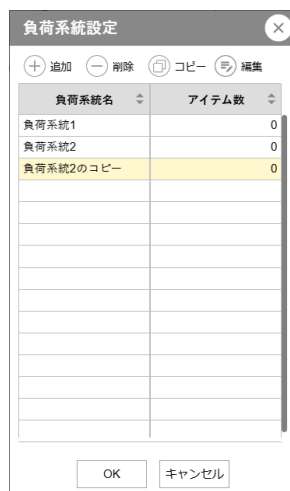
負荷系統設定ダイアログから、コピーしたい行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数行選択し、「コピー」ボタンをクリックします。



「コピー」ボタンをクリックし、ダイアログを表示します。「はい」ボタンをクリックすると、選択した行がコピーできます。



〇〇（元の名称）のコピーという名称でコピーします。

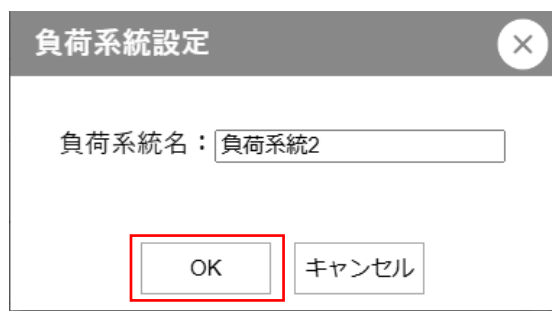


10.5 負荷系統を編集する

負荷系統設定ダイアログから、編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。



「編集」ボタンをクリックし、ダイアログを表示します。負荷系統名を編集し、「OK」ボタンをクリックすると、編集内容が適用されます。



※ 負荷系統名は、グループ内でユニークである必要があります。また、空白やスペースでの登録はできません。

11. 室・部材 - 諸元設定

諸元設定をします。空調モデルのみ設定可能です。

※ 「諸元グループ」の概要については「[CADECT⇔STABRO データ変換対応表](#)」／
「[CADECT⇔SeACD2 データ変換対応表](#)」の巻末で説明しています。

11.1 諸元設定を開く

カテゴリメニューより諸元設定をクリックし、諸元設定を開きます。



11.2 諸元設定を追加する

諸元設定ダイアログの「追加」ボタンをクリックし、諸元グループ登録ダイアログを開きます。各種詳細情報を入力し、「OK」ボタンをクリックして諸元グループを追加します。

【詳細情報】

①	諸元グループ名	諸元設定のグループ名をユニークになるよう入力してください。空調モデルでは、諸元グループを追加する際、諸元グループ名は、「諸元グループ 1」「諸元グループ 2」「諸元グループ 3」…と、諸元グループ+1 の連番にて初期名称を自動表示します。諸元グループ名は変更も可能です。
②	屋内条件 乾球温度 (夏季・冬季)	夏季、冬季での空気の温度を入力してください。
③	屋内条件 相对湿度 (夏季・冬季)	空気中に含まれる水蒸気の割合を入力してください。
④	照明負荷	1m ² 当たりの消費エネルギーを入力してください。
⑤	人体負荷 (人員密度・ 顕熱 SH・潜熱 LH)	人の発熱負荷を密度、顕熱量、潜熱量をそれぞれ入力してください。

⑥	その他の内部発熱負荷 (OA) (消費電力・負荷率)	その他の内部発熱負荷に当たる消費電力と負荷率を入力してください。
⑦	人員密度	1m ² 当たりの人員密度を入力します。
⑧	人員	1m ² 当たりの人員を入力します。
⑨	換気方式	換気方式を「第1種、第2種、第3種、方式なし」の中から選択してください。
⑩	一人あたりの外気量	一人あたりの外気量を入力します。
⑪	換気回数	1時間当たりの換気回数を入力します。

11.3 諸元設定を削除する

諸元設定ダイアログの削除したい行を選択し、「削除」ボタンをクリックします。また、複数行削除したい場合は、Ctrl キーを押しながら複数行選択し、「削除」ボタンをクリックします。

[illegible]

「削除」ボタンをクリックし、諸元設定の削除ダイアログを開きます。「OK」ボタンをクリックして、諸元設定を削除します。

諸元設定の削除

選択中の諸元設定を削除してもよろしいでしょうか？

OK キャンセル

11.4 諸元設定をコピーする

諸元設定ダイアログのコピーしたい行を選択し、「コピー」ボタンをクリックします。また、複数行コピーしたい場合は、Ctrl キーを押しながら複数行選択し、「コピー」ボタンをクリックします。

[illegible]

「コピー」ボタンをクリックし、ダイアログを開きます。「はい」ボタンをクリックし、行をコピーします。

選択した諸元設定をコピーしますか？

11.5 諸元設定を編集する

諸元設定ダイアログの編集したい行を選択し、「編集」ボタンをクリックします。また、複数行編集したい場合は、Ctrl キーを押しながら複数行選択し、「編集」ボタンをクリックします。

[illegible]

「編集」ボタンをクリックし、諸元グループ編集ダイアログを開きます。変更したい諸元グループ名、または各種項目のチェックボックスへチェックを入れて編集し、「OK」ボタンをクリックすると、変更内容が適用されます。

諸元グループ編集

変更したい項目を選択して設定します。

☒ 諸元グループ1

諸元グループ1

×

●空調諸元

屋内条件

夏期

☒ 乾球温度

28℃

☒ 相対湿度

45%

冬期

☒ 乾球温度

19℃

☒ 相対湿度

40%

☒ 照明負荷

人体負荷

☒ 顕熱SH

66 [W/人]

☒ 潜熱LH

55 [W/人]

その他の内部発熱負荷(OA)

☒ 消費電力

13 [W/m]

☒ 負荷率

0.6

●人員 ※空調・換気共通

☒ 人員密度

[人/m]

○人員 ※直接入力で人員優先

10

[人]

●換気諸元

☒ 換気方式

▼

☐ 一人当たりの外気量

30

[m³/h]

☒ 換気回数

0

[回/h]

OK

キャンセル

※ 各編集項目の内容については、『11.2 階を設定する』をご参照ください。

※ 選択が1つの場合は、チェックボックスが選択された状態で表示されます。

12. 階

建物の階設定を行い、エリア設定ができる建物の階数を設定します。

12.1 階を開く

カテゴリメニューより階を開きます。

階

階数

① 地上 0 階 ② 地下 0 階

基本高さ

③ 階高 地上 3500 mm ④ 階高 地下 3500 mm

⑤ 天井高 2400 mm ⑥ 床高 0 mm

階高 ① ② 天井高 ③ 床高

適用

12.2 階を設定する

各種情報を選択して、「適用」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	階数(地上)	建物の階数。何階建て(地上)か数値を入力します。設定後、非表示になります。
②	階数(地下)	建物の階数。何階建て(地下)か数値を入力します。設定後、非表示になります。
③	階高(地上)	建物の階の高さ。地上の1階分の高さを数値入力します。
④	階高(地下)	建物の階の高さ。地下の1階分の高さを数値入力します。
⑤	天井高	建物の天井の高さ。床から天井までの高さを数値入力します。
⑥	床高	建物の床の高さ。階高の0 mmを基準として床部分の高さを数値入力します。

※ 天井高と床高の合計が、階高（地上/地下）以下になるように設定します。

12.3 階を追加する

階ダイアログの「追加」ボタンをクリックします。

名称	連携	階高(mm)	天井高(mm)	床高(mm)	床面積(m ²)
3F	CADECT	3500	2400	50	0
2F	CADECT	3500	2400	50	0
1F	CADECT	3500	2400	50	0

※ドラッグ＆ドロップ操作で階の入れ替えが行えます

階の追加ダイアログに各種情報を設定し、「追加する」ボタンをクリックします。

① 地上 地下

② 階名称
2F

③ 連携
CADECT

④ 階高さ
3500 mm

⑤ 天井高
2400 mm

⑥ 床高
50 mm

追加する キャンセル

【設定情報】

①	地上/地下	地上か地下のうち、階を追加する方を選択します。
②	階名称	建物の階の名称。設定する名称をテキスト入力します。
③	連携	階の連携元を表示します。編集できない項目です。
④	階高さ	建物の階の高さ。1 階分の高さを数値入力します。
⑤	天井高	建物の天井の高さ。床から天井までの高さを数値入力します。
⑥	床高	建物の床の高さ。階高の 0 mm を基準に床部分の高さを入力します。

※ 床面積はフロア内の面積の積算を自動的に算出します。

※ 天井高と床高の合計が、階高さ以下になるように設定します。

※ 建具（CW 以外）が上の階高さを越えるような配置をした場合、アラートが表示されます。その場合は建具の高さや設置高を見直してください。

12.4 階を削除する

階ダイアログの階情報の行を選択し、「階削除」ボタンをクリックします。

階

基本高さ

階高 地上 3500 mm 地下 3500 mm

天井高 2400 mm 床高 50 mm

① 階高 ② 天井高 ③ 床高

名称	連携	階高(mm)	天井高(mm)	床高(mm)	床面積(m ²)
3F	CADECT	3500	2400	50	0
2F	CADECT	3500	2400	50	0
1F	CADECT	3500	2400	50	0

※ドラッグ&ドロップ操作で階の入れ替えが行えます

階の削除

『3F』を削除しますか？

削除したい階を選択し、「階削除」ボタンをクリックすると、階の削除ダイアログが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると削除されます。

階

基本高さ

階高 地上 3500 mm 地下 3500 mm

天井高 2400 mm 床高 50 mm

① 階高 ② 天井高 ③ 床高

名称	連携	階高(mm)	天井高(mm)	床高(mm)	床面積(m ²)
3F	CADECT	3500	2400	50	0
2F	CADECT	3500	2400	50	28.43
1F	CADECT	3500	2400	50	0

※ドラッグ&ドロップ操作で階の入れ替えが行えます

階の削除

『2F』を削除しますか？

中間階の削除に関しても、上記と同様の手順で削除が可能です。

12.5 階を編集する

階ダイアログの階情報を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

名称	連携	階高(mm)	天井高(mm)	床高(mm)	床面積(m ²)
3F	CADECT	3500	2400	50	0
2F	CADECT	3500	2400	50	0
1F	CADECT	3500	2400	50	0

※ドラッグ&ドロップ操作で階の入れ替えが行えます

階ダイアログの「編集」ボタンをクリックすると、階の設定ダイアログが表示されます。各種情報を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	階名称	建物の階の名称。設定する名称をテキスト入力します。
②	連携	階の連携元を表示します。編集できない項目です。
③	階高さ	建物の階の高さ。1 階分の高さを数値入力します。
④	天井高	建物の天井の高さ。床から天井までの高さを数値入力します。
⑤	床高	建物の床の高さ。階高の 0 mm を基準に床部分の高さを入力します。

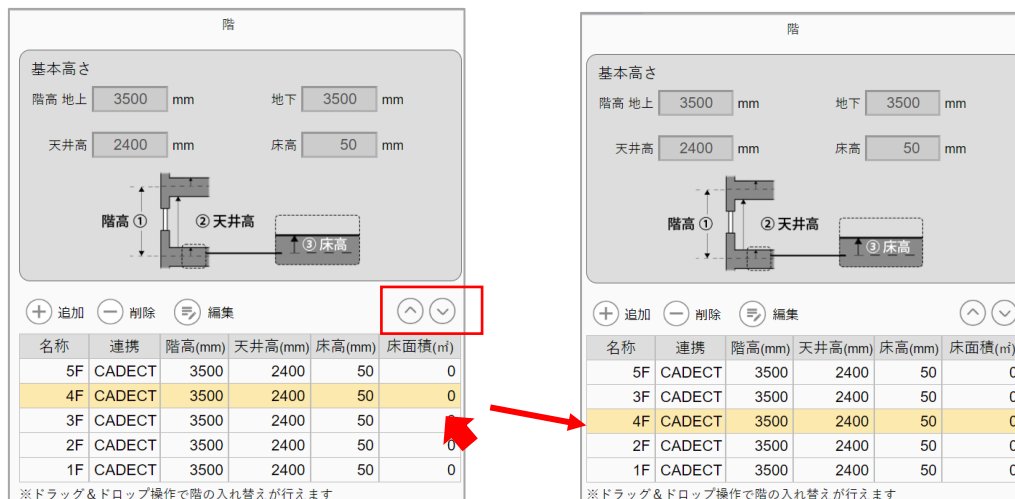
※ 床面積はフロア内の面積の積算を自動的に算出します。

※ 天井高と床高の合計が、階高さ以下になるように設定します。

※ 建具（CW 以外）が上の階高さを越えるような配置をした場合、アラートが表示されます。その場合は建具の高さや設置高を見直してください。

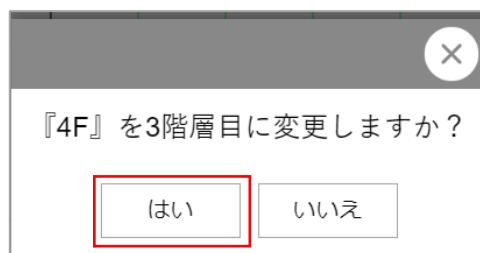
12.6 階の入れ替え

既に設定した階層を入れ替える機能です。階設定ダイアログの階情報を選択し、上下矢印ボタン（▲▼）をクリックします。

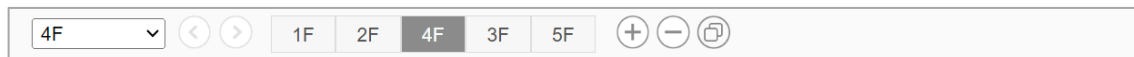


階を選択後、上矢印ボタン▲をクリックすると、1つ上の階層と入れ替わります。下矢印ボタン▼をクリックすると、1つ下の階層と入れ替わります。

また、階を選択後、マウスのドラッグ&ドロップ操作でも階の入れ替え操作が可能です。その際は、確認ダイアログが表示されますので、変更する場合は「はい」をクリックします。



階の入れ替えを行った場合は、フッターメニューの階層も連動して入れ替わります。

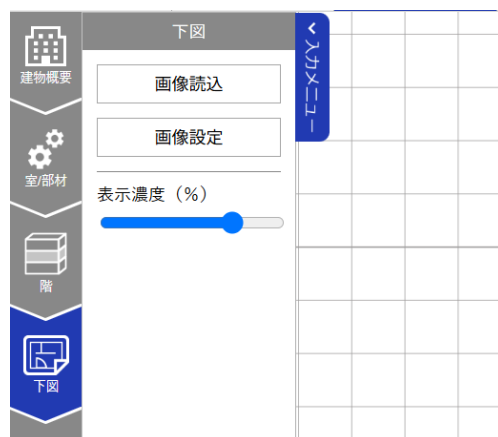


13. 下図

建物の下図設定を行い、編集領域内に表示させる下図画像の設定をします。読み込んだ下図は、保存時に保存されます。

13.1 下図を開く

カテゴリメニューより下図をクリックし、下図画面を開きます。

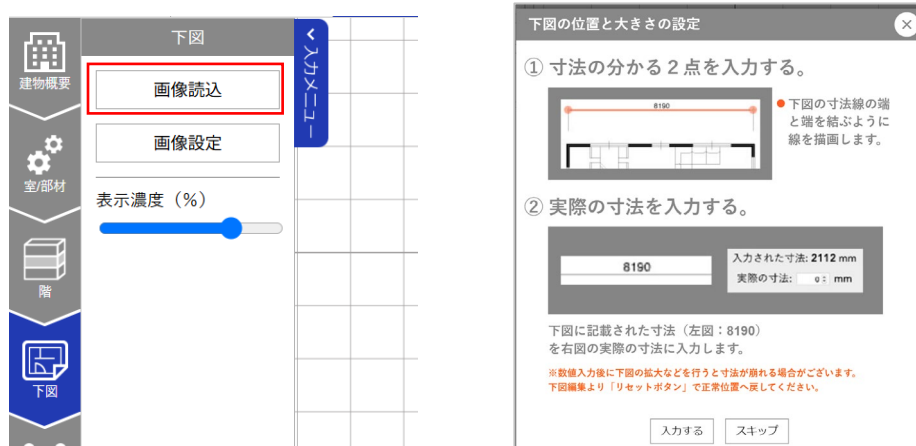


13.2 下図を表示する

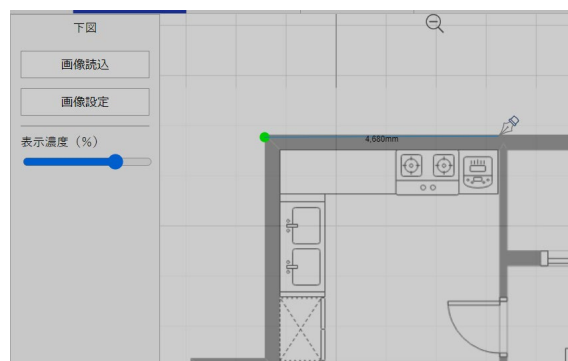
13.2.1 画像読込

「画像読込」ボタンをクリックし、読み込む下図のファイルを選択すると、「下図の位置と大きさの設定」ダイアログが表示されます。

下図の位置と大きさの設定を行いたい場合は、「入力する」ボタンをクリックします。



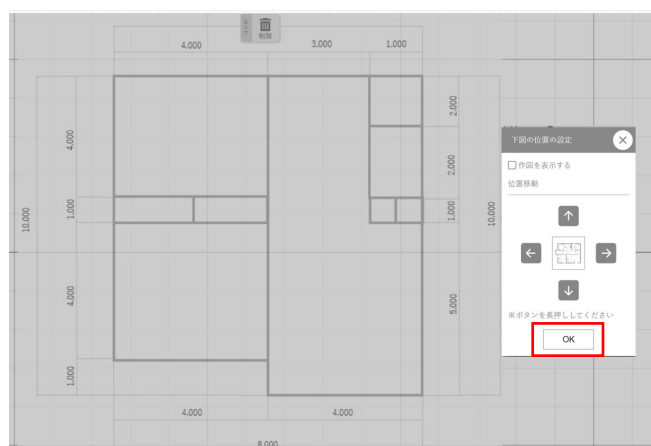
カーソルが筆に変化するので、クリックして寸法線の端と端を結ぶように描画します。



下図の位置と大きさの設定ダイアログに実際の寸法の数値を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

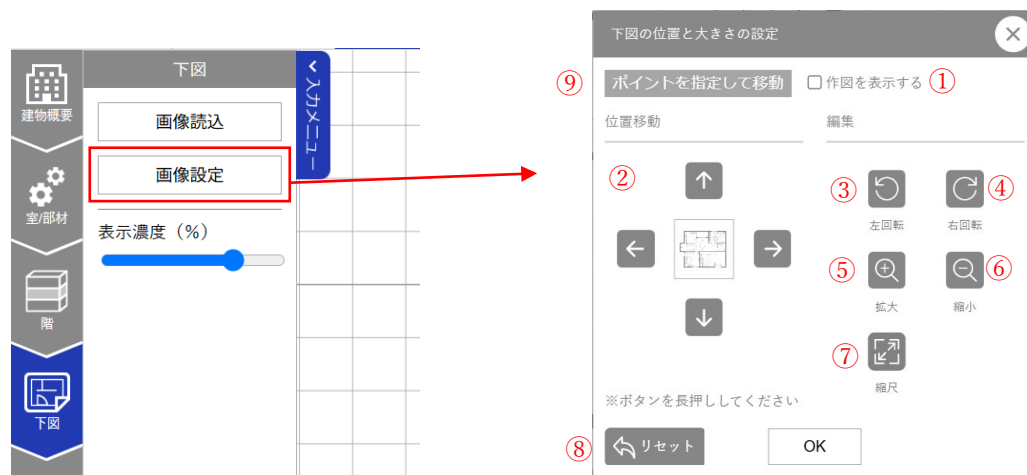


下図の位置の設定ダイアログの矢印をクリックし、下図の位置を移動させます。設定出来たら、「OK」ボタンをクリックします。



13.2.2 画像設定

下図の「画像設定」ボタンをクリックすると、下図の位置と大きさの設定ダイアログが表示されます。各種情報を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



【設定情報】

①	作図を表示する	チェック ON/OFF で作図の表示、非表示を切り替えます。
②	位置移動	上下左右の矢印を長押しし、下図の位置を設定します。
③	左回転	「左回転」ボタンをクリックして、下図を左に回転します。
④	右回転	「右回転」ボタンをクリックして、下図を右に回転します。
⑤	拡大	「拡大」ボタンをクリックして、表示を拡大します。
⑥	縮小	「縮小」ボタンをクリックして、表示を縮小します。
⑦	縮尺	「縮尺」ボタンをクリックして、寸法を入力します。
⑧	リセット	「リセット」ボタンをクリックして、設定をリセットします。
⑨	ポイントを指定して移動	マウスポインタを操作して下図の移動や回転をする機能です。ボタンをクリックすると、操作選択ダイアログが表示されます。

※ 回転、拡大縮小は、ボタンの長押しで連続で回転やサイズ変更ができます。

13.2.3 ポイントを指定して移動

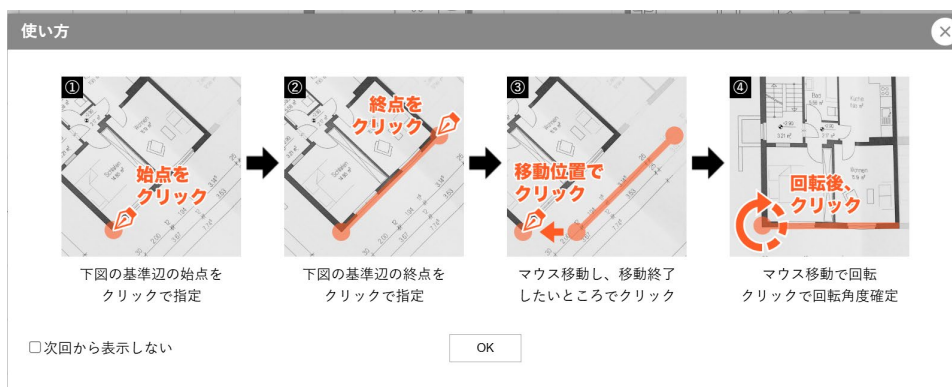


【使い方】

①～③の各ボタンをクリックすると、使い方の各画面ダイアログが表示されます。
各使い方ダイアログを次回から表示しない場合は、「次回から表示しない」へチェックを入れてください。

①移動&回転

基準辺を指定して、下図画像を移動および回転します。



- 1) 基準辺となる線を引きます。
1つ目のクリックで線の始点を指定します。(この点を基準に、下図が動かせるようになります。)
2つ目のクリックで線の終点を指定します。(ここで指定した線を軸として、下図を回転します。)
- 2) 下図を再配置したい位置でクリックします。
続いてマウスを動かすと、下図が回転します。クリックで確定します。

②移動のみ

基準点を指定して下図画像を移動します。



- 1) 基準となる点をクリックします。
- 2) 下図を再配置したい位置でクリックします。

③回転のみ

基準辺を指定して下図画像を回転します。



- 1) 基準となる線を引きます。
 - 1つ目のクリックで線の始点を指定します。
 - 2つ目のクリックで線の終点を指定します。(ここで指定した線を軸として、下図を回転します。)
- 2) 続いてマウスを動かすと、下図が回転します。クリックで確定します。

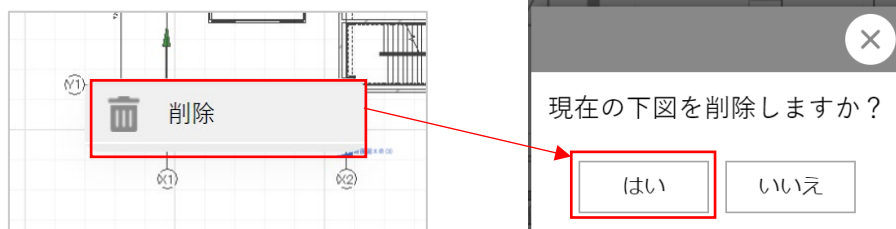
13.2.4 画像の表示設定

表示濃度(%)のバーをクリックして移動させると、下図画像の透過率を変更できます。



13.3 下図を削除する

下図メニューを開いている際に右クリックを押してメニューを表示します。「削除」ボタンをクリックし、ダイアログ内の「はい」ボタンをクリックすると、下図が削除できます。階に下図が設定されていない場合、メニューが表示されません。



13.4 下図を別の階の下図に合わせて設定する

下図を別の階の下図に合わせて設定することができます。

別の階で下図を読み込んだ後、下図の読み込みをすると、下記のダイアログが表示されます。

下図の合わせ

別の階の下図と合わせますか？

① ☐ はい。別の階と合わせます。

階選択: 1F ▼

② ☒ いいえ。位置とスケールを自分で設定します。

OK

いずれかを選択しOKボタンをクリックします。

【設定情報】

①	はい。別の階と合わせます。	先に読み込んだ別の階の下図と同じ設定を使用して配置します。
②	いいえ。位置とスケールを自分で設定します。	下図の位置を最初から設定します。

14. エリア

エリア入力を行い、編集領域内に室の入力をします。

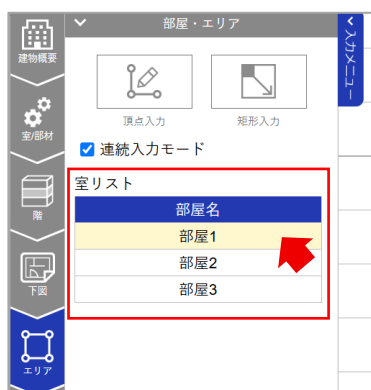
14.1 エリア入力を開く

カテゴリメニューよりエリアをクリックし、エリア入力画面を開きます。



14.2 エリアを入力する

入力したい室がある場合は、室/部材 - 室情報で設定した室リスト内の行を選択します。



頂点入力もしくは、矩形入力をクリックし、エリア入力をします。

14.2.1 頂点入力

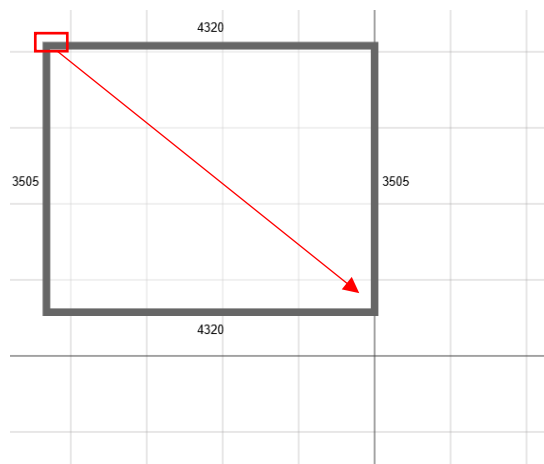
「頂点入力」ボタンをクリックして、描画エリアに入力します。作成したいエリアの頂点をクリックし、描画します。入力を終了する場合は、始点と重なったところでクリックするか、終了したい地点でダブルクリックします。

右クリックを押すと一つ前の入力状態に、ESC キーで入力がクリアできます。「連続入力モード」チェックボックスにチェックが入っていたら、連続でエリアを入力することができます。

[Shift]キーを押しながら入力を行うと、水平、直行、45° の補正がかかります。

14.2.2 矩形入力

「矩形入力」ボタンをクリックして、描画エリアにドラッグ操作で入力します。マウスドラッグ中（マウスのボタンを離す前）に ESC キーを押下すると入力がクリアできます。「連続入力モード」チェックボックスにチェックが入っていたら、連続でエリアを入力することができます。



14.2.3 エリア設定情報

描画したエリアをクリックして、エリア設定情報を開きます。

部屋・エリア

基本入力 詳細入力

☐ 連続入力モード

設定情報

① 建物用途

② 室用途

③ 番号

④ 部屋名

④ 名称未設定

⑤ ☐ 天井なし ① 天井高 2400 mm

⑥ ☐ 床なし ② 床高 0 mm

※吹抜けを設定すると自動的にチェックが入ります。

⑦ 吹抜け

☐ 吹抜け(面積算入) ☐ 吹抜け(面積不算入) 吹抜け設定

⑧ 空調計算 (省エネモデル用)

☐ 直接入力 ☐ 対象 ☒ 対象外

⑨ 空調・非空調 (空調モデル用)

☐ 空調 ☒ 非空調 (換気あり)

☐ 非空調 (換気なし)

※非空調 (換気なし) にすると換気設定ソフトに連携されません。

⑩ 空調負荷区分

冷暖房

⑪ ☐ 屋外空間

⑫ 換気方式

⑬ 構造体記号 (天井)

⑭ ☐ 日射なし(日陰)

⑮ 構造体記号 (床)

⑯ ☐ 日射なし(日陰)

⑰ 負荷系統

⑱ 諸元グループ

(直接入力) 諸元設定

⑲ 部屋の周長

20600 mm ☐ 直接入力

⑳ 面積

26.51 m² ☐ 直接入力

(自動求積: 26.51 m²)

㉑ 容積

63.62 m³ ☐ 直接入力

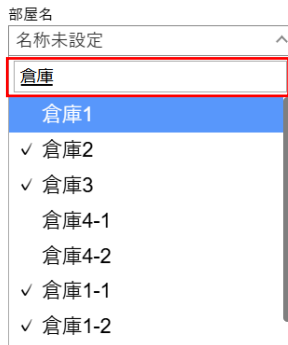
(自動求積: 63.62 m³)

※自動求積値との差が0~10%の範囲を超える場合は、リストの表示がなくなります。

各種情報を選択して適用します。

【設定情報】

①	建物用途	建物の用途。建物自体の用途を選択します。省エネモデルのみ入力可能です。
②	室用途	室の用途。室の用途を選択します。省エネモデルのみ入力可能です。

③	番号	室を識別する番号。その室を識別するための番号を入力します。
④	部屋名	部屋の名称。その部屋の名称をテキスト入力します。『室情報を追加する』にて追加した室情報の部屋名をプルダウンリストから選択できます。また、テキストボックスに文字を入力するとリストを絞り込みする事ができます。 
⑤	天井なし・天井高	天井がない場合は「天井なし」チェックボックスにチェックを入れます。天井がある場合は、床から天井までの高さを数値入力します。
⑥	床なし・床高	床がない場合は「床なし」チェックボックスにチェックを入れます。床がある場合は、床高に階高の 0mm を基準とした床の高さを数値入力します。
⑦	吹抜け	吹抜け設定ボタンより吹き抜けの設定を行います。吹抜け設定したエリアには、吹抜け（面積参入）、吹抜け（面積不算入）のいずれかにチェックが入ります。
⑧	空調計算（省エネモデル用）	空調計算の対象/対象外を選択します。通常は室用途によって自動で対象/対象外が入力されます。変更する場合は直接入力のチェックボックスにチェックを入れて変更します。省エネモデルのみ入力可能です。
⑨	空調・非空調（空調モデル用）	空調/非空調を選択します。非空調の場合は換気あり/換気なしをラジオボタンで選択します。空調モデルのみ入力可能です。
⑩	空調負荷区分	⑨で空調が選択されている場合に設定可能です。冷暖房・冷房のみ・暖房のみから選択します。空調モデルのみ入力可能です。

⑪	屋外空間	エリアが中庭などの屋外空間である場合にチェックボックスを選択します。「屋外空間」にチェックが入っている場合は⑦「天井なし」が編集不可になり、チェックが入ります。 【屋外空間の各アプリ連携】 • STABRO 負荷計算…連携なし 「空調・非空調（空調モデル用）」で空調を設定しても連携されませんのでご注意ください • SeACD2…「空調・非空調（空調モデル用）」で「非空調（換気あり）」を選択した場合のみ連携 →「換気設置場所」としての設定が必要な箇所をご利用ください • A-repo4 建築…「省エネモデル」で「建物用途」「室用途」を設定した場合に連携 →「照明」設備の入力が必要な箇所をご利用ください ※その他詳細な内容については「CADECT よくある質問集」の Q. 27 をご参照ください。
⑫	換気方式	諸元設定にて設定した換気方式を表示します。
⑬	構造体記号(天井)	室/部材の構造体で設定した天井の構造体記号から選択します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑭	日射なし（日陰）	選択したエリアの天井が日射なし（日陰）の場合は、チェックボックスにチェックを入れます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑮	構造体記号(床)	室/部材の構造体で設定した床の構造体記号から選択します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑯	日射なし（日陰）	選択したエリアの床が日射なし（日陰）の場合は、チェックボックスにチェックを入れます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑰	負荷系統	部屋に対して負荷系統を設定します。空調モデルのみ設定が可能です。
⑱	諸元グループ	「諸元設定」ボタンをクリックし、諸元設定をします。空調モデルのみ設定が可能です。諸元設定の詳細については「 諸元設定 」を参照してください。
⑲	部屋の周長	選択したエリアの周長を表示します。直接入力にチェックを入れると部屋の周長の数値を直接入力できます。

②⑩	面積	直接入力にチェックを入れると、面積の数値を直接入力できます。2D 上の形状、3D 上には一切反映されません。デフォルトは自動求積です。直接入力を行うと、エリア内の面積表記の横に鉛筆マークが表示されます。また、自動求積との差分が 0～10%の範囲を超えた場合、リスト表示の対象が赤く表示されます。自動求積の計算式は「面積×天井高」です。
②⑪	容積	直接入力にチェックを入れると、容積の数値を直接入力できます。 デフォルトは自動求積です。

- ※ 部屋をまとめて設定したい場合は、部屋を複数選択し、右クリックで部屋をまとめて設定できます。詳細は【エリアをまとめて設定する】に記載しています。
- ※ エリアを削除したい場合は、右クリックで削除できます。詳細は【エリアを削除する】に記載しています。

14.2.4 諸元設定

諸元グループの「諸元設定」ボタンをクリックし、諸元設定ダイアログを開きます。諸元設定ダイアログに、各種情報を入力します。諸元グループの追加は、室/部材『11.2 諸元設定を追加する』から設定できます。また、背景色が黄色の項目は、諸元グループを設定すると、設定される項目、白色の項目は、諸元グループを設定しても、設定されない項目になります。

※ 「諸元グループ」の概要については「CADECT⇔STABRO データ変換対応表」／「CADECT⇔SeACD データ変換対応表」の巻末で説明しています。

① 諸元グループ: (直接入力)

② 設計用屋内条件

	夏期		冬期	
	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]
	28	45	19	40

③ 照明負荷

	[W/m²]	[W/室]
	16	188

④ 人体負荷

	⑤ 人員密度 [人/m²]	⑥ 人員 [人/室]	⑦ 顕熱SH [W/人]	⑧ 潜熱LH [W/人]
	0.15	2	66	55

⑨ 事務機器、OA機器

	消費電力 [W/m²]	負荷率
	13	0.6

⑩ 複写機、大型事務機器

	消費電力 [W/室]	負荷率
	0	0.6

⑪ その他

	顕熱 [W/室]	潜熱 [W/室]
	0	0

⑫ 外気負荷

	一人当り [m³/(h・人)]	室当り [m³/h]	換気回数 [回/h]	室当り [m³/h]	必要換気量 [m³/h]	設計換気量 [m³/h]
	30	60	0	0	60	

⑬ 換気

	換気方式	全熱交換器	
		熱交換効率 [%]	
		夏期	冬期
		0	0

⑭ 選択中のエリアの面積: 11.76m² 室容積: 28.22m³

※ 1: 照明負荷の[W/m²] × エリアの面積
 ※ 2: 人体負荷の人員密度[人/m²] × エリアの面積
 ※ 3: 外気量の一人当り × 人体負荷の人員[人/室]
 ※ 4: 室容積[m³] × 換気回数[回/h]
 ※ 5: 外気負荷の室当り[m³/h]、室容積[m³] × 換気回数[回/h] のいずれか大きい方

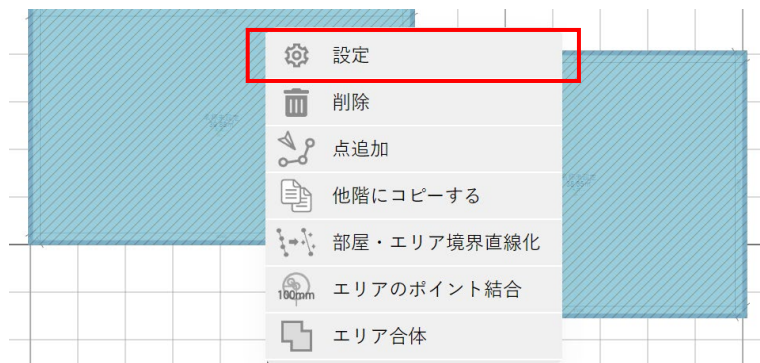
OK キャンセル

①	諸元グループ名	諸元設定のグループ名を選択します。
②	設計用屋内条件 乾球温度 (夏期・冬期)	室内の夏期および冬期設計用乾球温度を入力してください。
③	設計用屋内条件 相対湿度 (夏期・冬期)	室内の夏期および冬期設計用相対湿度を入力してください。
④	照明負荷	1m ² 当たりの照明の消費エネルギーを入力してください。
⑤	人体負荷-人員密度	1 m ² 当たりの人員を入力してください。
⑥	人体負荷-人員人/室	人員密度×エリアの面積を自動算出します。

⑦	人体負荷-顕熱 SH	一人当たりの顕熱量を入力してください。
⑧	人体負荷-潜熱 LH	一人当たりの潜熱量を入力してください。
⑨	その他の内部発熱負荷 - 事務機器、OA 機器 - 消費電力・負荷率	事務機器、OA 機器の 1 m ² 当たりの消費電力と負荷率を入力してください。
⑩	その他の内部発熱負荷 - 複写機、大型事務機器 - 消費電力・負荷率	複写機、大型事務機器の室当りの消費電力と負荷率を入力してください。
⑪	その他の内部発熱負荷 - その他 - 消費電力・負荷率	その他機器の室当りの消費電力と負荷率を入力してください。
⑫	外気負荷（人員による外気量）（換気回数による外気量）（必要換気量）（設計換気量）	人員による外気量、換気回数による外気量、必要換気量、設計換気量を入力または表示します。
⑬	換気方式	第 1 種、第 2 種、第 3 種、方式なしから選択してください。部屋の設定値のため、機器配置をしたときに自動で連携はしません。全熱交換器（夏期・冬期）
⑭	全熱交換器（夏期・冬期）	夏期、冬期での熱交換効率を入力してください。
⑮	選択中のエリアの面積・室容積	選択中のエリアの面積と室容積を表示します。 各計算式は以下の通りです。 ※ 1：照明負荷…照明負荷[W/m²]×エリアの面積 ※ 2：人体負荷…人体負荷の人員密度[人/m²]×エリアの面積 ※ 3：人員による外気量…外気量の一人当り×人体負荷の人員[人/室] ※ 4：換気回数による外気量…室容積[m³]×換気回数[回/h] ※ 5：外気負荷の室当り[m³/h]、室容積[m³]×換気回数[回/h]のいずれか大きい方を自動で表示します。

14.3 エリアをまとめて設定する

エリアを選択した後、右クリックを押してメニューを表示します。



「設定」ボタンをクリックして、エリアをまとめて設定ダイアログを表示します。

エリアをまとめて設定 [X]

変更したい項目を選択して設定します。

☐ 建物用途

☐ 室用途

☐ 部屋名

名称未設定

☐ 天井なし（吹抜け用）
☐ 天井なし

☐ ① 天井高

2400 mm

☐ ⑤ 床なし（吹抜け用）
☐ 床なし

☐ ② 床高

0 mm

☐ ⑥ 空調計算（省エネモデル用）
☐ 直接入力

○ 対象
● 対象外

☐ ⑦ 空調・非空調（空調モデル用）

○ 空調
● 非空調（換気あり）
○ 非空調（換気なし）

※非空調（換気なし）にすると機器選定ソフトに連携されません

☐ ⑧ 空調負荷区分

冷暖房

☐ ⑨ 屋外空間
☐ 屋外空間

☐ ⑩ 構造体記号（天井）

☐ ⑪ 構造体記号（床）

☐ ⑫ 負荷系統

☐ ⑬ 諸元グループ

(直接入力)
諸元設定

変更する

キャンセル

変更したい箇所のチェックボックスにチェックを入れ、各種設定情報を入力して「変更する」ボタンをクリックします。なお、選択したエリアが1つの場合は、編集可能なすべてのチェックボックスにチェックが入った状態で表示されます。

※エリアの選択が1つの場合は、ダイアログ・タイトルは「エリアを設定」です。

【設定情報】

①	建物用途	建物の用途。建物自体の用途を選択します。省エネモデルのみ入力可能です。
---	------	-------------------------------------

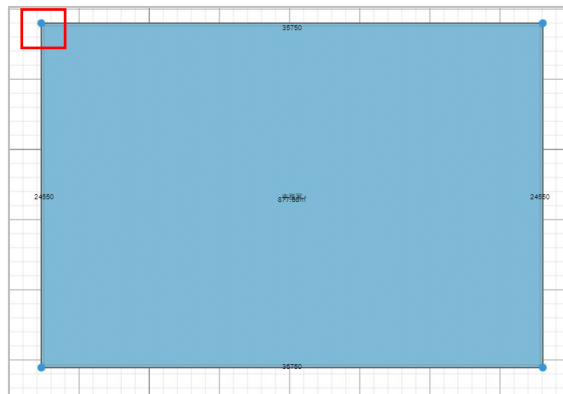
②	室用途	室の用途。室の用途を選択します。省エネモデルのみ入力可能です。
③	部屋名	部屋の名称。その部屋の名称をテキスト入力します。『 室情報を追加する 』にて追加した室リストはプルダウンリストから選択できます。また、テキストボックスに文字を入力するとリストを絞り込みする事ができます。
④	天井なし・天井高	天井がない場合は「天井なし」チェックボックスにチェックを入れます。天井がある場合は、床から天井までの高さを数値入力します。
⑤	床なし・床高	床がない場合は「床なし」チェックボックスにチェックを入れます。床がある場合は、床高に階高の 0mm を基準とした床の高さを数値入力します。
⑥	空調計算 (省エネモデル用)	空調計算の対象/対称外を選択します。直接入力のチェックボックスにチェックを入れて変更します。省エネモデルのみ入力可能です。
⑦	空調・非空調 (空調モデル用)	空調/非空調を選択します。非空調の場合は、換気あり/換気なしをラジオボタンで選択します。空調モデルのみ入力可能です。
⑧	空調負荷区分	⑦で空調が選択されている場合に設定可能です。冷暖房・冷房のみ・暖房のみから選択します。空調モデルのみ入力可能です。
⑨	屋外空間	エリアが中庭などの屋外空間である場合にチェックボックスを選択します。「屋外空間」にチェックが入っている場合は④「天井なし」が編集不可になり、チェックが入ります。 【屋外空間の各アプリ連携】 - STABRO 負荷計算…連携なし 「空調・非空調（空調モデル用）」で空調を設定しても連携されませんのでご注意ください - SeACD2…「空調・非空調（空調モデル用）」で「非空調（換気あり）」を選択した場合のみ連携 →「換気設置場所」としての設定が必要な箇所をご利用ください - A-repo4 建築…「省エネモデル」で「建物用途」「室用途」を設定した場合に連携 →「照明」設備の入力が必要な箇所をご利用ください

		※その他詳細な内容については「 CADECT よくある質問集 」の Q. 27 をご参照ください。
⑩	構造体記号(天井)	室/部材の構造体で設定した天井の構造体記号から選択します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑪	構造体記号(床)	室/部材の構造体で設定した床の構造体記号から選択します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑫	負荷系統	まとめて負荷系統を設定します。空調モデルのみ設定可能です。
⑬	諸元グループ	まとめてエリアの諸元設定をします。空調モデルのみ設定可能です。

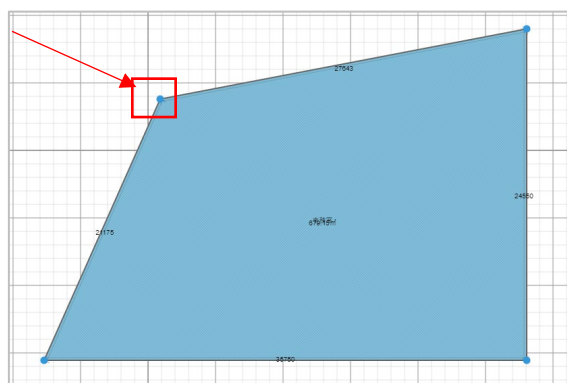
※ 選択が1つの場合は、チェックボックスが選択された状態が表示されます。

14.4 エリアの範囲を再設定する

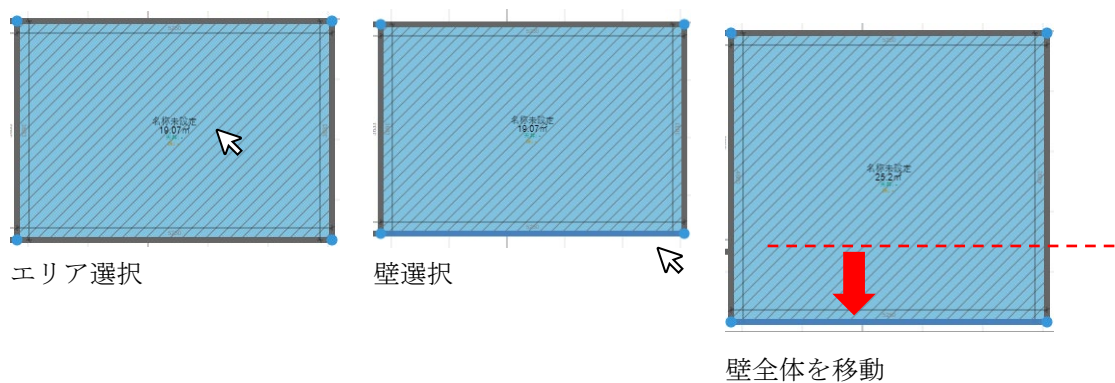
エリアの設定後、エリアの再設定をすることができます。作成したエリアをクリックして、設定するエリアが選択されている状態にします。



エリアの角の青丸をドラッグしながら動かすことで、エリアの範囲を再設定できます。



エリアをクリック→壁をクリックし、選択状態になった壁をクリックしながら動かすと、壁全体を移動してエリアの範囲を再設定できます。



14.5 頂点を増やす

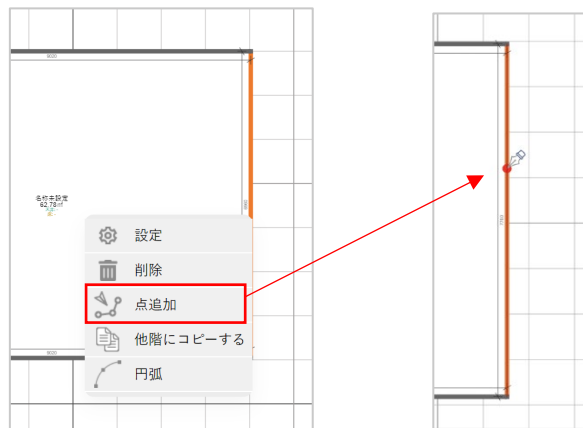
14.5.1 エリアメニューから頂点追加

エリアを選択し、右クリックを押すと、メニューが表示されます。「点追加」ボタンをクリックすると、マウスがペンに切り替わります。頂点を追加したい位置の壁をクリックすると、壁に頂点を増やすことができます。



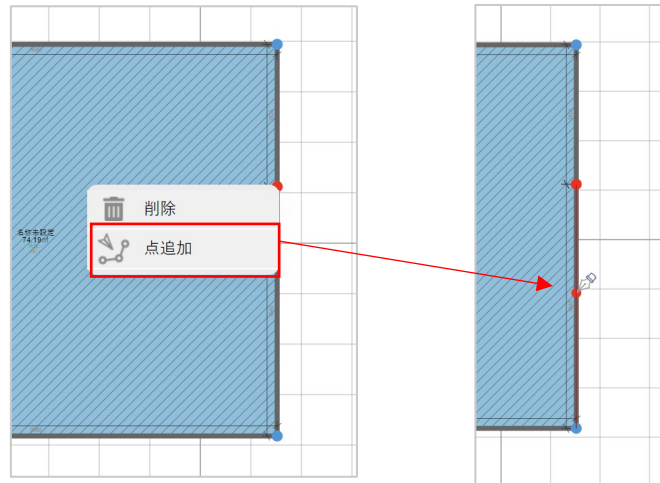
14.5.2 壁メニューから頂点追加

壁を選択し、右クリックを押すと、メニューが表示されます。「点追加」ボタンをクリックすると、マウスがペンに切り替わります。頂点を追加したい位置の壁をクリックすると、壁に頂点を増やすことができます。



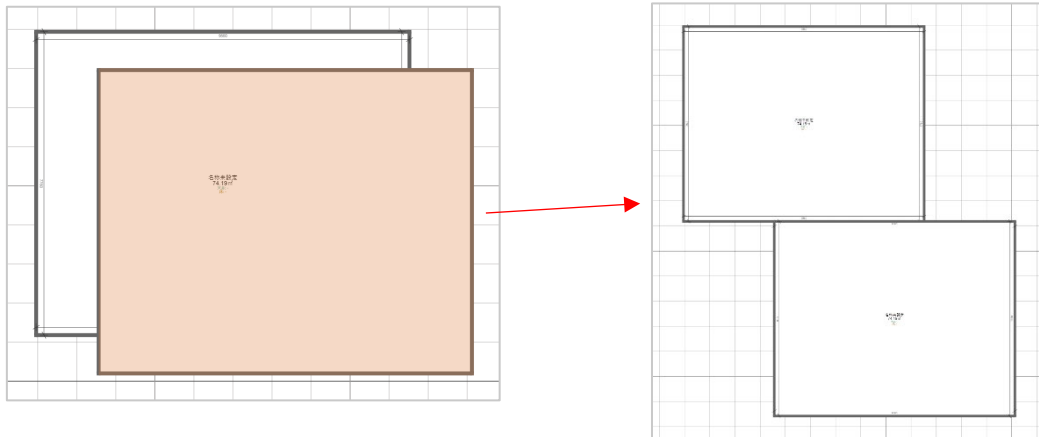
14.5.3 頂点メニューから頂点追加

頂点を選択し、右クリックを押すと、メニューが表示されます。「点追加」ボタンをクリックすると、マウスがペンに切り替わります。頂点を追加したい位置の壁をクリックすると、壁に頂点を増やすことができます。



14.6 エリアをコピーする

エリアを選択し、「Ctrl」キー + 「C」でコピーし、「Ctrl」キー + 「V」でペーストします。コピーしたエリアはマウスに追従するので、位置を決めたらクリックしてください。



14.7 エリアを他階にコピーする

14.7.1 エリアメニューからエリアをコピーする

エリアを選択し、右クリックを押すと、メニューが表示されます。「他階にコピーする」ボタンをクリックし、他階にコピーするダイアログを表示します。コピーしたい階のチェックボックスをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



14.8 壁をまとめて設定する

エリアの壁をまとめて設定することができます。

サブヘッダーの選択種類を壁にした後、まとめて設定したい壁をドラッグ操作にて複数範囲指定、もしくは、Ctrl キーを押しながら壁を複数選択し、右クリックを押してメニューを表示します。「設定」ボタンをクリックすると、壁をまとめて設定ダイアログが表示されます。

※壁の選択が 1 つの場合は、作成したエリアをクリックし、設定するエリアを選択状態にします。エリアの壁部分をクリック後、右クリックを押してメニューを表示します。



変更したい箇所のチェックボックスにチェックを入れ、各種設定情報を入力して「変更」ボタンをクリックします。

※壁の選択が 1 つの場合は、ダイアログ・タイトルは「壁を設定」です。

【設定情報】

①	壁タイプ	壁タイプを選択します。
②	部屋境界 (壁なし)	選択した壁が部屋の境界部分であることを示します。実際に壁はありません。
③	全壁	床から天井までの壁であること。
④	腰壁	床から立ち上がり、天井まで届かない壁のこと。高さは床からの数値を入力します。
⑤	垂壁	天井から下の方へ下がっている壁のこと。高さは天井からの数値を入力します。
⑥	構造体記号	室/部材 - 構造体設定で追加した壁の構造体。全壁・腰壁・垂壁にこの構造体を設定します。
⑦	日射なし	壁の日射なし（日陰）。
⑧	面積	直接入力にチェックを入れると、面積の数値を直接入力できます。デフォルトは自動求積です。また、自動求積との差分が 0～

		10%の範囲を超えた場合、リスト表示の対象が赤く表示されます。直接入力した場合の【分割結果への影響】については下記に記載しています。
--	--	--

※ 選択が1つの場合は、チェックボックスが選択された状態で表示されます。

【分割結果への影響】

- ・壁・屋根・床・天井の面積は、分割後の比率で入力面積を按分します。
- ・2D上の形状、3D上には一切反映されません。

14.9 構造体（壁）種別ごとに壁の色を変更する

ヘッダーメニューの設定ボタンをクリックし、設定ダイアログを開きます。壁色設定の外壁/内壁/地中壁の色を変更し、「OK」ボタンをクリックします。構造体設定の壁の種別ごとに色設定ができます。



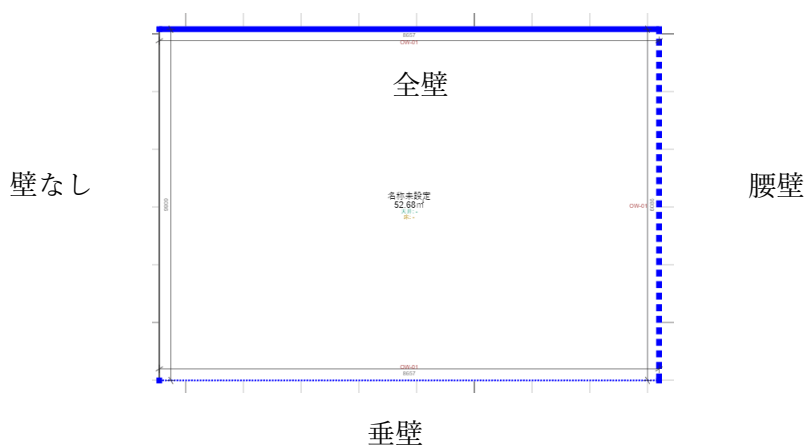
また、壁の設定にて、全壁/腰壁/垂壁/部屋境界（壁なし）の設定ごとに線の種類が異なります。

全壁…太い実線。

腰壁…太い点線。

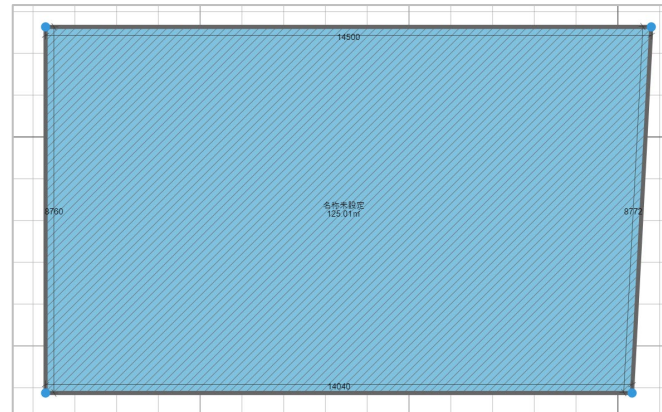
垂壁…細い点線。

壁無し…細い実線。※壁無しは壁色設定に関わらず灰色になります。

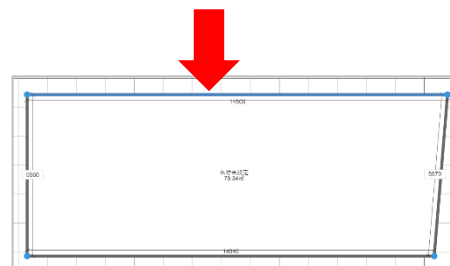
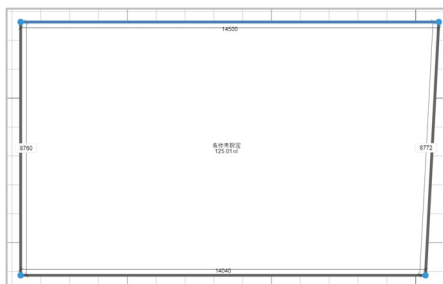


14.10 壁の移動と寸法入力

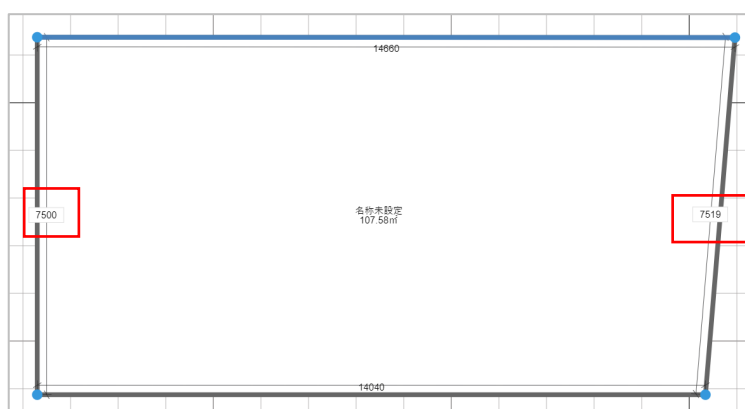
壁の移動を行いたいエリアを選択状態にします。



エリアの壁部分をクリック後、上下にマウス移動すると、壁の移動が行えます。また、左右の壁移動も同様に、壁をクリック後、左右にマウス移動で壁の移動が行えます。

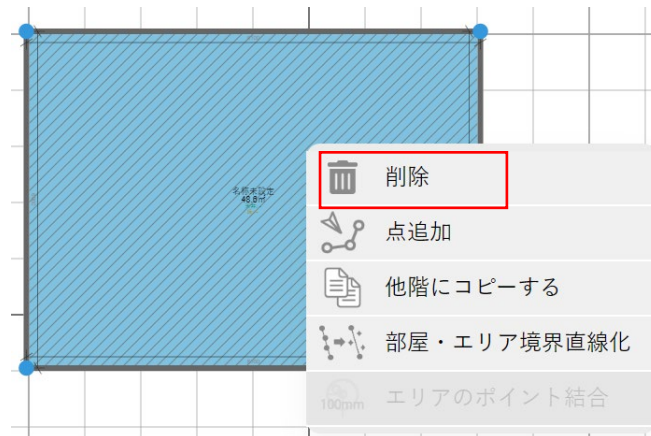


また、選択状態の壁に対して伸びている壁の寸法を入力することで、壁の移動が行えます。最小値は 100mm です。



14.11 エリアを削除する

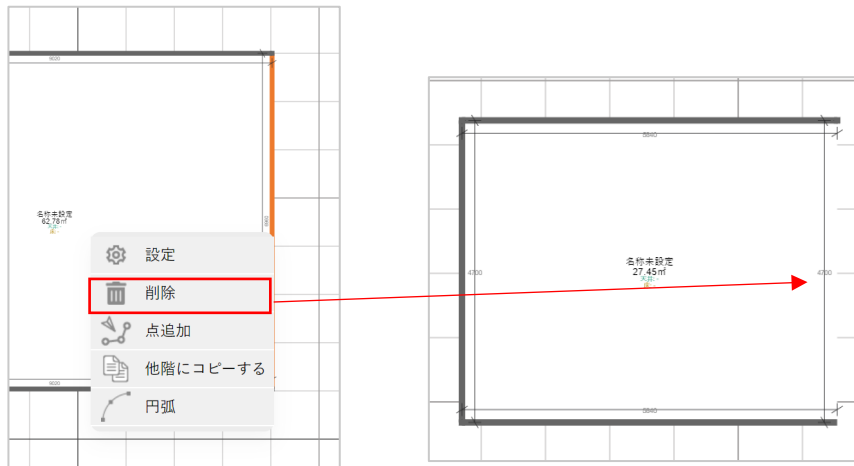
作成エリアをクリックして、エリアが選択されている状態にします。また、複数削除したい場合は、エリアを複数選択状態にします。右クリックを押して、メニューを表示します。「削除」ボタンをクリックして、削除します。



Delete キー押下でも削除ができます。

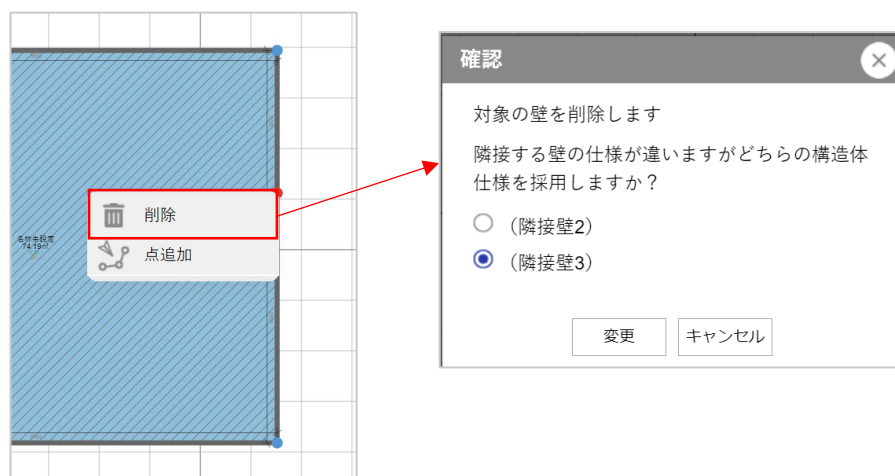
14.12 壁を削除する

壁をクリックして、壁が選択されている状態にします。右クリックを押して、メニューを表示します。「削除」ボタンをクリックして、削除します。ここでの削除は、部屋境界（壁なし）になることを言います。



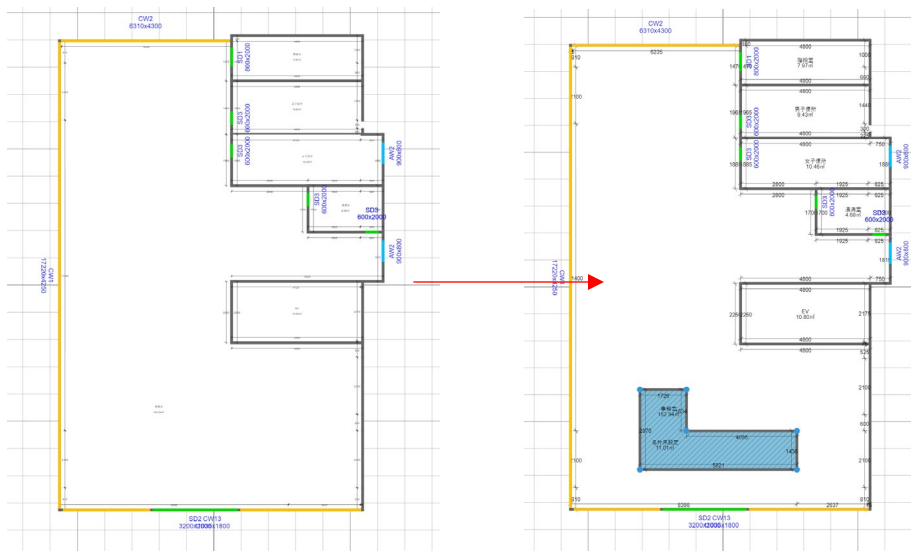
14.13 頂点を削除する

頂点をクリックして、頂点が選択されている状態にします。右クリックを押して、メニューを表示します。「削除」ボタンをクリックして、確認ダイアログを表示します。頂点に隣接している壁の仕様が異なる場合は選択した壁を採用して、もう一方の壁を削除します。採用する壁を選択して、「変更」ボタンをクリックします。



14.14 屋外空間を作成する

屋外空間以外のエリアを作成しておき、その上に中庭など屋外空間としたいところを上からエリア作成をします。屋外空間フラグは屋根自動生成と外壁検索（エラーチェックの内外判定）に影響がある場合があります。

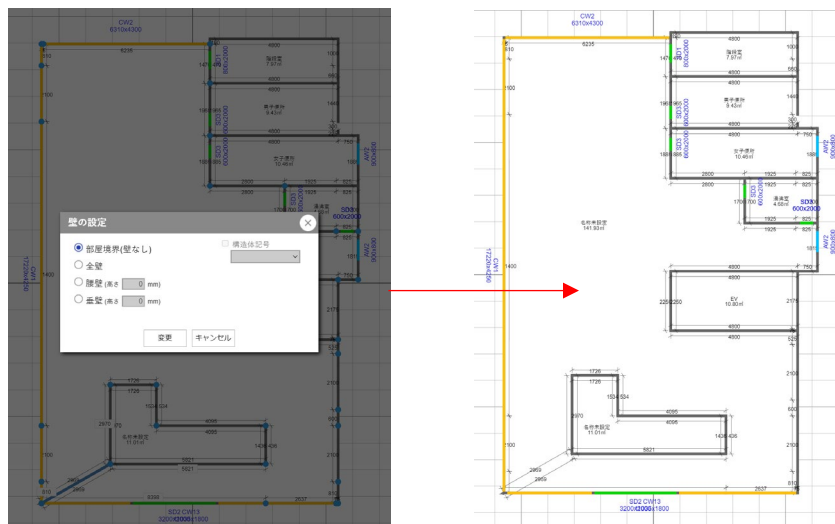


これだけでは、エリアが重なった状態となりますので、次にくり抜く為に、外側のエリアの端点と、中側のエリアの端点を1か所結びます。

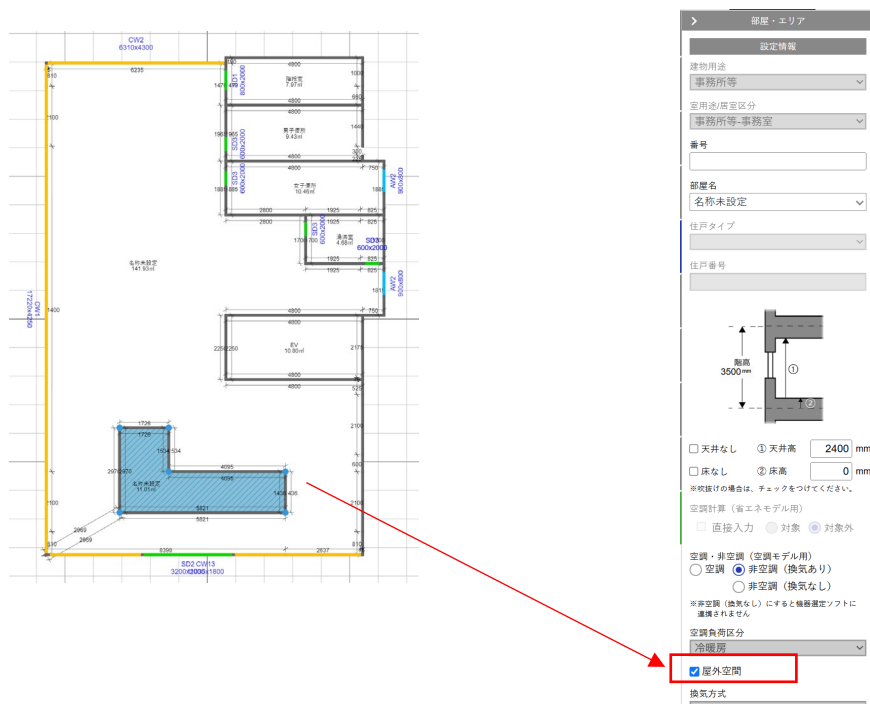
部屋・エリア入力ボタンをクリックして、このように端点同時を指定して外側のエリアに切り込みを入れます。



外側のエリアの切り込みの壁をクリックで選択して、壁の設定ダイアログを開き、部屋境界（壁なし）に変更します。

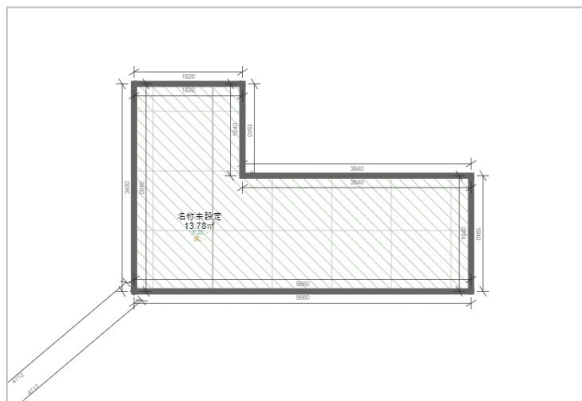


最後に、中側に作ったエリアを選択して、設定情報より屋外空間を選択します。



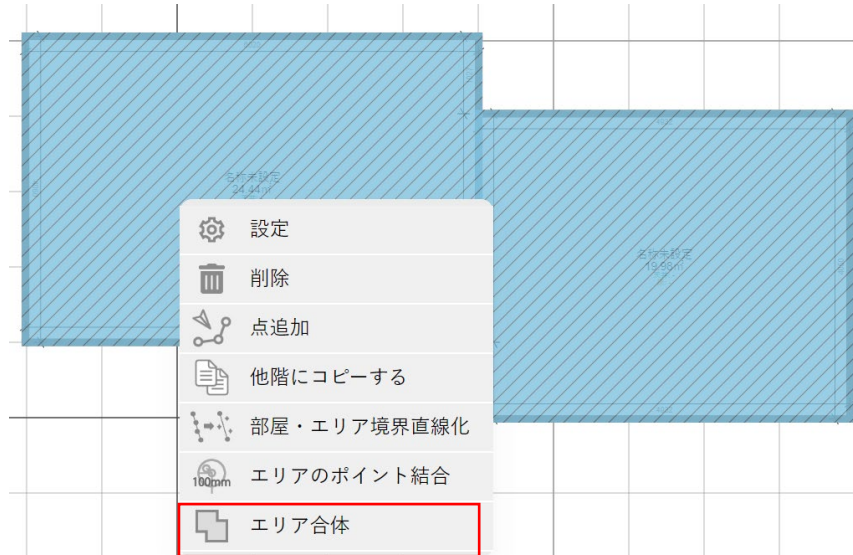
屋外空間の選択をすると、天井なしが連動して選択状態となり、変更不可となります。

屋外空間に設定したエリアのみ、他エリアと異なる表示となり、エリアに斜めの斜線がかかり、背景は透明になります。

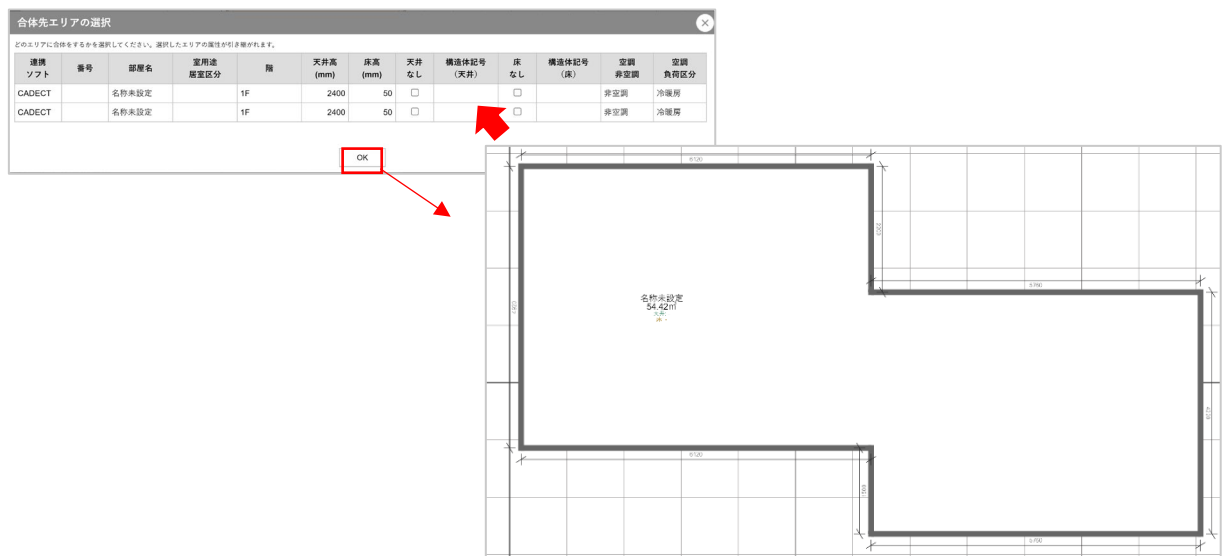


14.15 エリア合体

複数のエリアを選択し、メニューを開きます。「エリア合体」ボタンをクリックします。

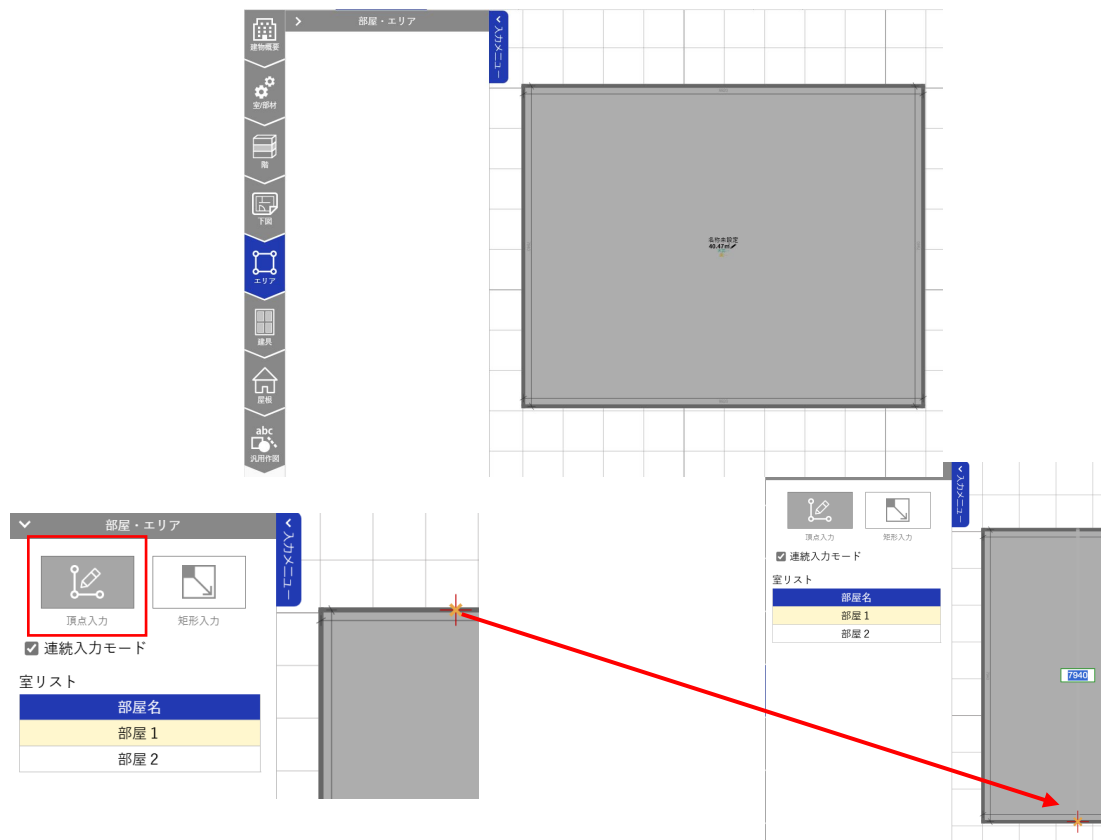


「エリア合体」ボタンをクリックし、合体先エリアの選択ダイアログを表示します。リストから合体したいエリアを選択し、「OK」ボタンをクリックして、エリアを合体させます。

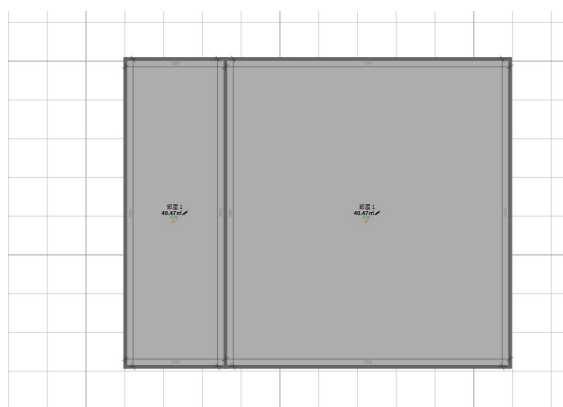


14.16 エリア分割

1つのエリアを2つに分けたい場合は、頂点入力をクリック後、エリアを分割するようにクリックで壁の端点を描画します。



分割されたエリアです。構造体で外壁及び内壁の設定後に分割すると壁の情報を引継いでエリアの面積も分けて表示します。部屋名は同じ名前を引き継ぎますので変更したい場合はエリアの入力メニューより変更してください。

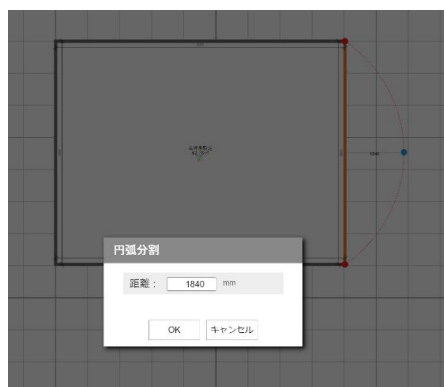


14.17 円弧

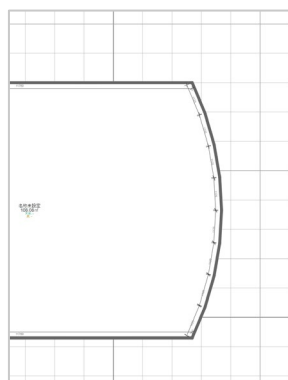
壁を選択し、右クリックでメニューを開きます。



「円弧」ボタンをクリックし、壁中央の頂点を円弧の描きたい方向へマウスで引っ張ります。

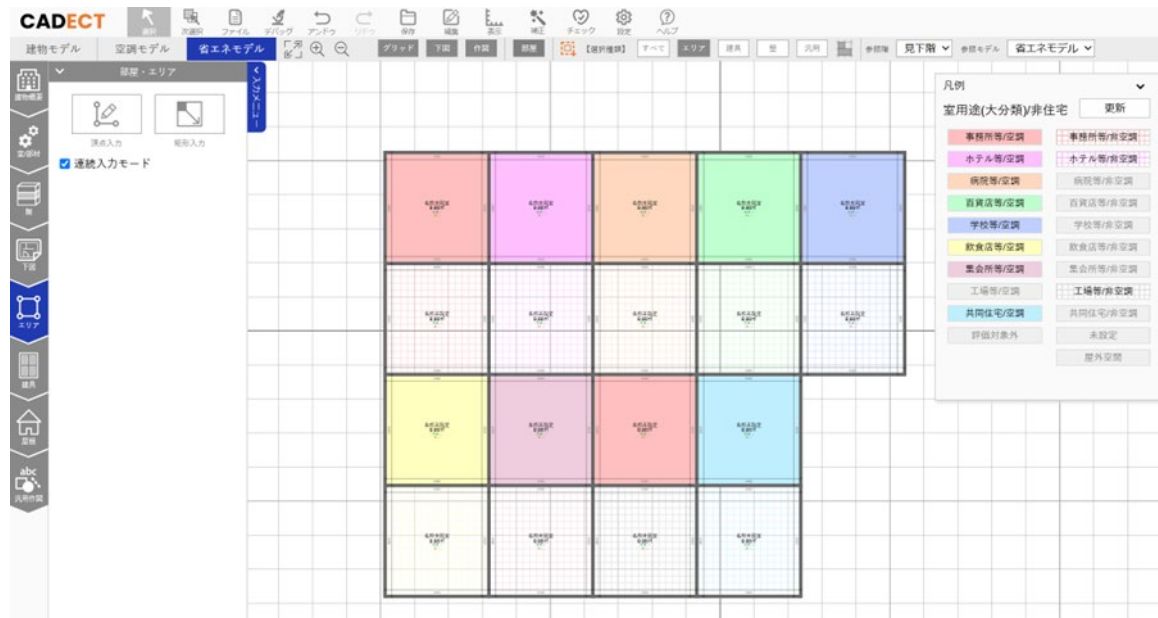


マウスを離すと、円弧分割ダイアログが表示されるので、壁からの距離を入力します。
「OK」ボタン押下で、入力した距離分離れたところに、1000 より大きい一番近い値で分割されます。



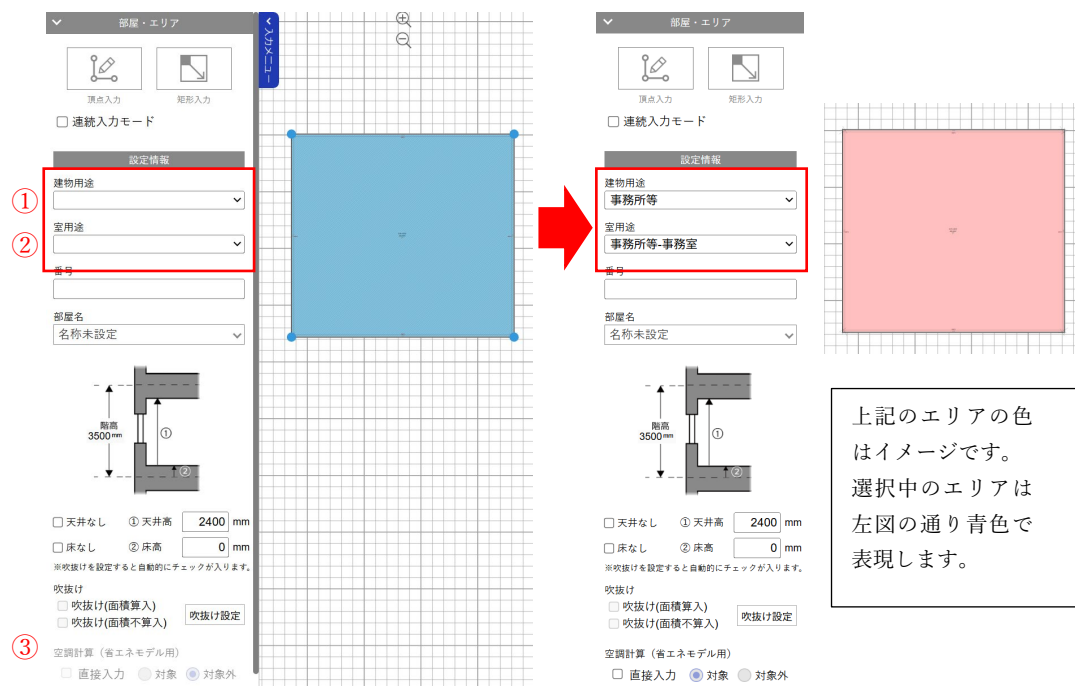
14.18 エリアの建物用途、室用途、空調有無による色分け表示

省エネモデルにて、エリアの建物用途、室用途、空調有無によってエリアの色分け表示をします。



14.18.1 室用途設定エリアの適用

適用したいエリアをクリックし、建物用途と室用途を選択すると、用途によってエリアを色分けし表示します。



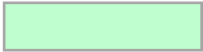
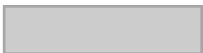
各種情報を選択して適用します。

【設定情報】

①	建物用途	プルダウンリストより選択します。
②	室用途	プルダウンリストより選択します。
③	空調計算 (省エネモデル用)	室用途から自動で設定される対象区分に対し、手動で対象外へ変更したい場合に選択します。直接入力 of チェックボックスにチェックを入れて変更します。省エネモデルのみ入力可能です。

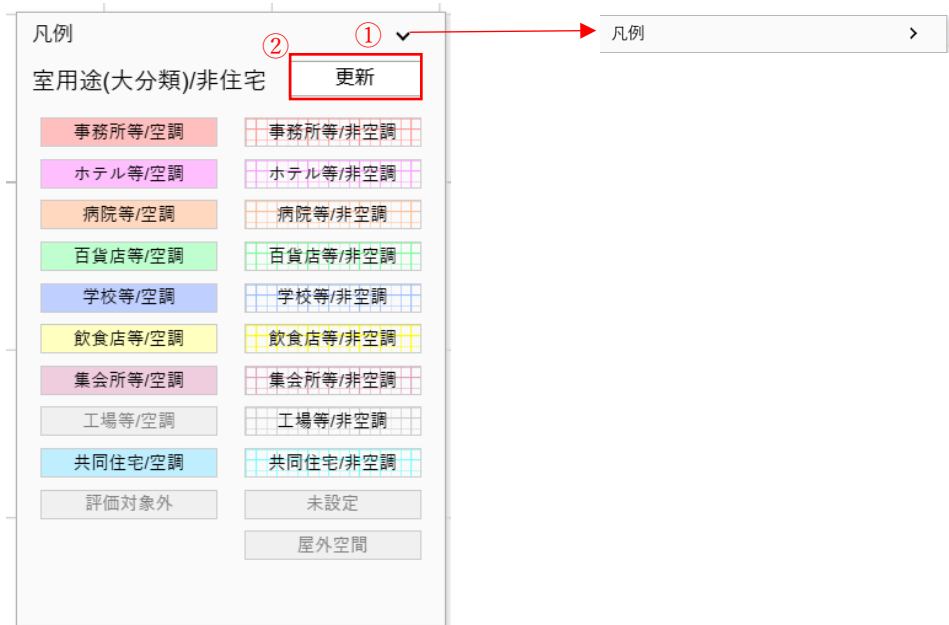
各室用途に対しての各色表示は以下の一覧表の通りです。対象/対象外/屋外/評価対象外/未設定/屋外に分類します。

室用途	対象	対象外	屋外
事務所等			

ホテル等			
病院等			
百貨店等			
学校等			
飲食店等			
集会所等			
工場等			
共同住宅等			

14.18.2 室用途設定エリアの凡例

各エリアに設定した室用途に対し、描画した各エリアの色を凡例へ反映します。



各ボタンをクリックすることで表示状態を変更します。

【設定情報】

①	凡例表示/非表示	✓の部分をクリックすると凡例を非表示にします。
②	更新	更新ボタンをクリックすると、描画した各エリアの色を凡例へ反映します。

14.19 吹抜け空間における上下階の室情報の紐づけ設定

吹抜け空間の上下階の室情報の紐づけ設定を行います。

14.19.1 吹抜けを設定する

吹抜け設定したいエリアを選択し、吹抜け設定ボタンをクリックし、吹抜け設定ダイアログを開きます。

The screenshot displays the 'Blow-out' (吹抜け) settings dialog on the left and a floor plan diagram on the right. The dialog includes the following options:

- 吹抜け**
 - ☐ 吹抜け (面積算入)
 - ☐ 吹抜け (面積不算入)
 - ☒ 吹抜け設定
- 空調計算 (省エネモデル用)**
 - ☐ 直接入力
 - ☐ 対象
 - ☒ 対象外
- 空調・非空調 (空調モデル用)**
 - ☒ 空調
 - ☐ 非空調 (換気あり)
 - ☐ 非空調 (換気なし)
- ※非空調 (換気なし) にすると機器選定ソフトに連携されません。
- 空調負荷区分**
 - 冷暖房
- ☐ 屋外空間
- 換気方式**
 -
- 構造体記号 (天井)**
 -
- 温度差係数**
 -
- ☐ 日射なし (日陰)

The floor plan diagram on the right shows a rectangular area labeled '部屋1' (Room 1) with an area of '24.8㎡'. The room is shaded blue with diagonal lines. The dimensions '4940' are indicated on the left and right sides of the room.

吹き抜け空間の最低階エリアは、吹抜け (面積算入) エリアとして設定し、吹抜けの上階エリアを吹抜け (面積不算入) エリアとして設定します。

吹抜け設定

? どんな設定?

下のエリアを基準に上のエリアを紐づいて
吹抜け空間（吹抜けグループ）を作成します。

吹抜け（面積算入）エリアは吹抜け空間の最低階エリアとして扱います。
吹抜け（面積不算入）エリアは吹抜けの上階エリアです。
吹抜け空間で繋がっている吹抜けエリアを指定してください。

☒ 吹抜け（面積不算入）

1F

部屋1

☐ 吹抜け（面積算入）

※ エリアの吹抜け設定を解除すると、
同じ吹抜け空間（吹抜けグループ）の
全てのエリアの吹抜け設定が解除されます。

OK キャンセル

各種情報を設定して「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

- ① 吹抜け（面積不算入）…吹抜け（面積不算入）エリアとする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
- ② 吹抜け（面積不算入）階…プルダウンリストより選択します。
- ③ 吹抜け（面積不算入）エリア…プルダウンリストより選択します。
- ④ 吹抜け（面積算入）…吹抜け（面積算入）エリアとする場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

例えば、1F から 3F まで吹抜けエリアと設定したい場合、まず、1F の吹抜け最低階エリアに対し、④吹抜け（面積算入）にチェックを入れ、1F を吹抜け（面積算入）エリアと設定します。

3F 吹抜け上階

2F 吹抜け上階

1F 吹抜け最低階

下記の通り、エリアの入力メニューの設定情報上に、吹抜け（面積算入）エリアであることを表示します。

吹抜け

☒ 吹抜け（面積算入）
☐ 吹抜け（面積不算入）

吹抜け設定

次に、2F の吹抜け上階エリアに対し、②吹抜け（不算入）にチェックを入れ、②階と③エリアをプルダウンリストから選択し、吹抜け（面積不参入）エリアとして紐づけ設定します。3F も同様の手順で設定します。

3F 吹抜け上階

2F 吹抜け上階

1F 吹抜け最低階

吹抜け設定

?

どんな設定？

下のエリアを基準に上のエリアを紐づいて吹抜け空間（吹抜けグループ）を作成します。

吹抜け（面積算入）エリアは吹抜け空間の最低階エリアとして扱います。

吹抜け（面積不算入）エリアは吹抜けの上階エリアです。

吹抜け空間で繋がっている吹抜けエリアを指定してください。

☒ 吹抜け（面積不算入）
☐ 吹抜け（面積算入）

B1

部屋1

※ エリアの吹抜け設定を解除すると、同じ吹抜け空間（吹抜けグループ）の全てのエリアの吹抜け設定が解除されます。

OK

キャンセル

下記の通り、エリアの入力メニューの設定情報上に、吹抜け（面積不算入）エリアであることを表示します。

吹抜け

☐ 吹抜け（面積算入）
☒ 吹抜け（面積不算入）

吹抜け設定

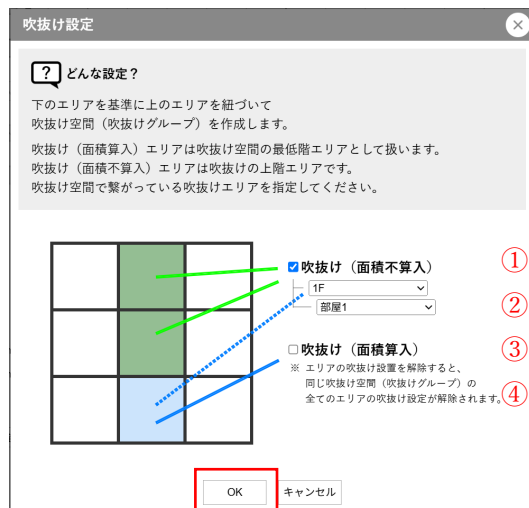
1F

部屋1

146

14.19.2 吹抜けを解除する

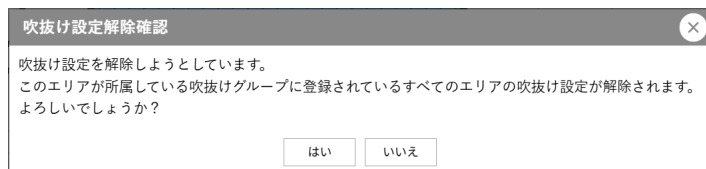
吹抜け設定を解除したいエリアをクリックし、エリアの入力メニューから、「吹抜け設定」ボタンをクリックし、吹抜け設定ダイアログを開きます。



①吹抜け（面積不算入）もしくは、④吹抜け（面積算入）のチェックを外して「OK」ボタンをクリックします。

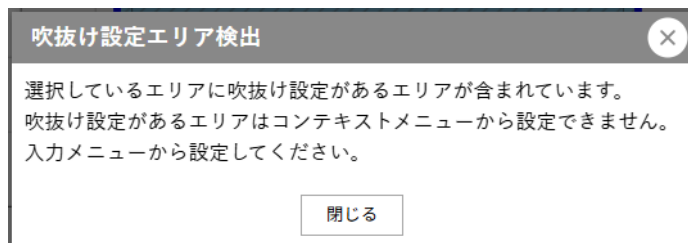
TIPS 吹抜け設定しているエリアの削除、エリア分割、エリア合体について

吹抜け設定されたエリアを削除、エリアの分割、エリアの合体をした場合は、吹抜け設定解除確認ダイアログを表示します。解除する場合は、「はい」をクリックします。



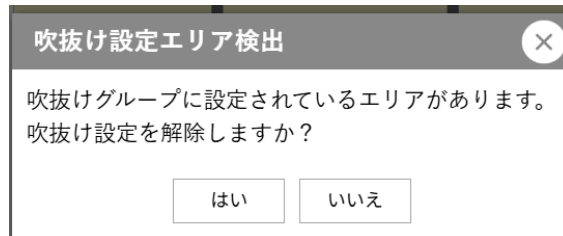
TIPS 吹抜け設定しているエリアのコンテキストメニューからの設定について

吹抜け設定されたエリアが含まれている場合は、エリアの右クリックメニュー（コンテキストメニュー）からの設定機能は使えません。吹抜け設定されたエリアが含まれた場合は、吹抜け設定エリア検出アラートを表示します。



TIPS 吹抜け設定しているエリアが含まれる階の削除、入れ替えについて

吹抜け設定されたエリアが含まれている階の削除、階の入れ替えをした場合は、吹抜け設定エリア検出ダイアログを表示します。吹抜け設定を解除する場合は、「はい」をクリックします。



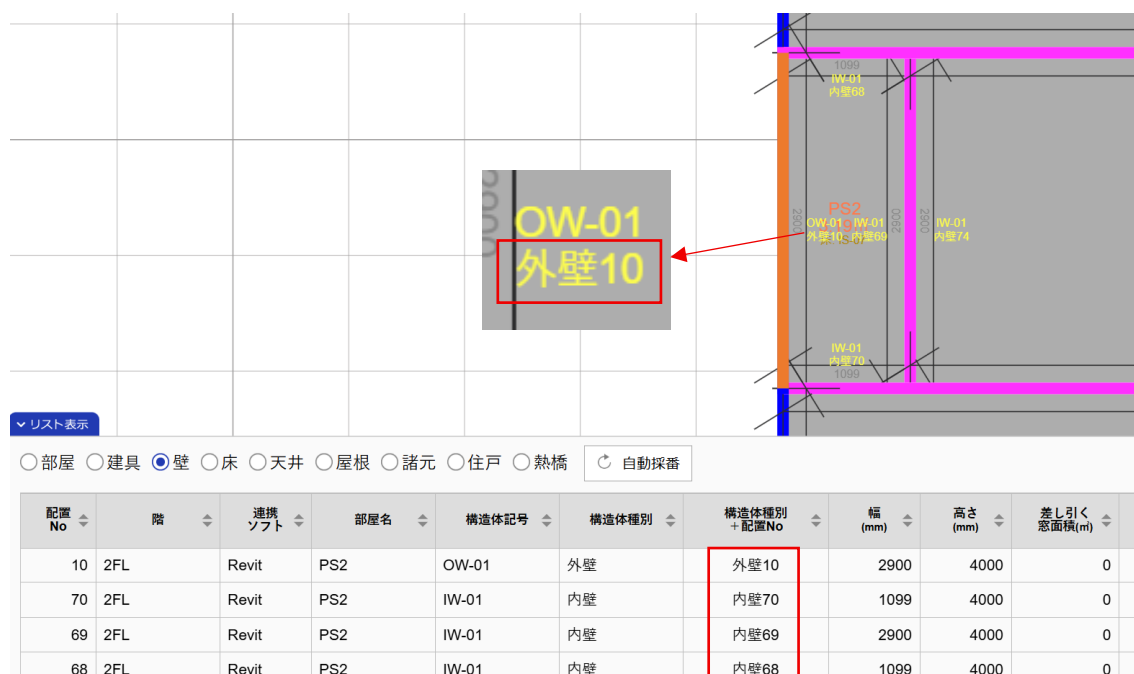
14.20 壁の配置 No を自動採番

壁に「構造体種別+配置 No」を自動採番します。

リスト表示の壁リストを開き、自動採番ボタンをクリックします。



自動採番をすると、リスト表示と、間取りに採番された「構造体種別＋配置 No」が表示されます。



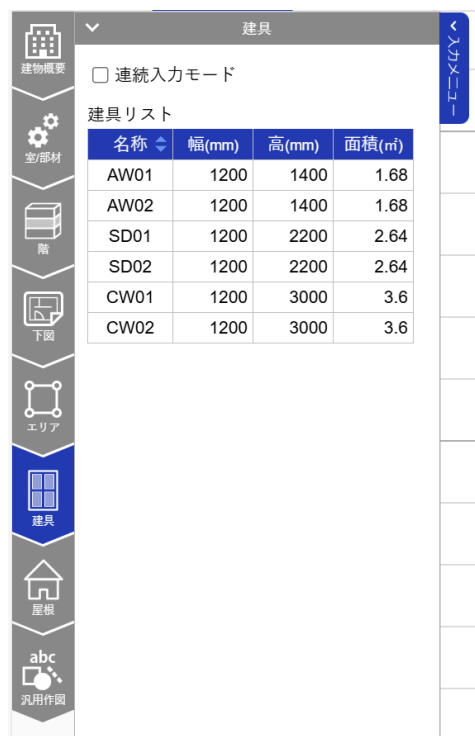
外壁は、左上から時計回りに採番されます。その他の壁は、左上の部屋から順番に採番されます。

15. 建具

建具の設定を行い、エリアメニューに適用される情報を設定します。

15.1 建具を開く

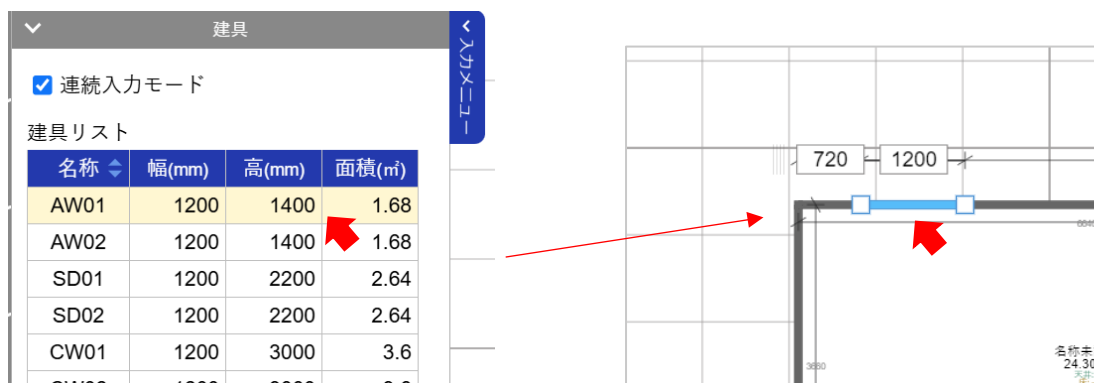
カテゴリメニューより「建具」を開きます。



15.2 建具を設定する

室/部材の建具に設定した情報は建具(*1)の建具リストに表示されます。

建具リスト(画像では窓(AW01))をクリックし、エリアの外線をクリックで配置します。



配置した窓(AW01)をクリックし、窓の個別情報を開きます。

個別情報

仕様

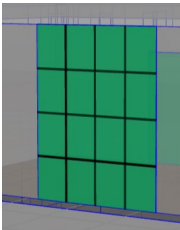
① AW01

② 設置高 (下枠) 1100 mm

③ ☐ ブラインド付き

各種設定情報入力後、適用します。

【設定情報】

①	仕様	建具の仕様。
②	設置高(下枠)	設置する高さ。建具の下枠が階高からどの高さにいるかを入力します。建具（CW 以外）が上の階高さを越えるような配置をした場合、アラートが表示されます。その場合は建具の高さや設置高を見直してください。 配置建具確認 設置した建具が複数の階にまたがって配置されています 閉じる
③	ブラインド付き	ブラインドがついているか。ブラインドの有無を表します。ブラインド付きのチェックをオンにすると、構造体記号の後に★マークが表示されます。 6589 SD04★ 2000x2600 3D ビューでは格子模様がつきます。 

*1 建具…窓、ドア、カーテンウォール(*2)のことを指します。

*2 カーテンウォール…建物自体の負荷を負担しない耐力壁（建物を支える役割を持つ壁）以外の内部と外部の空間をカーテンのように仕切る壁のことを指します。

建具リストの行を選択し、仕様情報を開きます。

各種詳細情報を設定して、「仕様を追加して適用」ボタンをクリックします。

153

【詳細情報】

①	名称	建具の名称。建具につけたい名称を入力します。
②	幅	建具の幅。建具の幅の大きさを数値入力します。（最小は100mm）
③	高さ	建具の高さ。建具の高さを数値入力します。
④	建具種類	建具の材質の種類。木製・樹脂製・金属木複合製・金属樹脂複合製・金属製から選択します。
⑤	ガラス率	建具のガラス率。建具のガラス率を%入力します。
⑥	ガラス寸法(W)	ガラスの幅。ガラスの幅を数値入力します。
⑦	ガラス寸法(H)	ガラスの高さ。ガラスの高さを数値入力します。
⑧	ガラス面積	ガラスの面積。ガラスの幅×ガラスの高さの計算値を表示します。また直接入力も可能です。その場合は、ガラス寸法(W)及びガラス寸法(H)の値は削除され、0で表示します。
⑨	ガラス記号	ガラスの記号。「記号」ボタンをクリックして、ガラス記号を選択します。また、「クリア」ボタンをクリックすると、設定したガラス記号を削除できます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑩	ガラスの諸元	⑨のガラス記号を選択すると、対象の建具に、遮断係数 SC、日射熱取得率、熱還流率 U のブラインドがない場合とブラインドがある場合の各値を表示します。また、各値を直接入力し変更した場合はガラス記号がクリアされます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑪	熱貫流率 (ガラス以外)	建具のガラス率を設定した部分以外の熱貫流率。熱貫流率を数値入力します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑫	面積	建具の面積。直接入力にチェックを入れると、面積を数値で直接入力できます。デフォルトは自動求積です。また、自動求積との差分が0～10%の範囲を超えた場合、リスト表示の対象が赤く表示されます。

×

建具情報

建具情報を設定して追加します。

名称

幅 mm

高さ mm

面積 m² ☐ 直接入力

設置高 mm

建具種類

ガラス率(%) %

ガラス寸法 (W) mm

ガラス寸法 (H) mm

ガラス面積 m²

ガラス記号

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
遮蔽係数 SC		
日射熱取得率		
熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

熱貫流率(ガラス以外) [W/(m²・K)]

「仕様を追加して適用」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。各種情報を入力して、「OK」ボタンをクリックして、追加します。

※ 各編集項目の内容については、『[建具設定を追加する](#)』をご参照ください。

15.4 建具リストから仕様情報を更新する

建具リストの行を選択し、仕様情報を開きます。

建具

☒ 連続入力モード

建具リスト

名称	幅(mm)	高(mm)	面積(m ²)
AW01	1200	1400	1.68
SD01	1200	2200	2.64
CW01	1200	3000	3.6

仕様情報

名称
AW01

幅
1200 mm

高さ
1400 mm

建具種類
▼

ガラス率(%)
100 %

ガラス寸法(W × H)
mm × mm

ガラス面積
1.68 m²

ガラス記号
記号 クリア

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
遮蔽係数 SC		
日射熱取得率		
熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

熱貫流率(ガラス以外)
0 [W/(m²・K)]

面積
1.68 m² ☐ 直接入力
(自動求積: 1.68m²)

※自動求積値との差が0～10%の範囲を超える場合は、リストの表示が赤くなります。

仕様を追加して適用

仕様を更新して適用

建具種類

▼

木製
樹脂製
金属木複合製
金属樹脂複合製
金属製

詳細情報を設定し、「仕様を更新して適用」ボタンをクリックします。

※ 選択しているモデル（建物モデル、空調モデル、省エネモデル）によって入力可能項目が変わります。制限がある場合は詳細情報にて確認できます。

【詳細情報】

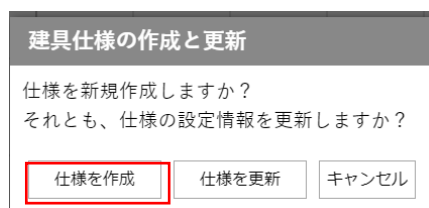
①	名称	建具の名称。建具につけたい名称を入力します。
②	幅	建具の幅。建具の幅の大きさを数値入力します。(最小は100mm)
③	高さ	建具の高さ。建具の高さを数値入力します。
④	建具種類	建具の材質の種類。木製・樹脂製・金属木複合製・金属樹脂複合製・金属製から選択します。
⑤	ガラス率	建具のガラス率。建具のガラス率を%入力します。
⑥	ガラス寸法(W)	ガラスの幅。ガラスの幅を数値入力します。
⑦	ガラス寸法(H)	ガラスの高さ。ガラスの高さを数値入力します。
⑧		ガラス面積
⑨	ガラス記号	ガラスの記号。「記号」ボタンをクリックして、ガラス記号を選択します。また、「クリア」ボタンをクリックすると、設定したガラス記号を削除できます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑩	ガラスの諸元	⑨のガラス記号を選択すると、対象の建具に、遮断係数 SC、日射熱取得率、熱還流率 U のブラインドがない場合とブラインドがある場合の各値を表示します。また、各値を直接入力し変更した場合はガラス記号がクリアされます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑪	熱貫流率（ガラス以外）	建具のガラス率を設定した部分以外の熱貫流率。熱貫流率を数値入力します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑫	面積	建具の面積。直接入力にチェックを入れると、面積を数値で直接入力できます。デフォルトは自動求積です。また、自動求積との差分が 0～10%の範囲を超えた場合、リスト表示の対象が赤く表示されます。

15.5 建具の仕様を作成する

建具を選択し、選択済みの状態にします。



建具の右、もしくは左の水色の四角をクリックしながら移動させ、幅を調節します。幅の最小値は 100mm です。



幅を調節すると、「建具仕様の作成と更新」ダイアログが表示されます。「仕様を作成」ボタンをクリックします。

建具情報

建具情報を設定して追加します。

① 名称: AW01

② 幅: 1200 mm

③ 高さ: 1400 mm

④ 面積: 1.68 m² ☐ 直接入力

⑤ 設置高: 1100 mm

⑥ 建具種類: 木製

⑦ ガラス率(%): 100 %

⑧ ガラス寸法 (W): mm

⑨ ガラス寸法 (H): mm

⑩ ガラス面積: 1.68 m²

⑪ ガラス記号: 選択... クリア

ガラスの諸元

	ブラインドなし	ブラインドあり
⑩ 遮蔽係数 SC		
⑪ 日射熱取得率		
⑫ 熱貫流率 U [W/(m ² ・K)]		

⑬ 熱貫流率(ガラス以外) 0 [W/(m²・K)]

OK キャンセル

各種情報を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	名称	建具の名称。建具につけたい名称を入力します。
②	幅	建具の幅。建具の幅の大きさを数値入力します。(最小は100mm)
③	高さ	建具の高さ。建具の高さを数値入力します。
④	面積	直接入力にチェックを入れると、面積の数値を直接入力できます。
⑤	設置高	建具の設置高。建具の設置の高さを数値入力します。
⑥	建具種類	建具の材質の種類。建具の種類を選択します。
⑦	ガラス率(%)	建具のガラス率。建具のガラス率を%入力します。
⑧	ガラス寸法(W)	ガラスの幅。ガラスの幅を数値入力します。
⑨	ガラス寸法(H)	ガラスの高さ。ガラスの高さを数値入力します。
⑩	ガラス面積	ガラスの面積。ガラスの幅×ガラスの高さの計算値を表示します。また直接入力も可能です。その場合は、ガラス寸法(W)及びガラス寸法(H)の値は削除され、0で表示します。
⑪	ガラス記号	ガラスの記号。「選択」ボタンをクリックして、ガラス記号を選択します。また、「クリア」ボタンをクリックすると、設定したガラス記号を削除できます。(下記、「ガラス記号」に詳細を記載)

⑫	ガラスの諸元	⑨のガラス記号を選択すると、対象の建具に、遮断係数 SC、日射熱取得率、熱還流率 U のブラインドがない場合とブラインドがある場合の各値を表示します。また、各値を直接入力し変更した場合はガラス記号がクリアされます。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。
⑬	熱貫流率 (ガラス以外)	建具のガラス率を設定した部分以外の熱貫流率。熱貫流率を数値入力します。空調モデル、省エネモデルのみ入力可能です。

15.5.1.1 ガラス記号

ガラス記号の「選択」ボタンをクリックし、ガラス記号選択ダイアログを開きます。

ガラス記号選択

絞り込み条件 参照元: [指定なし] ガラス構成: [指定なし] LowE膜: [指定なし]

建具種別: [指定なし] 中空層: [指定なし] 型: [指定なし] リセット

シンボル	名前	建具	SC (ブラインドなし)	SC (ブラインドあり)	K [W/(㎡・K)] (ガラス)	K [W/(㎡・K)] (ガラス+ブラインド)	備考
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)		0.61	0.47	1.4	1.3	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	木製	0.44	0.34	1.95	1.82	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	樹脂製	0.44	0.34	1.95	1.82	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属複合製	0.49	0.38	2.27	2.09	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属樹脂複合製	0.49	0.38	2.27	2.09	省エネ基準H28
3WgG06	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層6mm)	金属製	0.49	0.38	2.64	2.41	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)		0.61	0.47	1.3	1.2	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	木製	0.44	0.34	1.89	1.76	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	樹脂製	0.44	0.34	1.89	1.76	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属複合製	0.49	0.38	2.19	2.02	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属樹脂複合製	0.49	0.38	2.19	2.02	省エネ基準H28
3WgG07	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層7mm)	金属製	0.49	0.38	2.56	2.33	省エネ基準H28
3WgG08	三層ガラス (Low-E 2枚、断熱ガス、日射取得型、空気層8mm)		0.61	0.47	1.2	1.1	省エネ基準H28

OK キャンセル

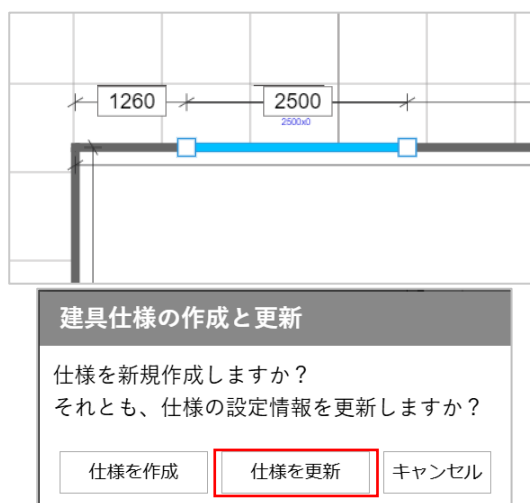
必要に応じて画面上部の絞り込み条件検索を使用します。ガラス記号テーブルの行を選択して、「OK」ボタンをクリックします。建具種類が設定されている場合は、ガラス記号と建具種類の両方が設定されます。

15.6 建具の仕様を変更する

建具を選択し、選択済みの状態にします。



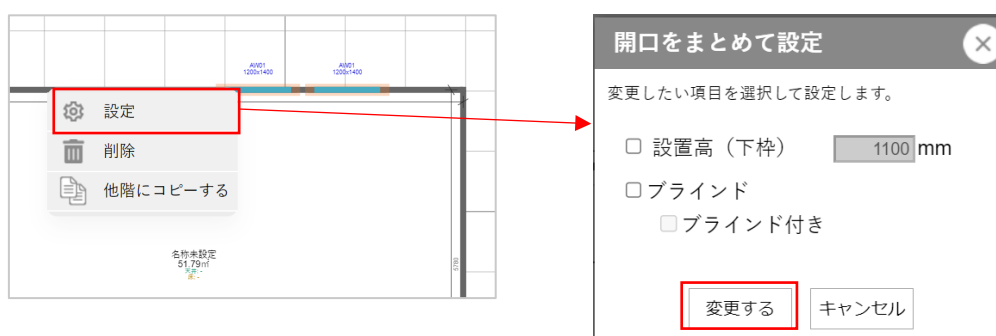
建具の右、もしくは左の水色の四角を変更したい長さまでドラッグします。幅の最小値は 100mm です。



ドラッグ完了後、建具仕様の作成と更新ダイアログが表示されます。「仕様を更新」ボタンをクリックし、仕様を更新します。

15.7 開口をまとめて設定する

建具を選択し、右クリックを押してメニューを開きます。「設定」ボタンをクリックし、開口をまとめて設定ダイアログを表示します。変更したい項目にチェックを入れて、設置高（下枠）、ブラインド付きかどうかを設定します。「変更する」ボタンをクリックし、まとめて設定します。なお、選択した開口が1つの場合は、編集可能なすべてのチェックボックスにチェックが入った状態で表示されます。



- ※ まとめて設定できるのは、建具種別が同じものに限りです。
- ※ 開口を一つしか選択していない場合は、設置高（下枠）、ブラインドチェックボックスが選択された状態で表示されます。
- ※ 開口の選択が1つの場合は、ダイアログ・タイトルは「開口を設定」です。

15.8 建具を他階にコピーする

建具をクリックし、右クリックを押して、メニューを開きます。「他階にコピーする」ボタンをクリックし、他階にコピーするダイアログを表示します。コピーする階をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



15.9 建具を削除する

建具をクリックし、右クリックを押して、メニューを開きます。「削除」ボタンをクリックし、建具を削除します。



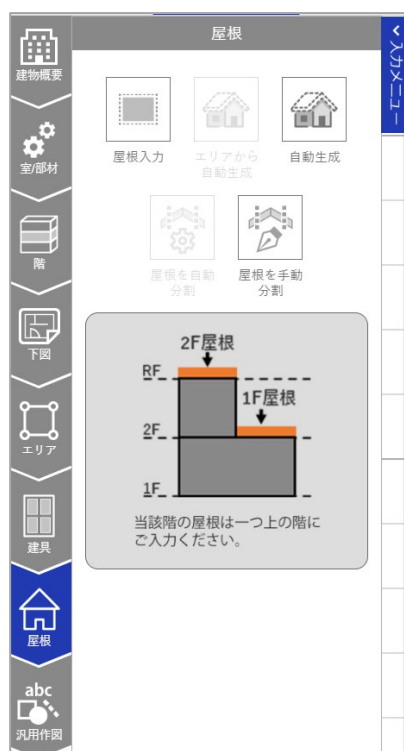
Delete キー押下でも削除ができます。

16. 屋根

屋根の入力や、入力した屋根に各種情報を設定します。

16.1 屋根を開く

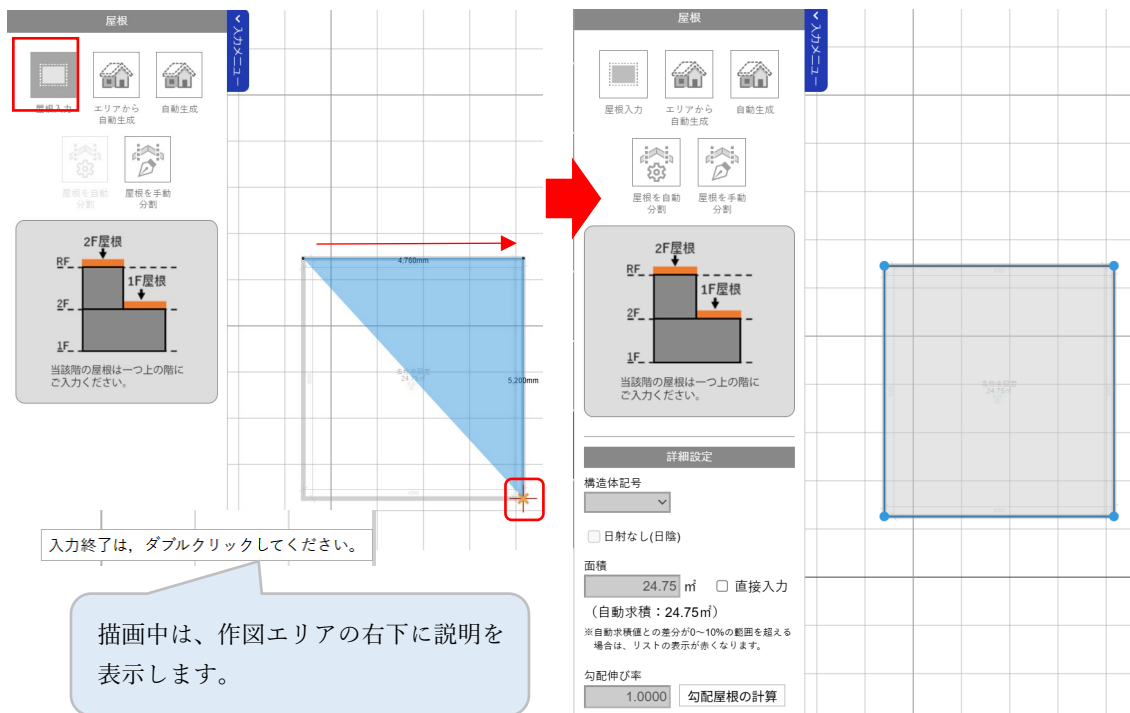
カテゴリメニューより「屋根」を開きます。 屋根を作成する際は屋根を作成したいエリアの一つ上の階に移動してください。



16.2 屋根を入力する

「屋根入力」ボタンをクリックし、屋根の囲みの頂点を入力します。構造体記号(室/部材 - 構造体で追加した屋根)を選択し、面積の数値を直接入力する場合、面積の直接入力にチェックを入れ、数値を入力して適用します。

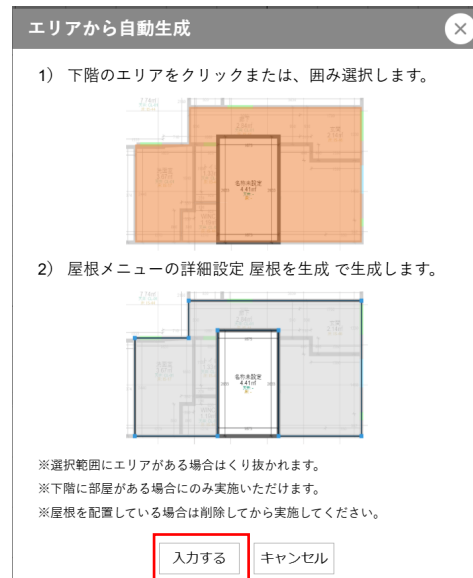
入力終了時はダブルクリックしてください。また、入力中に1点戻りたい場合は「ESC」キーまたは右クリックを押下します。



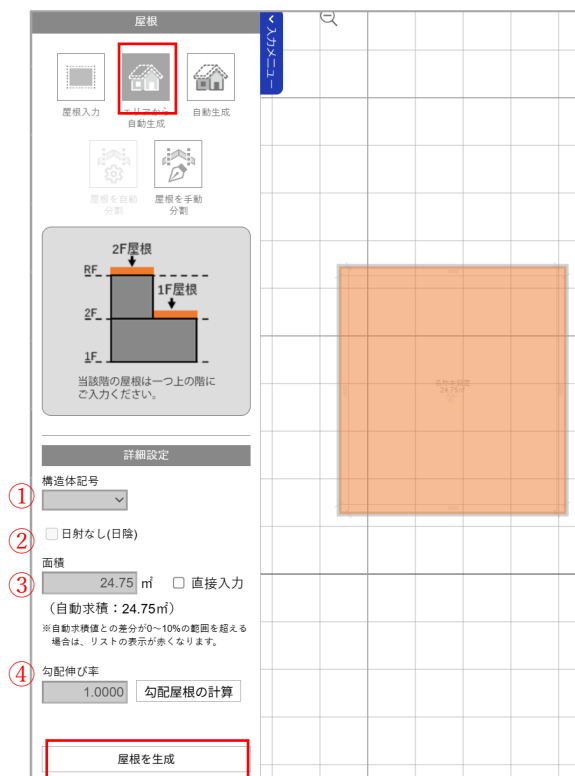
サブヘッダーの参照階を見下階に設定して描画すると、見下階のエリアにスナップしながら描画することができます。

16.3 エリアから自動生成

「エリアから自動生成」ボタンをクリック後、「入力する」ボタンをクリックします。



屋根を作成したいエリアをクリック、または囲み選択します。



詳細設定を入力し「屋根を作成」ボタンをクリックし適用します。

【詳細情報】

①	構造体記号	室/部材の構造体で設定した屋根の構造体記号を設定します。
②	日射無し（日陰）	日射なし（日陰）の場合チェックボックスにチェックを入れます。
③	面積	屋根の面積。デフォルトは自動求積です。直接入力にチェックを入れると、面積の数値を直接入力できます。2D 上の形状、3D 上には一切反映されません。直接入力を行うと、自動求積との差分が 0～10%の範囲を超えた場合、下記の通りリスト表示の対象項目を赤く表示します。 
④	勾配伸び率	屋根の勾配伸び率。デフォルトは勾配なし 1.0000 です。勾配伸び率は、勾配屋根の計算ボタンより、各種計算方法を使い算出します。

※ 直接入力した場合の【分割結果への影響】について

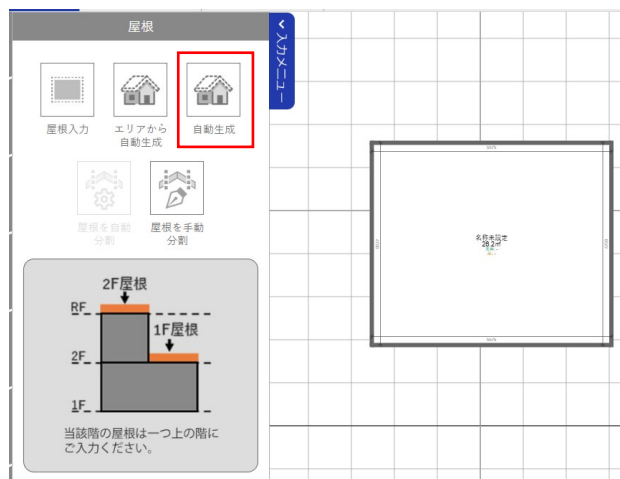
【分割結果への影響】

- 屋根の面積は、部屋を分割した後の面積比で、入力面積を比例配分して反映します。
- 2D 上の形状、3D 上には一切反映されません。

16.4 自動生成

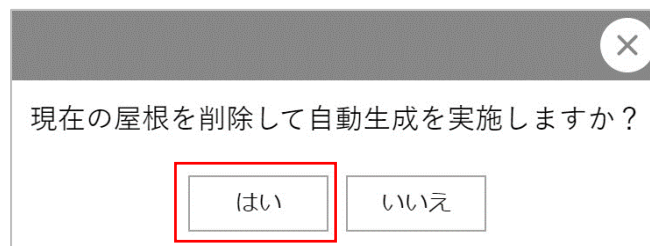
建物全体において屋根が出来るはずの領域に自動生成をします。

「自動生成」ボタンをクリックします。

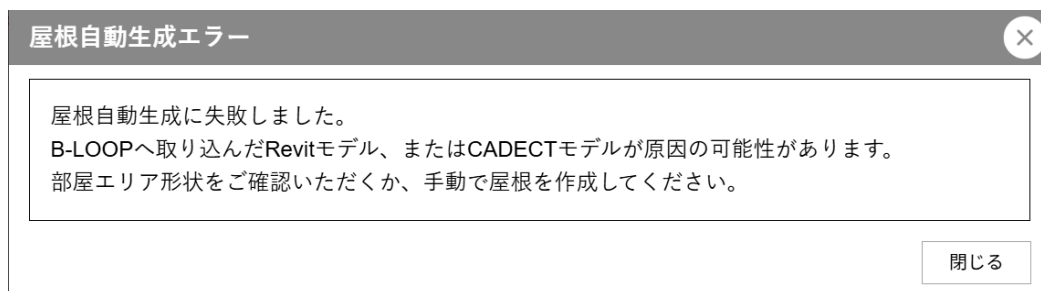


「自動生成」ボタンをクリックすると、屋根が自動で生成されます。

一度屋根を作成した後、「自動生成」を再度クリックすると確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログで「はい」をクリックすると、一度作成された屋根は削除され、再度、自動生成を実施します。



※ 屋根の自動生成に失敗した場合、以下のエラーメッセージが表示されます。
部屋エリア形状をご確認のうえ再試行するか、手動で作成してください。



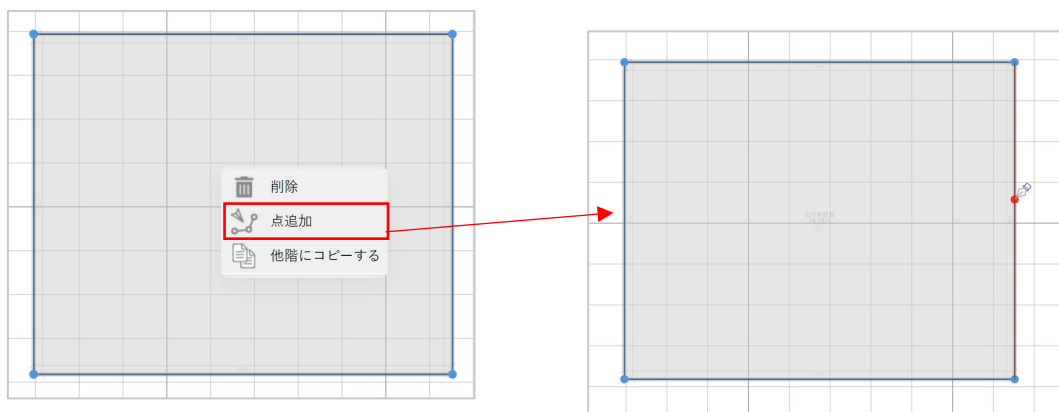
16.5 屋根を削除する

削除したい屋根を選択し、右クリックします。メニューから「削除」ボタンをクリックして削除します。



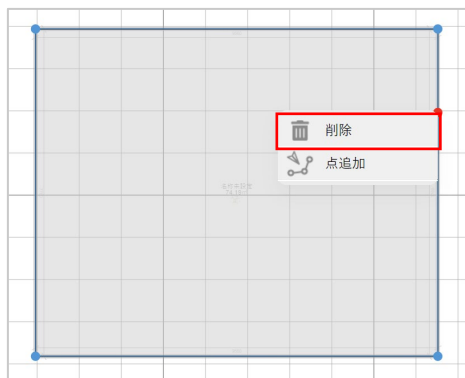
16.6 屋根に点を追加する

屋根を選択し、右クリックを押します。メニューから「点追加」ボタンをクリックして、点を追加します。



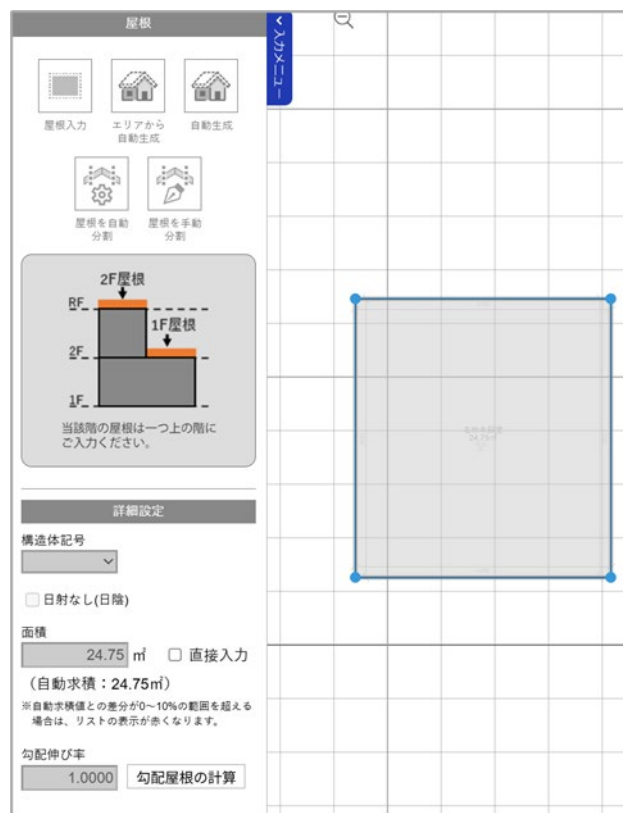
16.7 屋根の点を削除する

頂点を選択後、右クリックを押します。メニューから「削除」ボタンをクリックすると、削除することができます。



16.8 屋根を編集する

屋根を記載した階で作図した屋根をクリックすると、屋根の詳細設定を表示します。変更したい箇所を編集し、変更内容を適用します。

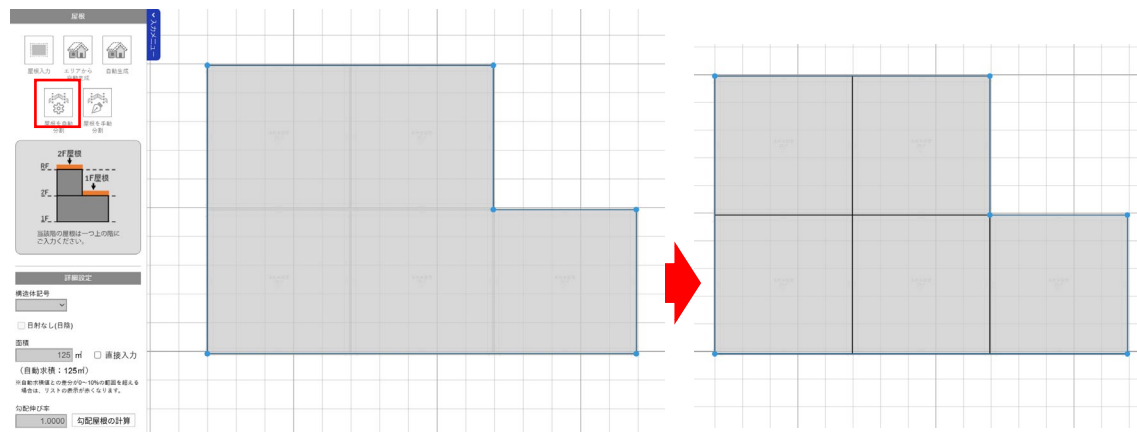


※ 各編集項目の詳細については、『』をご参照ください。

16.9 屋根を自動分割

下階のエリアに併せて屋根を自動分割します。

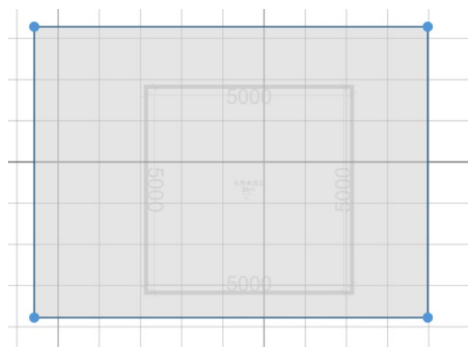
屋根を選択した後、「屋根を自動分割」ボタンをクリックします。下階のエリアに併せて屋根の自動分割を実施します。



正しく分割できない入力

エリアが屋根形状の内部に完全に収まっている場合、自動分割機能では正しく分割されず、元の屋根が残る可能性があります。

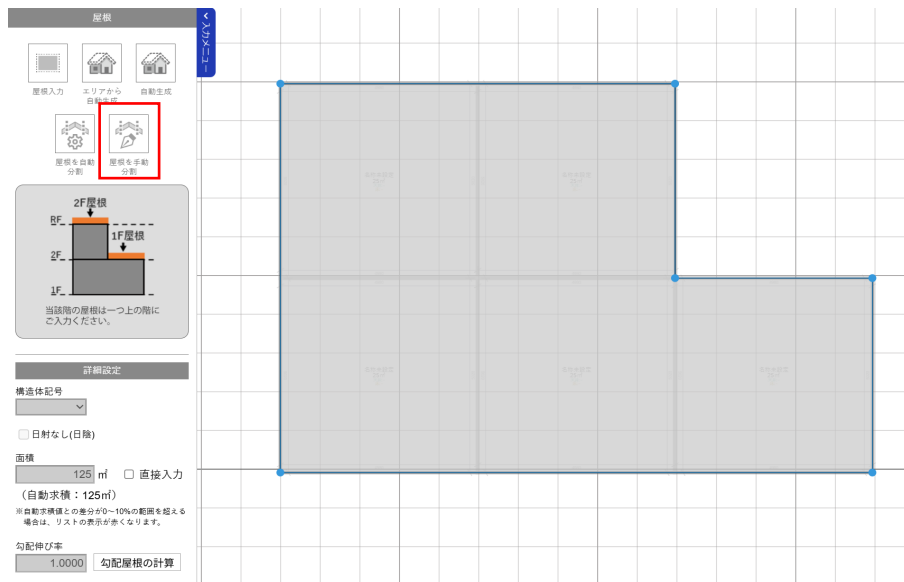
その際は、お手数ですが二重になった屋根を削除いただき、改めて手動分割機能をご利用くださいようお願いいたします。



16.10 屋根を手動分割

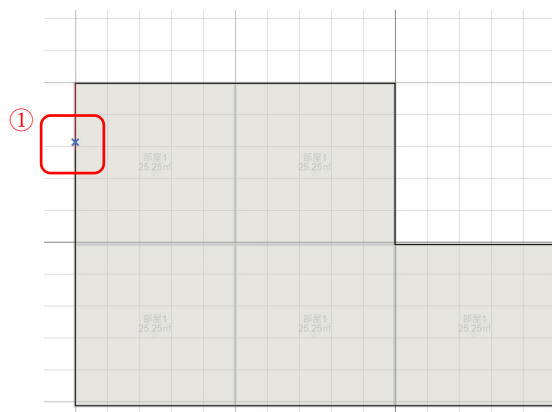
手動で屋根を分割します。

「屋根を手動分割」ボタンをクリックします。

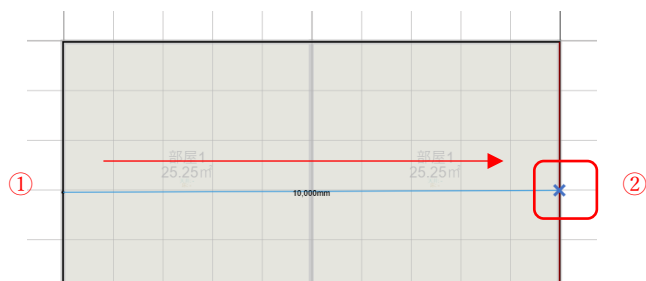


屋根を分割する線を描画する場合は、

- ① (1点目) 始点としたい屋根の境界線をクリックします。屋根の境界線にマウスポインタがスナップした場合は、×印表示します。



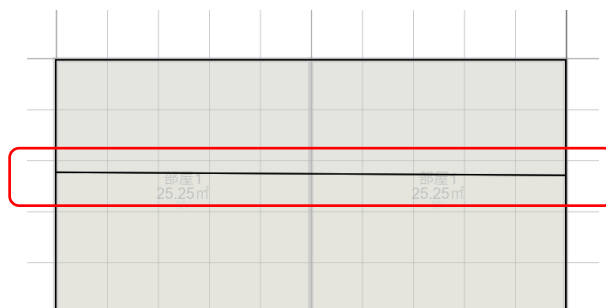
- ② (2点目) 始点から線を伸ばし、終点としたい屋根の境界線をクリックします。屋根の境界線にマウスポインタがスナップした場合は、×印表示します。途中で入力を終了したい場合はダブルクリックします。



始点、終点は屋根の境界線を指定するようにしてください。入力終了は、ダブルクリックしてください。

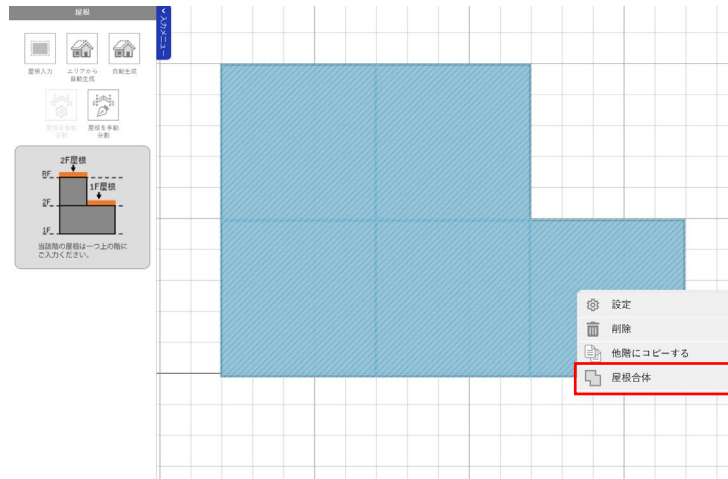
描画中は、作図エリアの右下に説明を表示します。

このように、屋根が分割されます。

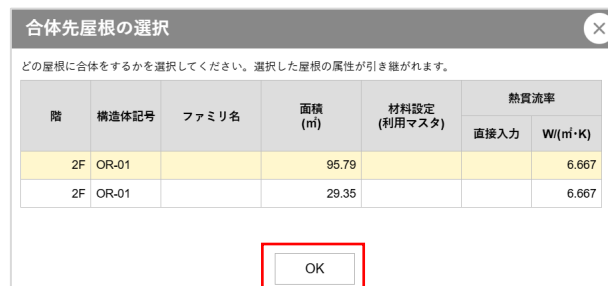


16.11 屋根合体

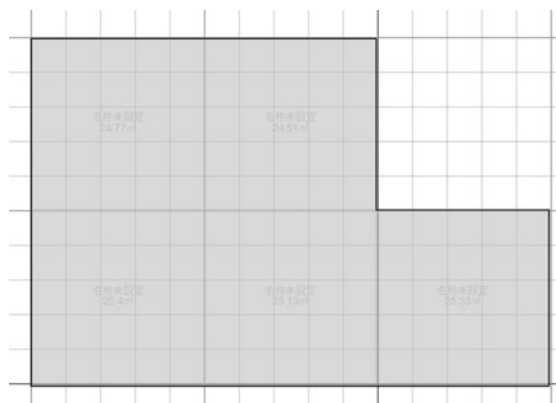
複数の屋根を選択し右クリックにてメニューを開き、「屋根合体」ボタンをクリックします。



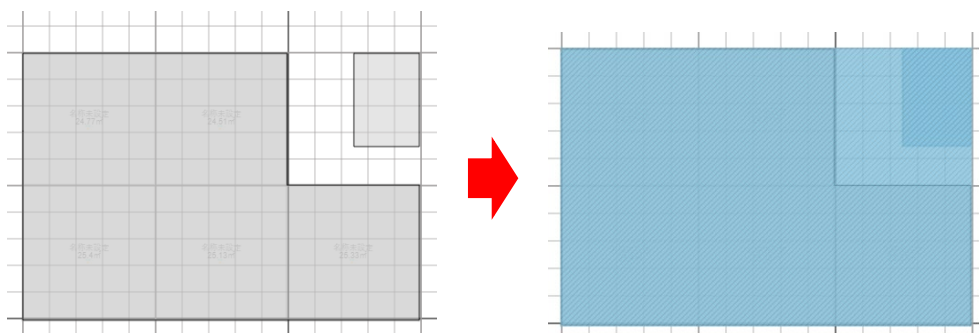
「屋根合体」ボタンをクリックすると、合体先屋根の選択ダイアログを表示します。リストから合体したい屋根を選択し、「OK」ボタンをクリックして屋根を合体します。



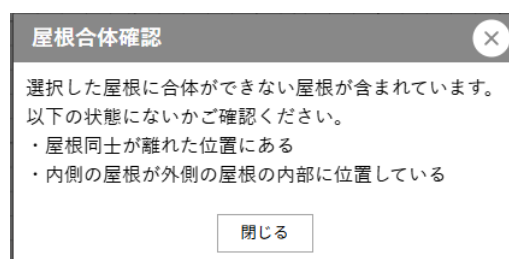
リスト選択した屋根の詳細情報を引き継いで屋根を合体します。



以下のように離れた屋根を複数選択した場合は、屋根は合体できません。

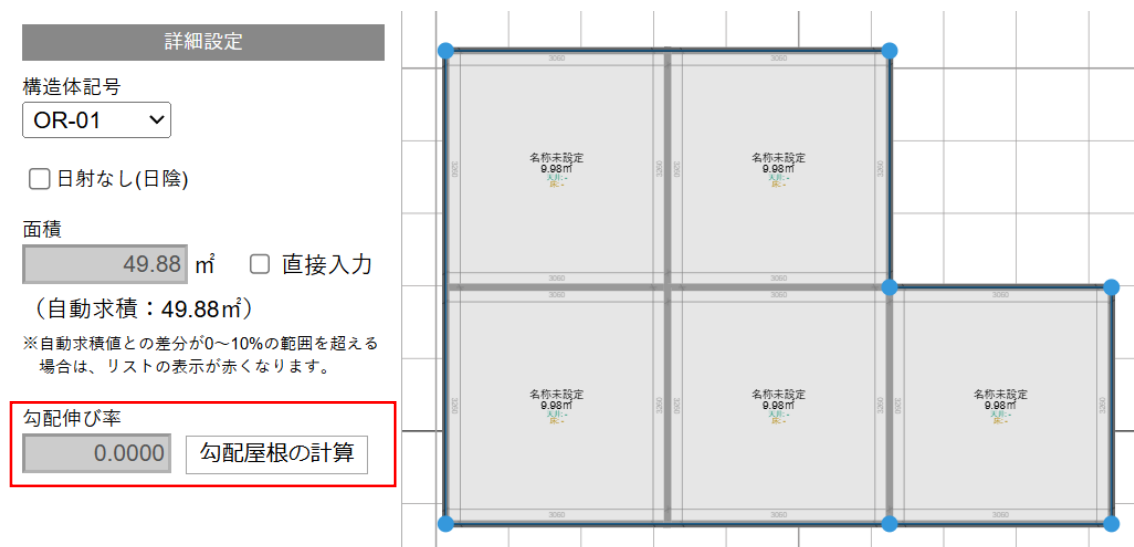


屋根合体できなかった場合は、下記のアラートを表示します。



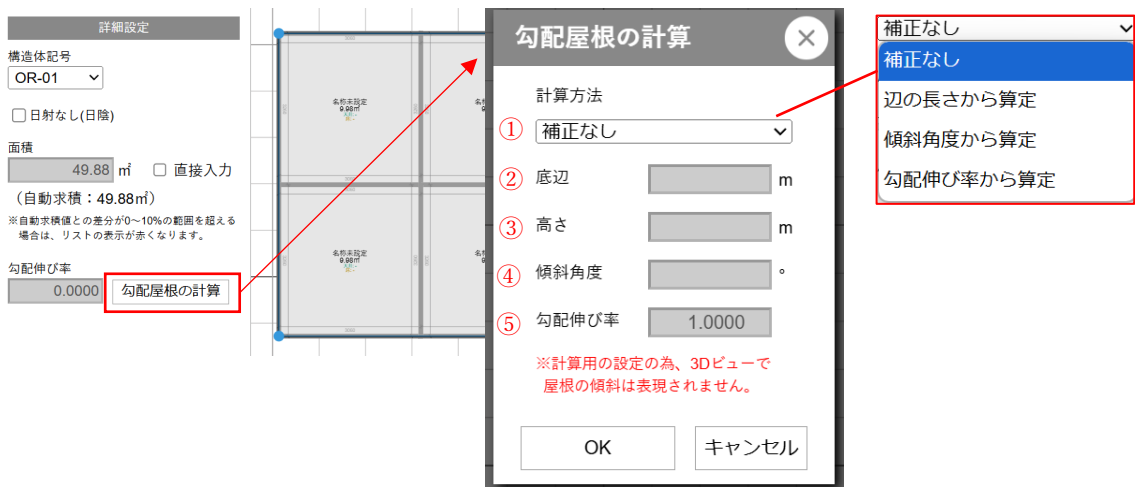
16.12 勾配屋根の計算

屋根に勾配を設定します。面積計算用の機能となりますので、3D への表現はありません。



16.12.1 勾配屋根の計算を入力する

屋根を選択し「勾配屋根の計算」ボタンをクリックします。



各種設定情報を選択及び入力後、「OK」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	計算方法	計算方法を選択します。補正なし、辺の長さから算定、傾斜角度から算定、勾配伸び率から算定から選択します。
②	底辺	底辺を入力します。
③	高さ	高さを入力します。
④	傾斜角度	傾斜角度を入力します。
⑤	勾配伸び率	勾配伸び率を入力します。

①計算方法	入力項目	屋根面積
辺の長さから指定	②底辺 ③高さ	各入力数値に沿って面積を自動計算して屋根面積を表示します。その際、屋根の面積の直接入力チェックボックスにチェックが入った状態で表示します。 (面積＝自動計算面積＊勾配伸び率)
傾斜角度から算定	④傾斜角度	
勾配伸び率から算定	⑤勾配伸び率	

例) 底辺 5m 高さ 8mにて入力した場合

詳細設定

構造体記号
OR-01

☐ 日射なし(日陰)

面積

49.88 m² ☐ 直接入力

(自動求積: 49.88m²)

※自動求積値との差が0~10%の範囲を超える場合は、リストの表示が赤くなります。

勾配伸び率

0.0000

勾配屋根の計算

計算方法

辺の長さから算定

底辺

5.000 m

高さ

8.000 m

傾斜角度

°

勾配伸び率

1.8868

※計算用の設定の為、3Dビューで屋根の傾斜は表現されません。

OK

キャンセル

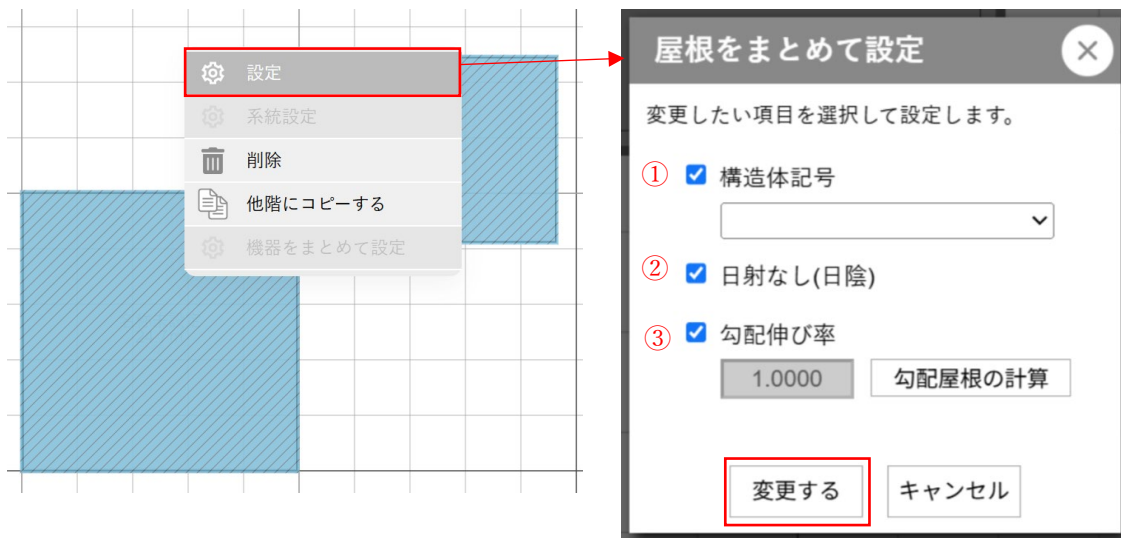
下部リストの屋根の項目へも勾配伸び率を表示します。

▼ リスト表示								
☐ 部屋 ☐ 建具 ☐ 壁 ☐ 床 ☐ 天井 ☒ 屋根 ☐ 諸元 ☐ 住戸 ☐ 熱橋								
配置 No	構造体記号	ファミリ名	構造体種別	勾配伸び率	面積 (m ²)	材料設定 (利用参照元)	熱貫流率	
							直接入力	W/(m ² ・K)
1	OR-01		屋根	1.8868	236.11			6.667

※ 勾配伸び率が 1.0 を超える場合は、リスト表示に赤文字で表示されます。

16.13 屋根をまとめて設定する

屋根をまとめて設定する機能です。屋根をクリック後、右クリックメニューを表示します。「設定」ボタンをクリックすると、屋根をまとめての設定ダイアログを表示します。変更したい箇所のチェックボックスにチェックを入れ、各種設定情報を入力して「変更する」ボタンをクリックします。なお、選択した屋根が1つの場合は、編集可能なすべてのチェックボックスにチェックが入った状態で表示されます。



各種設定情報を選択及び入力後、「変更する」ボタンをクリックします。

※屋根の選択が1つの場合は、ダイアログ・タイトルは「屋根を設定」です。

【設定情報】

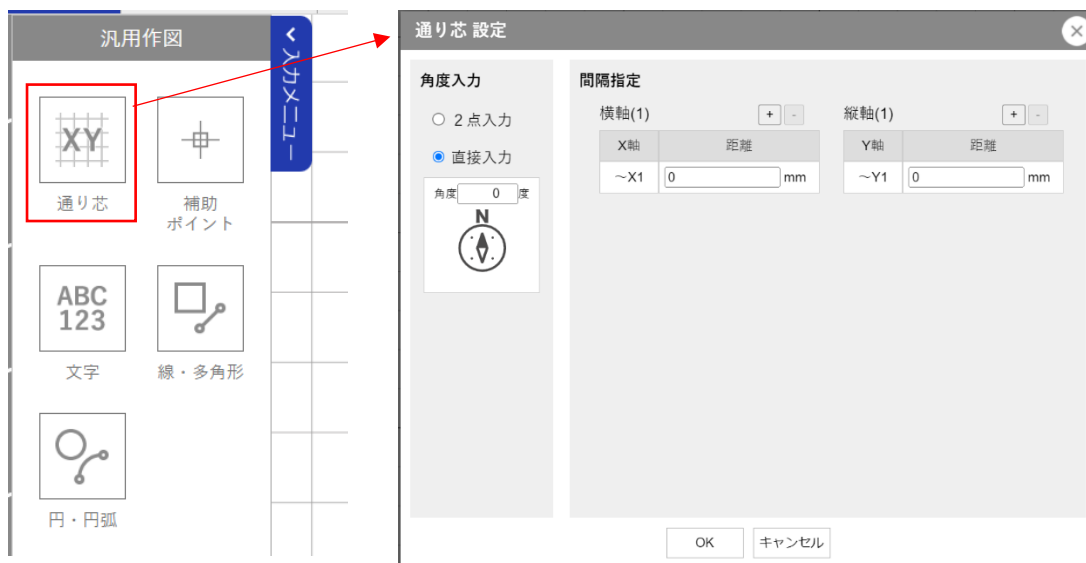
①	構造体記号	構造体記号を選択します。
②	温度差係数	温度差係数を選択します。
③	日射なし（日陰）	日射なし（日陰）の場合チェックボックスにチェックを入れます。
④	勾配伸び率	勾配伸び率を入力します。詳細については、『勾配屋根の計算を入力する』をご参照ください。

17. 汎用作図 – 通り芯

汎用作図設定から、編集領域に作図する通り芯の入力をします。

17.1 通り芯を開く

カテゴリメニューより、汎用作図を開き、「通り芯」ボタンをクリックし、通り芯設定ダイアログを開きます。



17.2 通り芯を直接入力する

通り芯 設定ダイアログの角度入力で「直接入力」を選択し、角度を入力します。

通り芯 設定

角度入力

☐ 2点入力

☒ 直接入力

角度 30 度

間隔指定

横軸(1) 縦軸(1)

X軸	距離	Y軸	距離
~X1	0 mm	~Y1	0 mm

OK キャンセル

間隔指定にて、通り芯の軸の距離を入力します。必要に応じて「+」ボタン、「-」ボタンをクリックして行の追加、削除を行い、「OK」ボタンをクリックします。

通り芯 設定

角度入力

☐ 2点入力

☒ 直接入力

角度 30 度

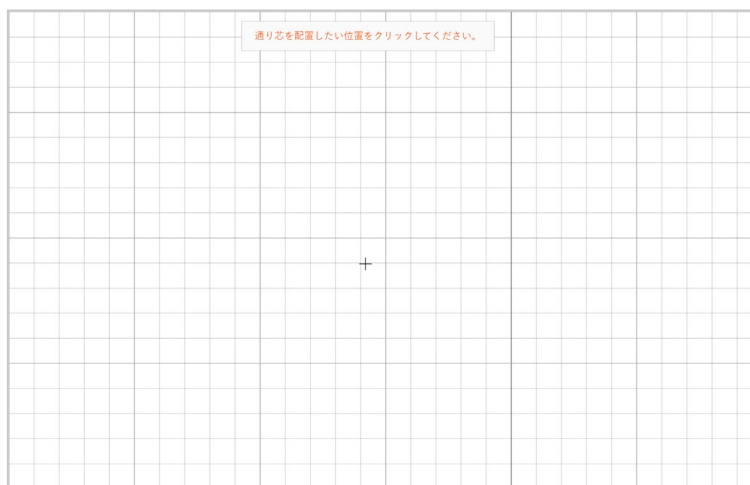
間隔指定

横軸(4) 縦軸(4)

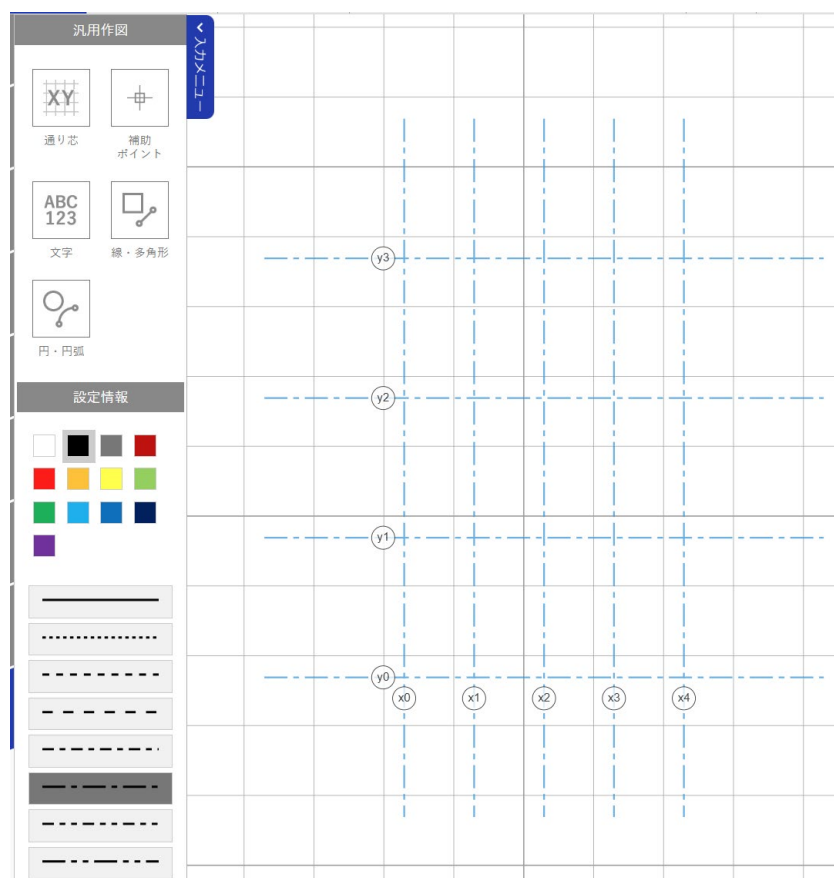
X軸	距離	Y軸	距離
~X1	1000 mm	~Y1	1000 mm
~X2	1000 mm	~Y2	1000 mm
~X3	1000 mm	~Y3	1000 mm
~X4	1000 mm	~Y4	1000 mm

OK キャンセル

通り芯を配置したい位置をクリックします。



左側の設定情報メニューから通り芯の色と線を選択し、適用します。(デフォルト設定を適用する場合はこの手順は不要です。)



17.3 通り芯を2点入力する

通り芯 設定ダイアログの角度入力で「2点入力」を選択し、角度を入力します。

通り芯 設定

角度入力

☒ 2点入力

☐ 直接入力

角度 0 度

間隔指定

横軸(1)

X軸	距離
~X1	0 mm

縦軸(1)

Y軸	距離
~Y1	0 mm

OK キャンセル

間隔指定にて、通り芯の軸の距離を入力します。必要に応じて「+」ボタン、「-」ボタンをクリックして行の追加、削除を行い、「OK」ボタンをクリックします。

通り芯 設定

角度入力

☒ 2点入力

☐ 直接入力

角度 0 度

間隔指定

横軸(4)

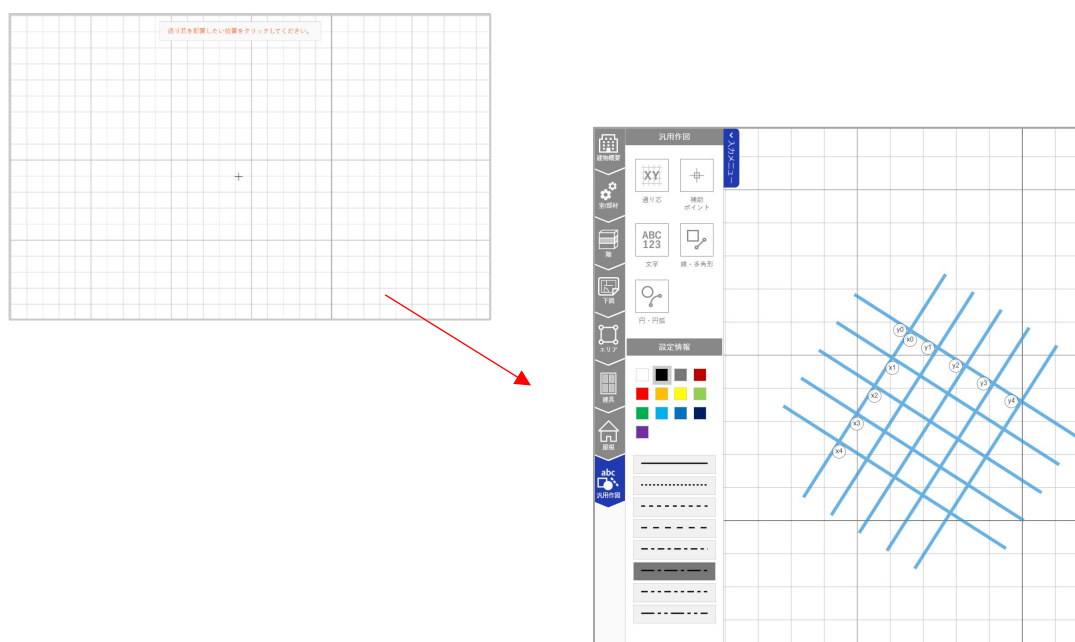
X軸	距離
~X1	1000 mm
~X2	1000 mm
~X3	1000 mm
~X4	1000 mm

縦軸(4)

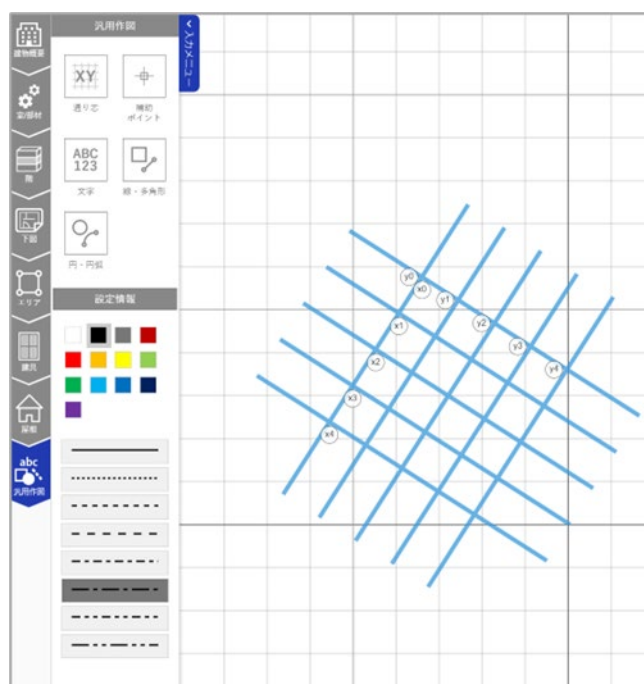
Y軸	距離
~Y1	1000 mm
~Y2	1000 mm
~Y3	1000 mm
~Y4	1000 mm

OK キャンセル

通り芯を配置したい位置をクリックし、入力したい角度で2点目もクリックします。

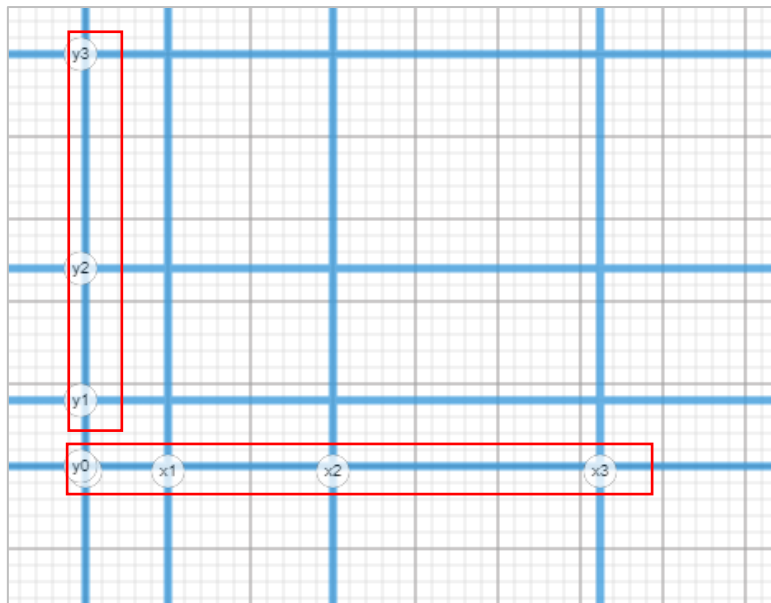


左側の設定情報メニューから通り芯の色と線を選択し、適用します。(デフォルト設定を適用する場合はこの手順は不要です。)



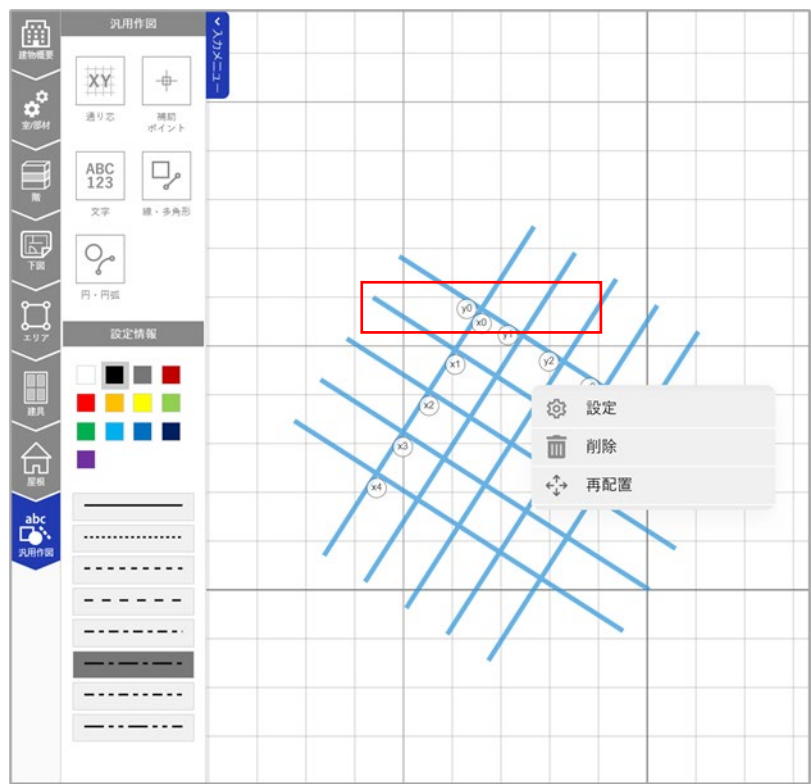
17.4 通り芯の選択

通り芯の軸(下記画像の x0,1,2,3,4、y0,1,2,3,4)をクリックすると選択状態となります。



17.5 通り芯の再設定

通り芯の軸(下記画像の x0,1,2,3,4、y0,1,2,3,4)をクリックします。右クリックを押してメニューを表示します。(通り芯の色、線の適用は下記画像の場合、左メニューの設定情報から再適用できます。)



「設定」ボタンをクリックすると、通り芯の軸の距離の再設定が行えます。

通り芯設定

角度入力

☐ 2点入力

☒ 直接入力

角度 度

間隔指定

横軸(4)

+ -

X軸	距離
~X1	5000 mm
~X2	1000 mm
~X3	1000 mm
~X4	1000 mm

縦軸(4)

+ -

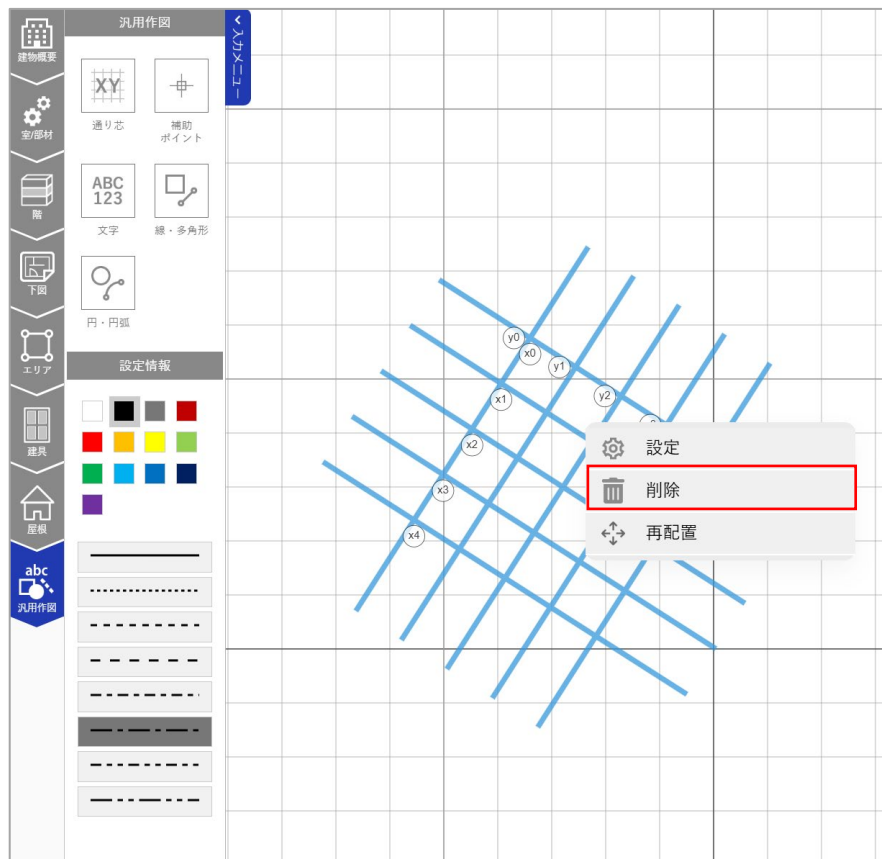
Y軸	距離
~Y1	1000 mm
~Y2	1000 mm
~Y3	5000 mm
~Y4	1000 mm

OK

キャンセル

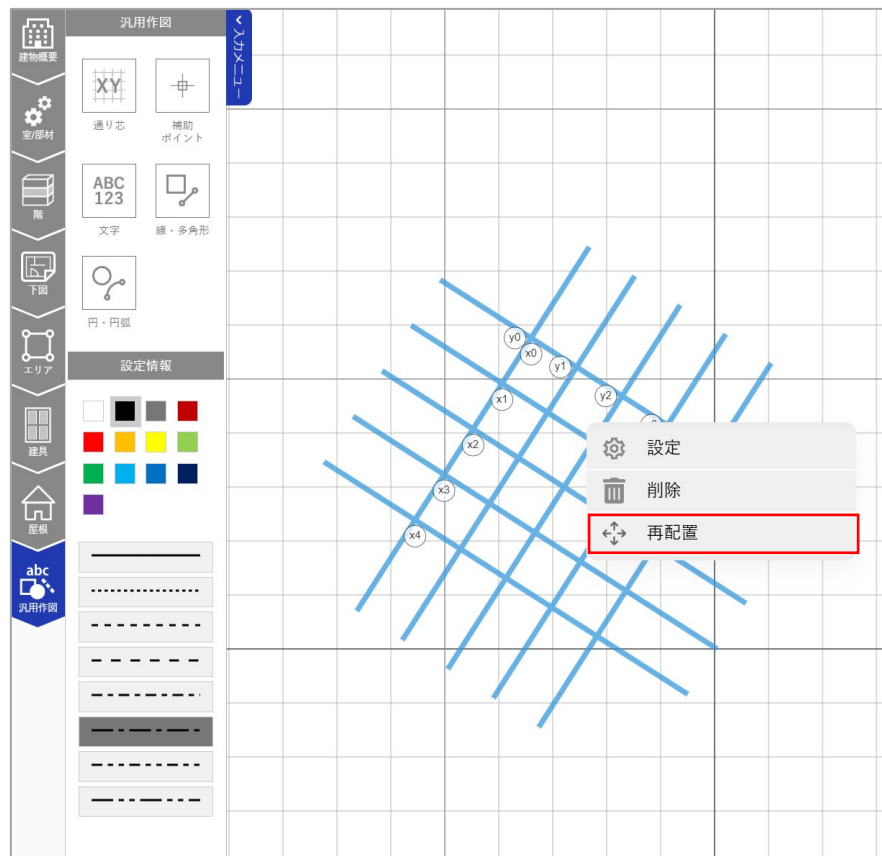
17.6 通り芯の削除

通り芯の軸(下記画像の場合の x0,1,2,3,4、y0,1,2,3,4)をクリックし、「削除」ボタンをクリックします。



17.7 通り芯の再配置

通り芯の軸(下記画像の場合の x0,1,2,3,4、y0,1,2,3,4)をクリックし、「再配置」ボタンをクリックします。



通り芯がマウスに吸着するため、再度配置したい位置をクリックします。

18. 汎用作図 – 補助ポイント

汎用作図設定から、編集領域に作図する点の入力をします。

18.1 補助ポイントを開く

カテゴリメニューより、汎用作図を開き、「補助ポイント」ボタンをクリックし、基準原点設定ダイアログを開きます。



18.2 補助ポイントを追加する

基準原点始点ダイアログの「閉じる」ボタンをクリックし、基準となる原点を編集領域内に指定します。



補助ポイント位置入力ダイアログに基準となる原点からの距離を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

補助ポイント位置入力

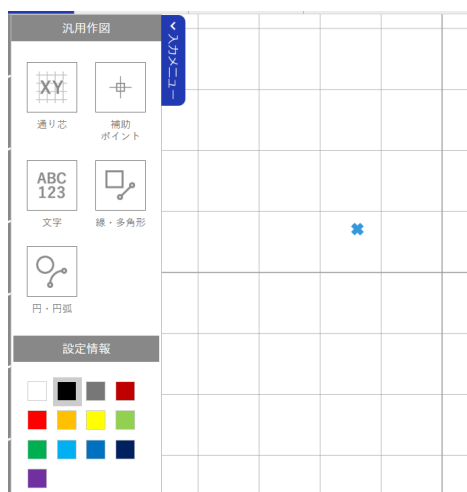
基準点からの距離 (X,Y) を入力してください。

X方向 (右) に 0 mm

Y方向 (上) に 0 mm

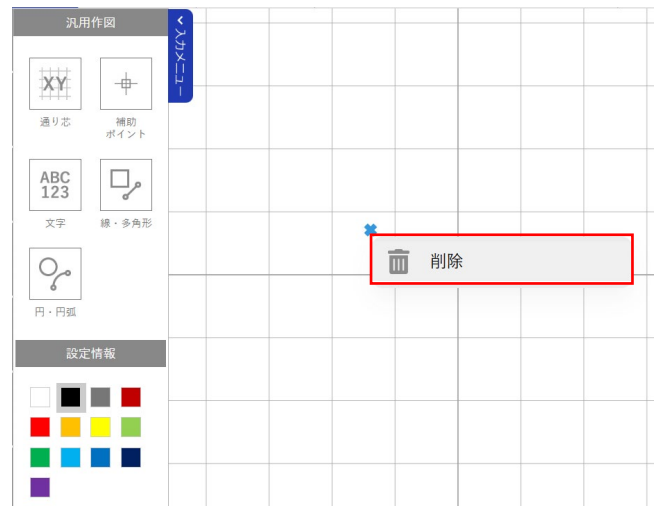
OK キャンセル

画面左の設定情報メニューから色を選択し、適用します。(デフォルト設定を適用する場合はこの手順は不要です。色の再設定は、点をクリックすることにより、後からでも色の再設定が可能です。)



18.3 補助ポイントを削除する

削除したい点をクリックし、右クリックを押してメニューを表示します。「削除」ボタンをクリックし、ポイントを削除します。削除対象を選択し Delete キーでも削除できます。

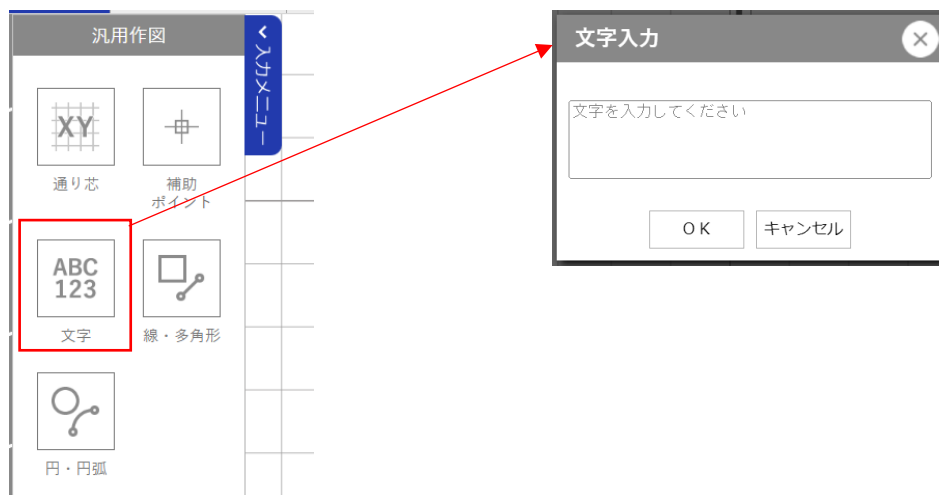


19. 汎用作図 – 文字

汎用作図設定から、編集領域に作図する文字の入力をします。

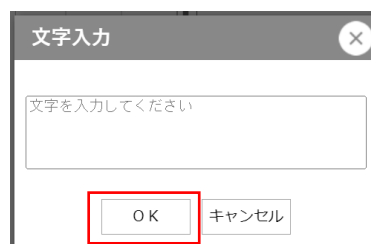
19.1 文字を開く

カテゴリメニューより、汎用作図を開き、「文字」ボタンをクリックし、文字入力ダイアログを開きます。



19.2 文字を追加する

文字入力ダイアログにテキストを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



編集領域内において配置したい位置をクリックして、文字を配置します。



左メニューの文字の各種設定情報を選択して、適用します。設定情報は文字を選択すると後からでも再設定できます。

【設定情報】

①	文字の色	文字の色を変更します。
②	文字の大きさ	文字の大きさを変更します。
③	太字	文字列を太字にします。
④	斜体	文字列を斜体にします。
⑤	下線	文字列の下に線を引きます。
⑥	取り消し線	文字列に取り消し線を引きます。
⑦	左揃え	文字を左に揃えます。
⑧	中央揃え	文字を中央に揃えます。
⑨	右揃え	文字を右に揃えます。

19.3 文字を削除する

削除したい文字をクリックして、「削除」ボタンをクリックします。Delete キーからも削除できます。

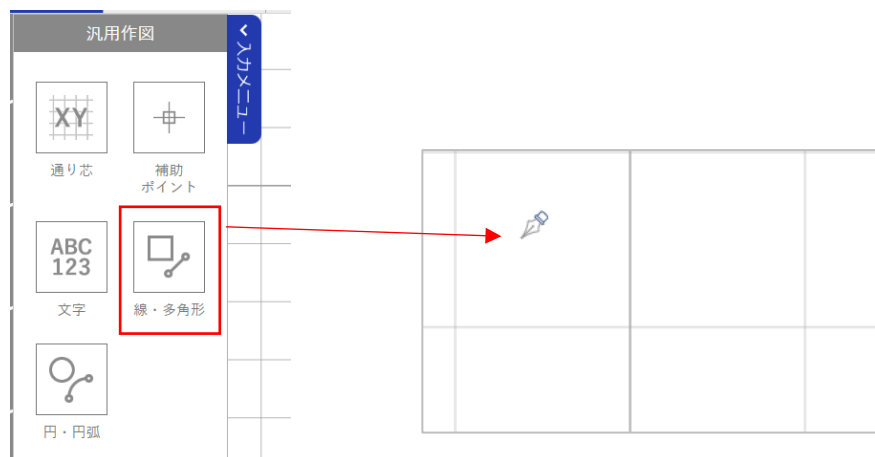


20. 汎用作図 – 線・多角形

汎用作図設定から、編集領域に作図する線・多角形の入力をします。

20.1 線・多角形を開く

カテゴリメニューより、汎用作図を開き、「線・多角形」ボタンをクリックすると、マウスの矢印がペンに切り替わります。



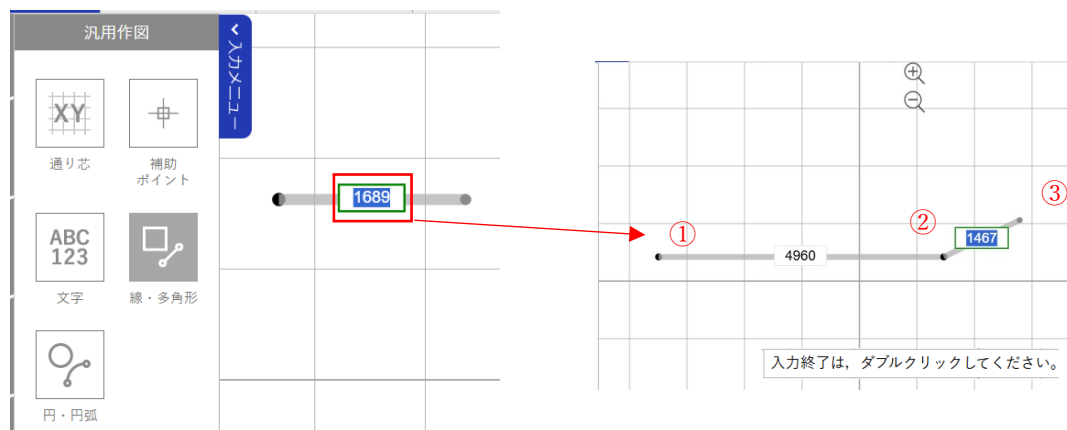
20.2 線・多角形を入力する

編集領域内をクリックして、線・多角形を作成します。

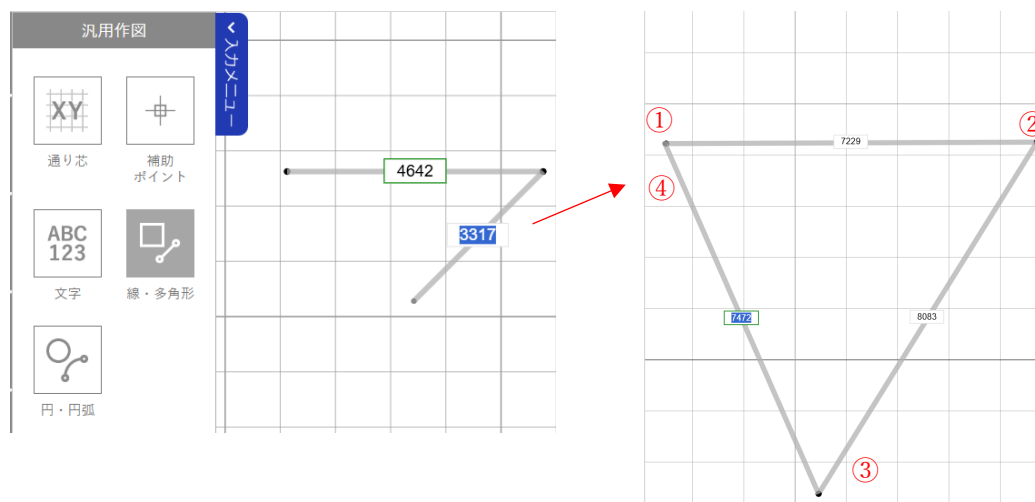
線を引く場合は、

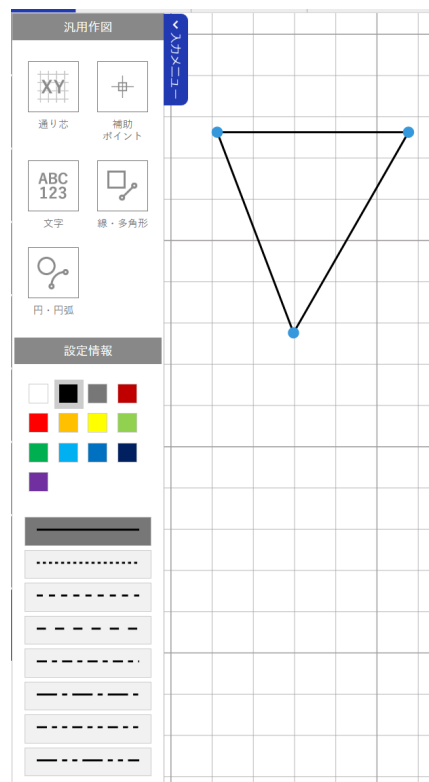
- ① (1点目) 作図画面の始点としたい箇所をクリックします。
 - ② (2点目) マウス移動して線を伸ばし、終点としたい箇所をクリックします。
 - ③ (3点目) 次の箇所をダブルクリックすると1点目から2点目までの線を描画します。
- もしくは、1点目から2点目の線の上にひきたい長さの数値表示をクリックし直接入力しEnterキー押下します。

[Shift]キーを押しながら入力を行うと、水平、直行、45°の補正がかかります。



多角形を作成する場合は、線を引く場合の①②③の動作を行い、①始点と④終点が一一致するところでクリック(もしくは、ダブルクリック)し描画します。

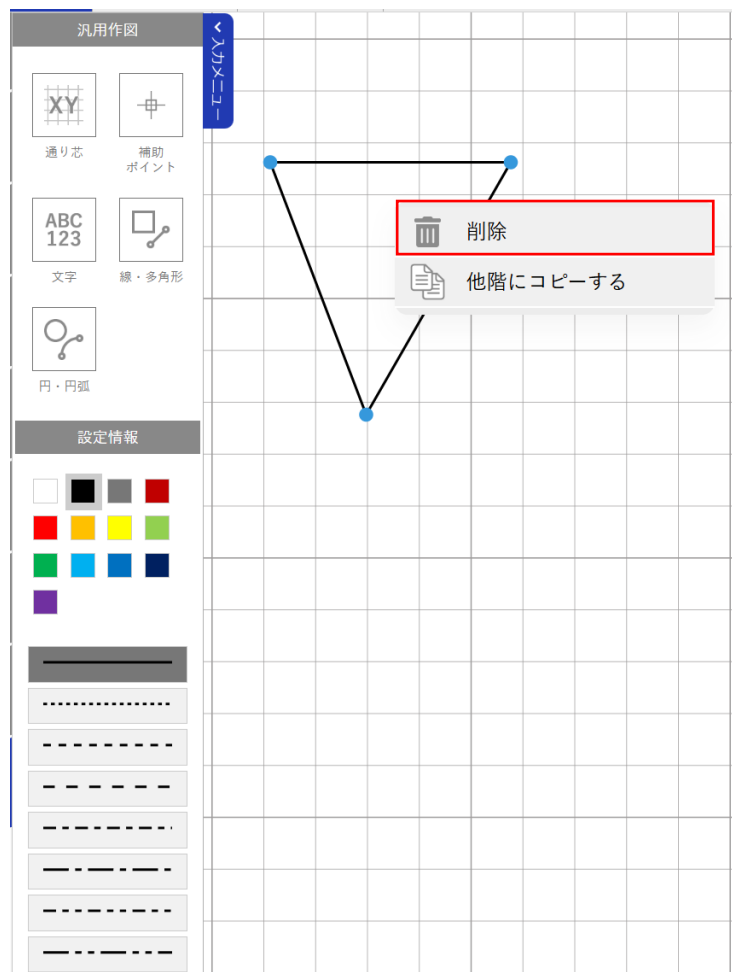




線もしくは矩形や多角形を描画が確定すると、左メニューに色、線種の選択メニューが表示されますので、選択して適用します。(デフォルト設定を適用する場合はこの手順は不要です。色、線種は線・多角形を選択することにより、後からでも再設定が可能です。)

20.3 線・多角形を削除する

削除したい線をクリックし、右クリックを押してメニューを表示します。「削除」ボタンをクリックし、線、多角形を削除します。Delete キーからも削除できます。

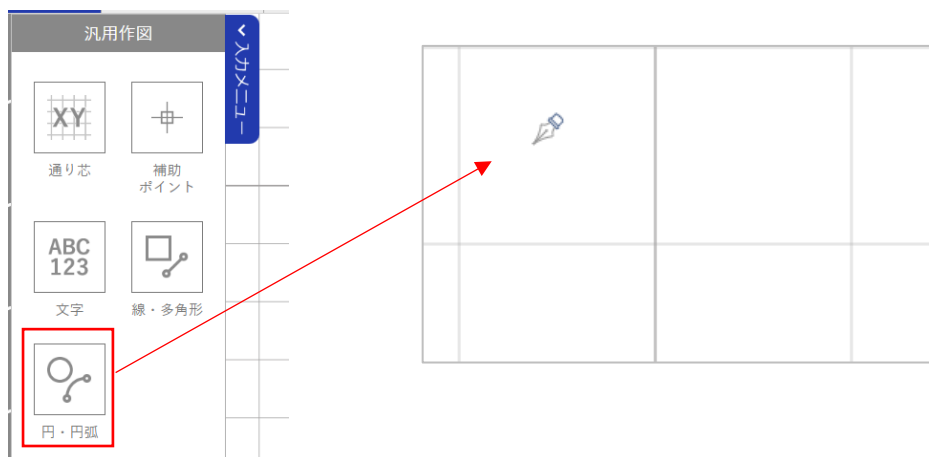


21. 汎用作図 – 円・円弧

汎用作図設定から、編集領域に作図する円・円弧の入力をします。

21.1 円・円弧を開く

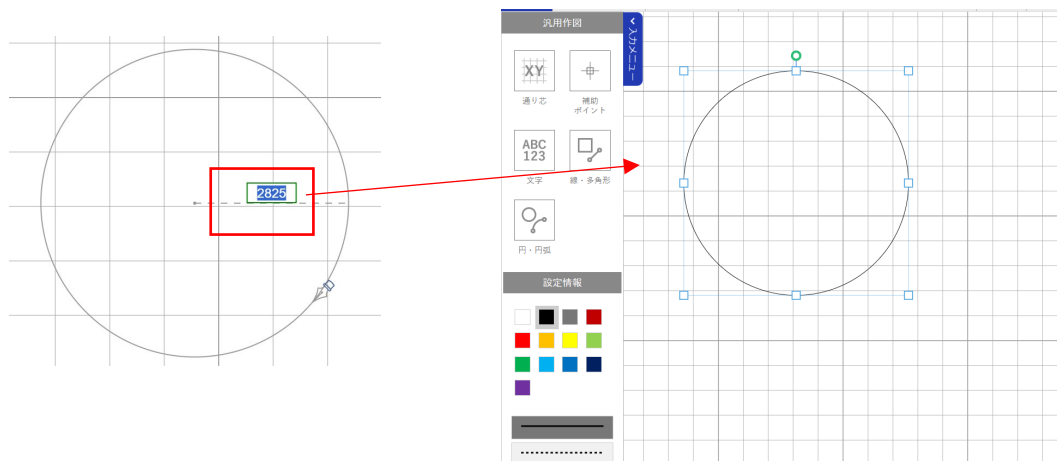
カテゴリメニューより、汎用作図を開き、「円・円弧」ボタンをクリックすると、マウスの矢印がペンに切り替わります。



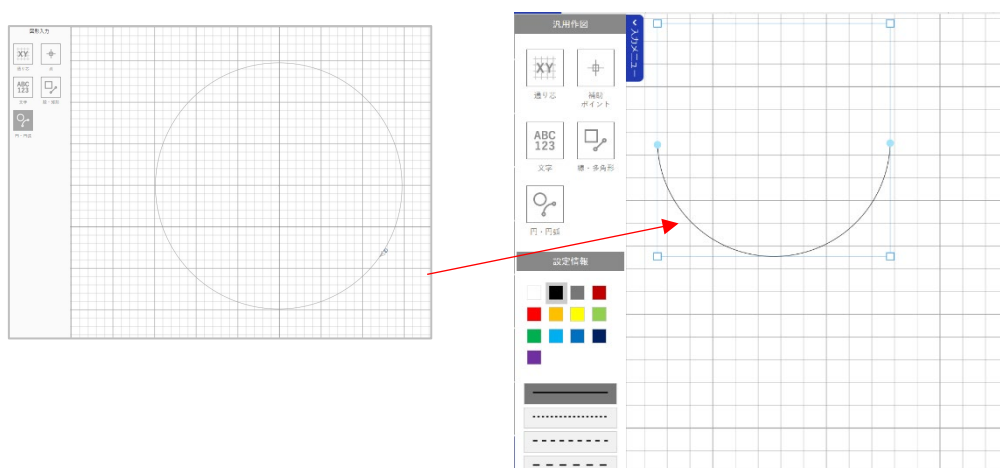
21.2 円・円弧を入力する

編集領域内をクリックして、円の作成をします。

円を作成する場合は、編集領域内をクリック、もしくは、半径の上の数値表示をクリックし描きたい半径の長さを直接入力し円の大きさを決めます。この時、中心から広がるように円が作成されます。大きさを決めたら、画面をクリックし、円を描くようにマウスを動かします。始点と終点が重なるところでクリックすると、円の作成の完了です。



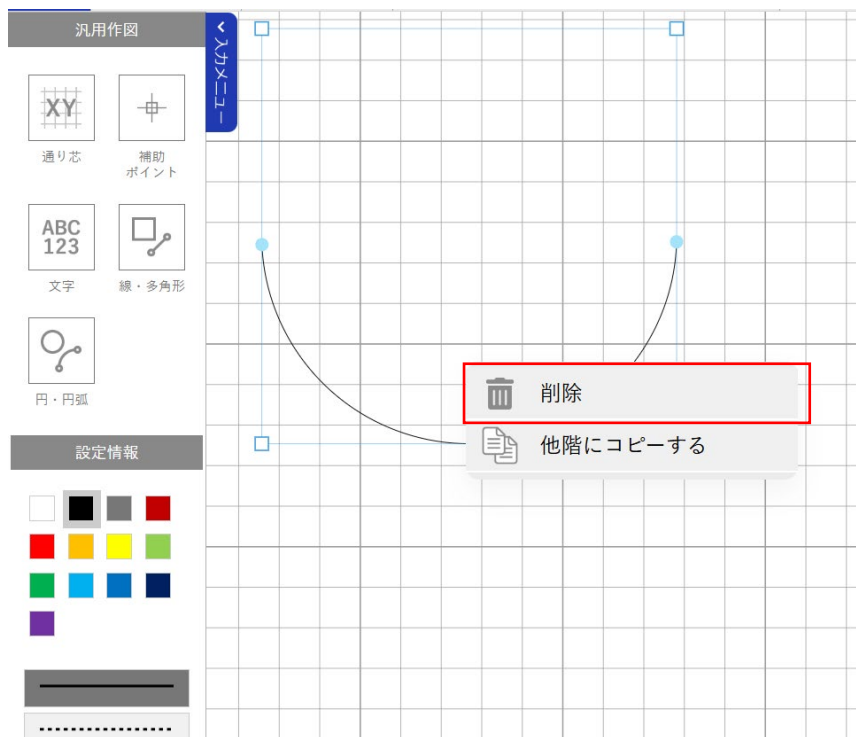
円弧を作成する場合は、円と同様に、編集領域内をクリックし、円の大きさを決めます。大きさを決めたら、画面をクリックし、円を描くようにマウスを動かします。円の作成途中で画面をクリックすると、円弧の作成の完了です。



左メニューの色、線種を選択して適用します。(デフォルトのままで良い場合は、この手順は省きます。色、線種は円・円弧を選択することにより、後からでも再設定が可能です)

21.3 円・円弧を削除する

削除したい円・円弧をクリックし、右クリックを押してメニューを表示します。「削除」ボタンをクリックし、円・円弧を削除します。削除対象を選択後、Delete キーからも削除できます。



22. リスト表示

4 建物概要 ～ 16 屋根 で設定した情報をリストで表示します。

22.1 リスト表示を開く

画面下部の「リスト表示」をクリックすると、部位ごとのリストが表示されます。

☒ 部屋 ☐ 建具 ☐ 壁 ☐ 床 ☐ 天井 ☐ 屋根 ☐ 諸元 並び替え設定																	
配置 No	階	連携 ソフト	連携元 参照領域	番号	部屋名	室用途	天井高 (mm)	床高 (mm)	床面積 (㎡)	吹抜け	天井面積 (㎡)	天井 なし	構造体記号 (天井)	床 なし	構造体記号 (床)	容積 (㎡)	非 空調
1	1F	CADECT			名称未設定		2400	0	19.25		19.25					46.2	非空調
2	1F	CADECT			名称未設定		2400	0	19.25		19.25					46.2	非空調
3	1F	CADECT			名称未設定		2400	0	19.25		19.25					46.2	非空調

ラジオボタンで切り替えて、設定した情報を閲覧できます。

【表示メニュー】

部屋

建具

壁

床

天井

屋根

諸元

22.1.1 部屋リストの並び替え設定

リスト表示 - 部屋 - 「並び替え設定」より、部屋リストの表示順を設定します。

並び順は、第1キー～第5キーまで設定が可能です。

並び順は、間取りの設定情報として保存されますので、次回編集時も設定した並び順を使い表示されます。

● 部屋 ○ 建具 ○ 壁 ○ 床 ○ 天井 ○ 屋根 ○ 諸元 並び替え設定

配置 No	階	連携 ソフト	連携元 参照領域	番号	名称
1	1F	CADECT			
2	1F	CADECT			

リスト並び替え設定

① 表示項目

② 並び替えルール

第1キー	室用途居室区分	マニュアル記載順
第2キー	部屋名	昇順
第3キー		
第4キー		
第5キー		

③ 変更

キャンセル

設定クリア

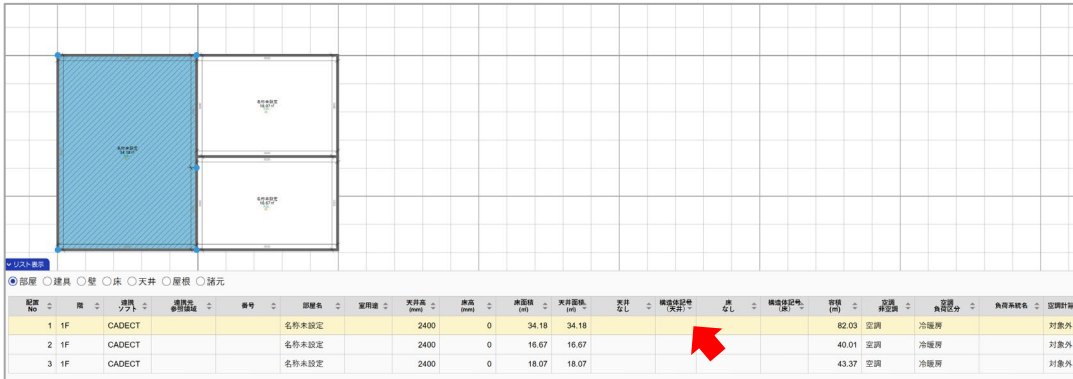
④

【詳細情報】

①	表示項目	並び替えに使用する属性名を選択します。 選択肢にはリストに表示される属性にくわえ、室用途居室区分があります。
②	並び替えルール	選択した表示項目の並び替え方法を選択します。 選択肢は、昇順・降順です。 室用途居室区分を選択している場合は、昇順・降順・マニュアル記載順です。
③	変更	並び替えに使用する項目と方法を選択したのち、変更ボタンをクリックして確定します。
④	設定クリア	第1キー～第5キーの全ての選択をクリアします。

22.2 リストからオブジェクトを選択する

リスト表示から行を選択することでオブジェクトを選択できます。また、複数行選択することも可能です。



④ 部屋 ○ 建具 ○ 壁 ○ 床 ○ 天井 ○ 屋根 ○ 諸元

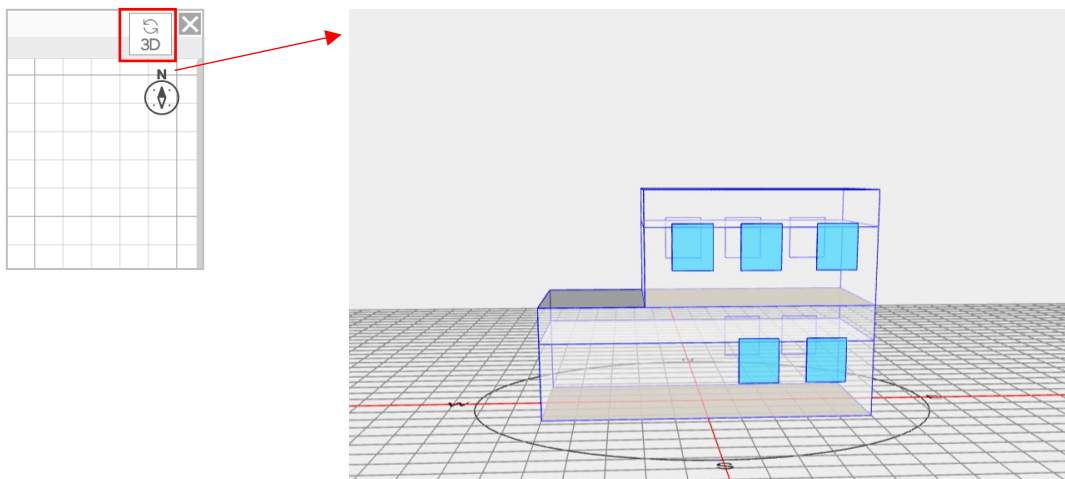
配管 No	階	機器 フラット	機器名	室用途	天井高 (mm)	床高 (mm)	床面積 (㎡)	天井面積 (㎡)	天井なし	機器床面積 (天井)	天井なし	機器床面積 (床)	容積 (㎡)	空調 解凍側	空調 負荷区分	負荷系統名	空調対象
1	1F	CADECT	名称未設定		2400	0	34.18	34.18					82.03	空調	冷暖房		対象外
2	1F	CADECT	名称未設定		2400	0	16.67	16.67					40.01	空調	冷暖房		対象外
3	1F	CADECT	名称未設定		2400	0	18.07	18.07					43.37	空調	冷暖房		対象外

23. 3D 表示リスト表示

4 建物概要 ～ 16 屋根 で設定した建物情報を 3D で表示します。

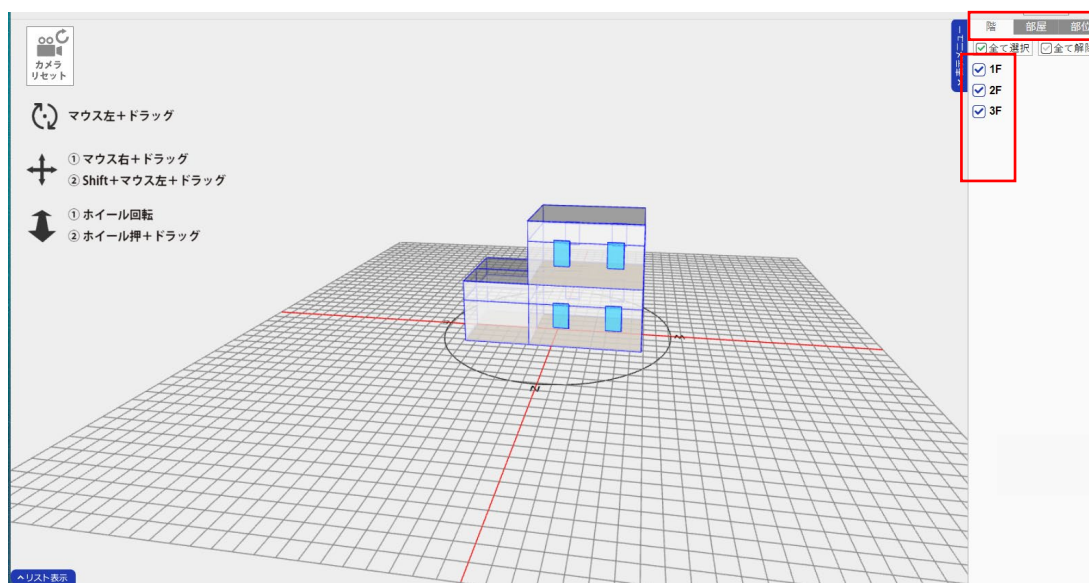
23.1 3D 表示を開く

画面右上の「3D」ボタンをクリックして、3D を表示します。



23.2 表示メニューを開く

画面右の「表示メニュー」ボタンをクリックします。3D表示しているものはチェックが入っています。「階」、「部屋」、「部位」タブの切り替えができ、単位ごとにチェックの有無で表示切り替えができます。

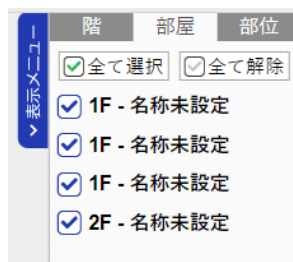


【タブ別イメージ】

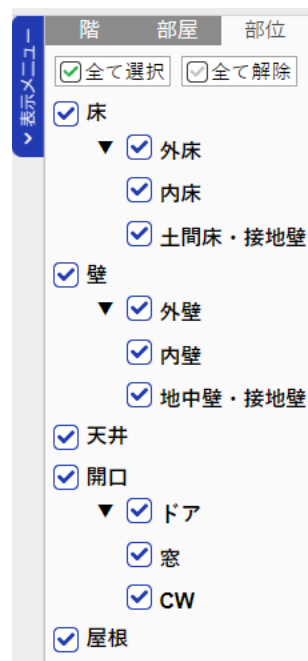
【階】



【部屋】



【部位】



23.3 リスト表示を開く

画面下部の「リスト表示」をクリックすると、部位ごとのリストが表示されます。

☒ 部屋 ☐ 建具 ☐ 壁 ☐ 床 ☐ 天井 ☐ 屋根 ☐ 諸元

建物 ソフト	建設元 参照領域	番号	部屋名	宜用途	階	天井高 (mm)	床高 (mm)	床面積 (㎡)	天井面積 (㎡)	天井 なし	構造体記号 (天井)	床 なし	構造体記号 (床)	容積 (㎡)	空調 非空調	空調 負荷区分	空調系統名
CADECT			名称未設定		1F	2400	0	55.34	55.34					132.62	空調	冷暖房	
CADECT			名称未設定		1F	2400	0	16.04	16.04					38.5	空調	冷暖房	
CADECT			名称未設定		1F	2400	0	16.66	16.66					40.03	空調	冷暖房	

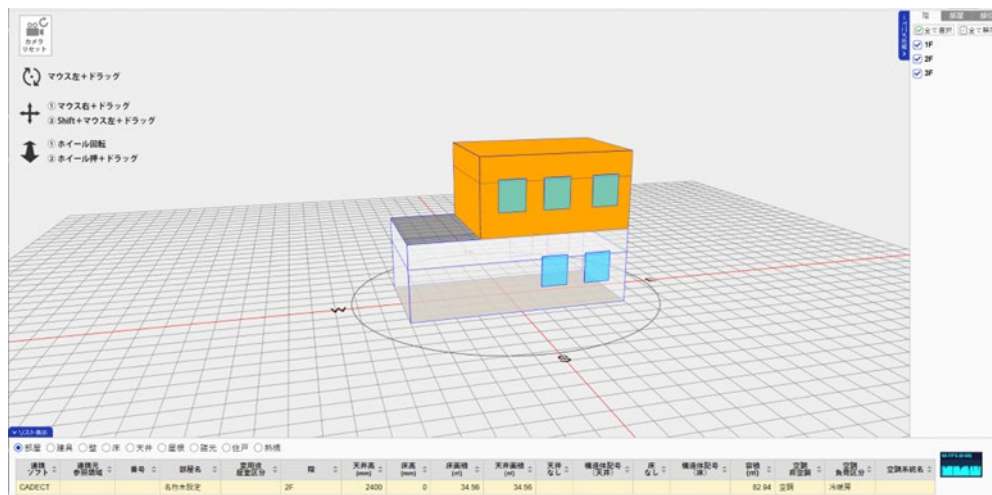
ラジオボタンで切り替えて、設定した情報を閲覧できます。

【表示メニュー】

- 部屋
- 建具
- 壁
- 床
- 天井
- 屋根
- 諸元

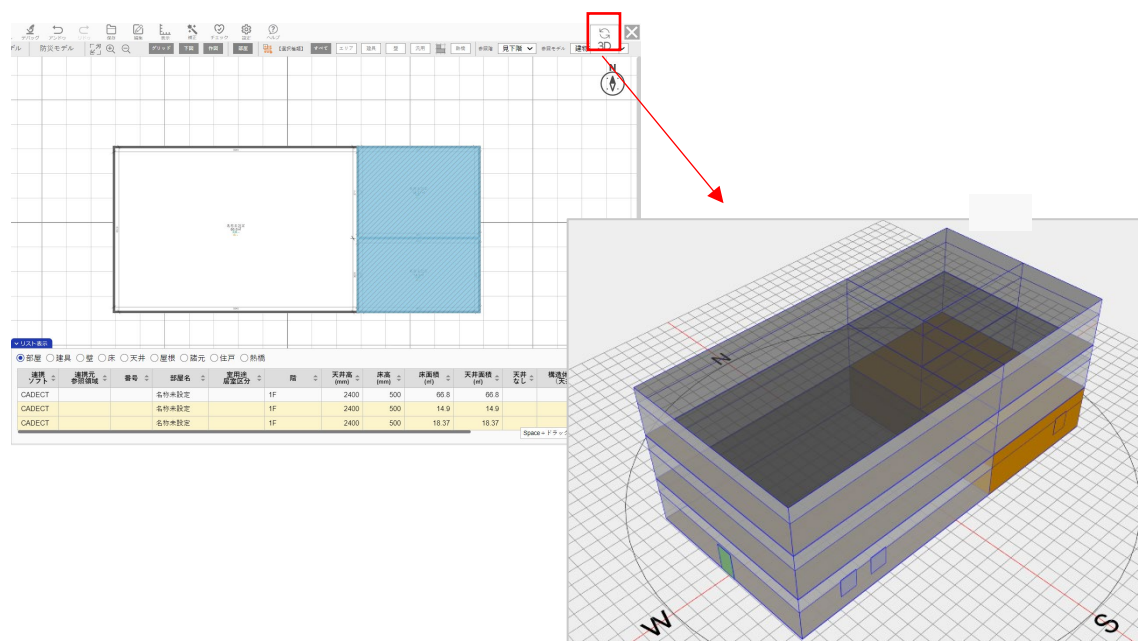
23.4 3D の強調表示

リスト表示から、強調して表示させたい行を選択すると、3D 表示画面に色付きで表示されます。

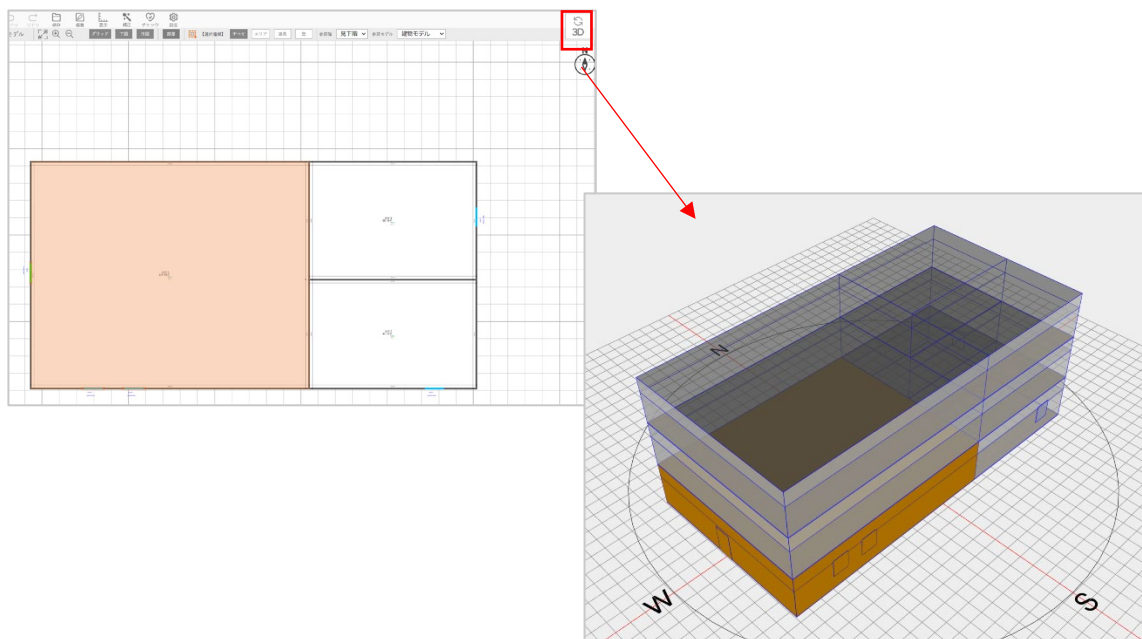


また、2D 表示のリスト表示から、または編集領域のエリア等を選択したまま、3D 表示に遷移すると強調して表示されます。

【リスト表示から選択】

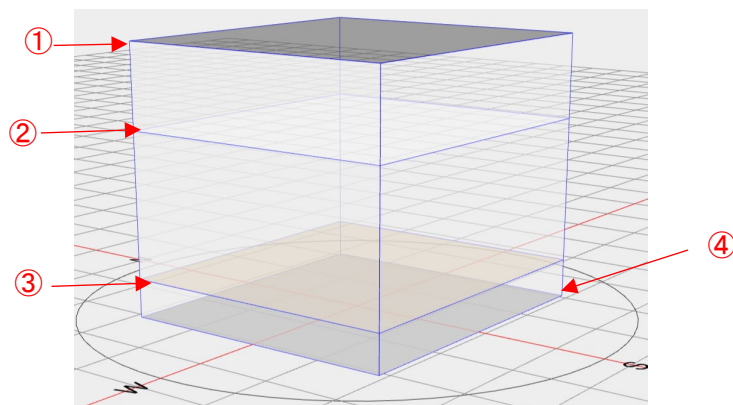


【編集領域から選択】



23.5 3D の構成

3D 上の部屋は、階高上、天井、床、階高下基準面の 4 階層を用いて色分けして表現されます。



【詳細情報】

①	階高上	灰色で表現します。部位の天井にチェックが入っている時に表示されます。
②	天井	白色で表現します。
③	床	茶色で表現します。
④	階高下基準面	灰色で表現します。部位の床にチェックが入っている時に表示されます。

24. ファイル

室/部材データのインポート、室/部材データのエクスポート、図面を PDF 出力する機能、2D 描画エリア下部にある各部位のリスト表示を CSV 形式でデータ出力する機能です。

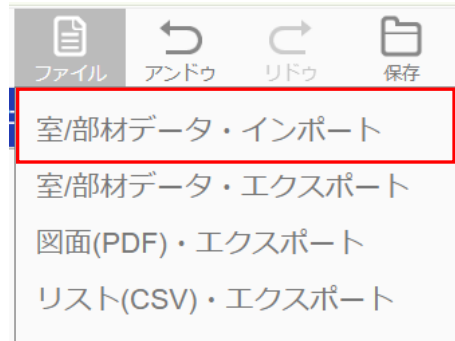
24.1 ヘッダーメニューから開く

ヘッダーメニューのファイルボタンをクリックし、「室/部材データ・インポート」ボタン、「室/部材データ・エクスポート」ボタン、「図面 (PDF) ・エクスポート」、「リスト (CSV) ・エクスポート」ボタンをクリックします。



24.2 室/部材データ・インポート

「室/部材データ・インポート」ボタンをクリックすると、ファイル読み込み画面を表示します。



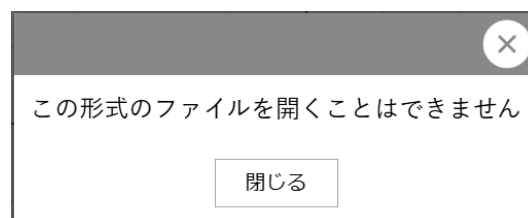
【詳細情報】

室/部材データ・インポート…室情報、構造体、建具、(諸元グループ)を全て取り込みます。構造体記号の重複などを避けるため以下の制限を設けています。

【インポート時の制限】

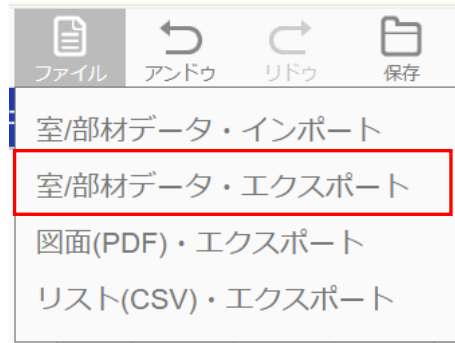
- 構造体・建具・室情報・(諸元グループ)がどれも1つもない場合のみ取り込み可能です。
- 作図がされている場合は取り込めません。(エリア、壁、建具、屋根) ただし、汎用作図あるいは下図のみが書かれている場合は取り込み可能です。

※ JSON形式ファイル以外のファイルを取り込むことはできません。その場合は、下記アラートを表示します。



24.3 室/部材データ・エクスポート

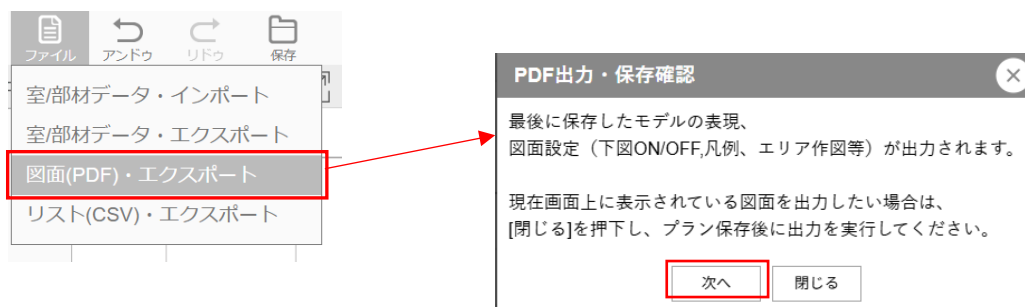
「室/部材データ・エクスポート」ボタンをクリックすると、JSON ファイルを出力します。



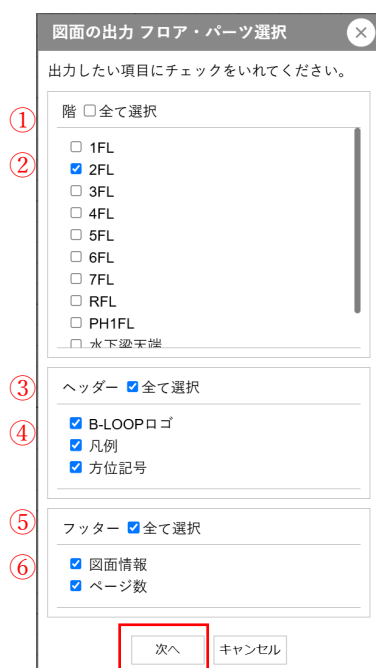
24.4 図面 (PDF) ・エクスポート

「図面 (PDF) ・エクスポート」 ボタンをクリックすると、PDF 出力・保存確認ダイアログが表示されます。内容を確認し、このままデータを出力する場合は「次へ」を選択します。データを保存する場合は「閉じる」を選択してダイアログを閉じて保存を行ってください。

出力内容と保存については TIPS 出力する前の注意点をご確認ください。



「次へ」を選択すると、図面の出力フロア・パーツ選択ダイアログを表示します。



各種情報を選択して、「次へ」 ボタンをクリックします。

【設定情報】

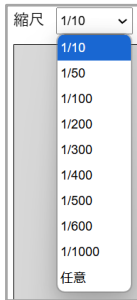
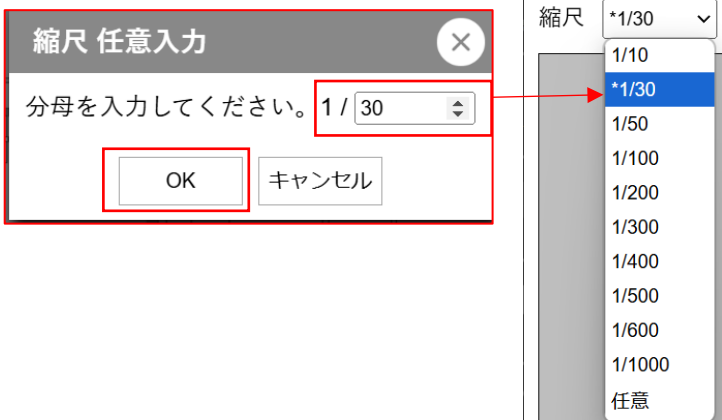
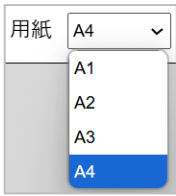
①	階・全て選択	全ての階を出力対象としたい場合は、チェックボックスを選択します。
②	各階指定	出力対象の階を個別に指定したい場合は、対象の階のチェックボックスを選択します。
③	ヘッダー・全て選択	B-LOOP ロゴ、凡例、方位記号を全て表示したい場合は、チェックボックスを選択します。
④	各ヘッダー指定	B-LOOP ロゴ、凡例、方位記号を個別に表示設定したい場合は、各チェックボックスを選択します。
⑤	フッター・全て選択	図面情報、ページ数を全て表示したい場合は、チェックボックスを選択します。
⑥	各フッター指定	図面情報、ページ数を個別に表示設定したい場合は、各チェックボックスを選択します。

「次へ」ボタンをクリックすると、図面の出力 縮尺/用紙設定プレビューダイアログへ遷移します。



各種情報を選択して、「PDF 出力」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	縮尺	縮尺を 1/10、1/50、1/100、1/200、1/300、1/400、1/500、1/600、1/1000、任意から選択します。初期設定は、1/200 です。  任意を選択した場合は、縮尺任意入力ダイアログを表示します。指定したいサイズを数値入力し「OK」をクリックします。任意縮尺の数値は、11～999 の間で入力してください。任意登録した縮尺サイズは、選択ダイアログ内に追加されます。もう一度任意を選択して縮尺任意入力を行うと、前回登録した任意縮尺が上書きされます。 
②	用紙	用紙サイズを A1、A2、A3、A4 から選択します。初期設定は、A3 です。 
③	用紙回転	用紙を回転したい場合は、0°、90°、-90° から選択します。

④	下図フィット	プランに下図がある場合、下図の角度とサイズにあわせ自動フィットさせる場合にクリックします。用紙のサイズは変更されませんので、先に使用したい用紙サイズを選択してください。 また、自動フィット機能に対し用紙サイズがあわない場合は、下記のアラートが表示されますので、その場合は用紙サイズを見直ししてください。 
⑤	選択	出力対象が複数階ある場合にページ移動します。
⑥	出力プレビュー	現在の CADECT で入力されている平面図をプレビュー表示します。PDF 出力では保存時の平面図データを元に出力をしますので出力プレビュー上の平面図と PDF 出力で差異が発生する場合があります。
⑦	選択枠	緑色の点線で囲われた選択枠の範囲が PDF として出力されます。 ● 選択枠内に図面の出力フロア・パーツ選択ダイアログで選択したパーツの出力範囲が灰色の四角で表示されます。PDF では各情報がそれぞれの内容で出力されます。 ● 選択枠はドラッグ操作で移動できます。 ● 丸い部分のドラッグ回転操作で回転できます。(角度制限あり)

TIPS 出力する前の注意点

図面 (PDF) ・エクスポート機能は保存が行われた時点の平面図を PDF データとして出力します。出力のためには CADECT データが一度保存されていることが前提条件となります。データが一度も保存されていない場合は、白紙の平面図が出力されることになりますので、保存の処理の後に再度出力処理を行うようにしてください。保存の詳細については、『25.』をご参照ください。

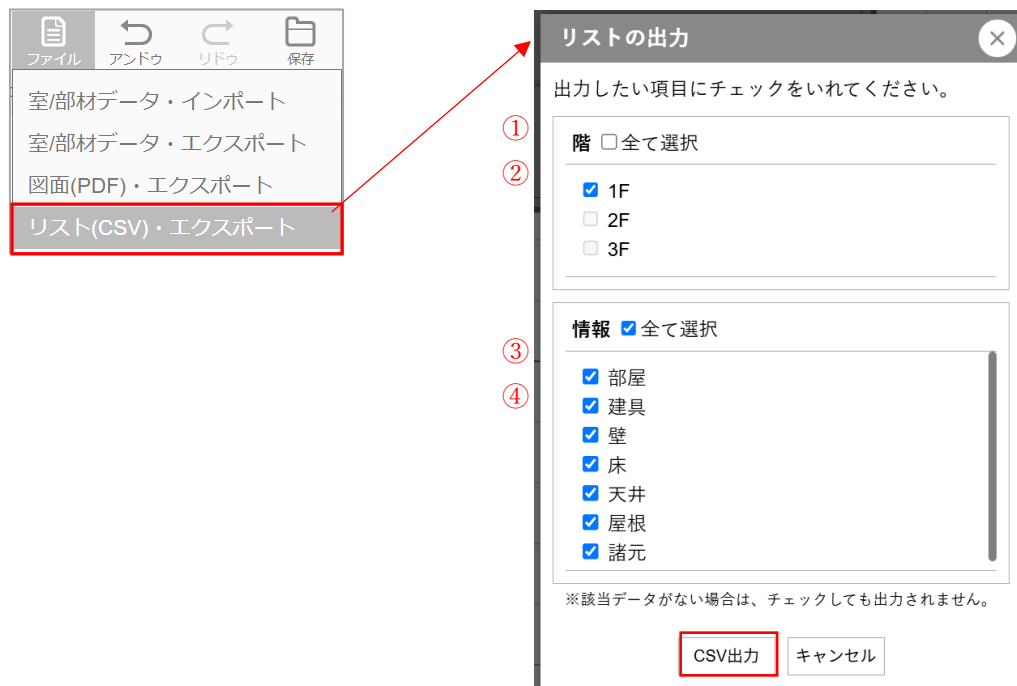
※ CADECT から平面図として出力される内容は、CADECT の表示機能で表示されている内容に下記内容を非表示にしたものになります。

- 汎用作図の通り芯と補助ポイント
- グリッド
- 参照階

24.5 リスト (CSV) ・エクスポート

2D 描画エリア下部にある各部位のリスト表示を CSV 形式でデータ出力する機能です。

「リスト (CSV) ・エクスポート」 ボタンをクリックし、リストの出力ダイアログを表示します。



各種情報を選択して、「CSV 出力」 ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	階・全て選択	全ての階を出力対象としたい場合は、チェックボックスを選択します。
②	各階指定	出力対象の階を個別に指定したい場合は、対象の階のチェックボックスを選択します。
③	情報・全て選択	リストを全て選択したい場合は、チェックボックスを選択します。
④	各情報指定	出力する情報を、部屋、建具、壁、床、天井、屋根、諸元より個別で指定し選択します。

「CSV 出力」 ボタンをクリックすると、CSV データを出力します。



サンプルプラン_B-LOOP帳票.csv

4.3 KB • 完了

・ CSV 出力データイメージ

データ内左側に各情報名を表示し、複数階選択出力した場合は、下位階より順に表示します。

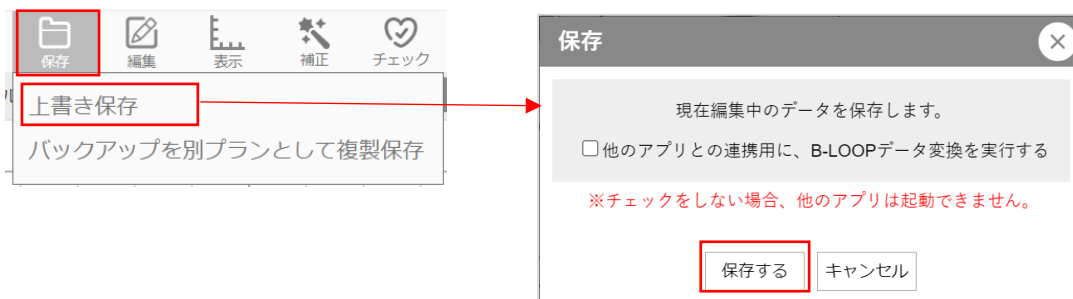
サンプルプラン_B-LOOP帳票																			検索	
ファイルホーム挿入図面ページレイアウト表形式データ校閲表示自動化ヘルプ																				
L7	▼																			

25. 保存

CADECT データの保存をします。保存時には、B-LOOP 共有データを生成することも可能です。B-LOOP 共有データを作成すると弊社が開発している B-LOOP 対応ソフトウェアを起動できるようになります。

25.1 上書き保存（B-LOOP 共通データ生成なし）

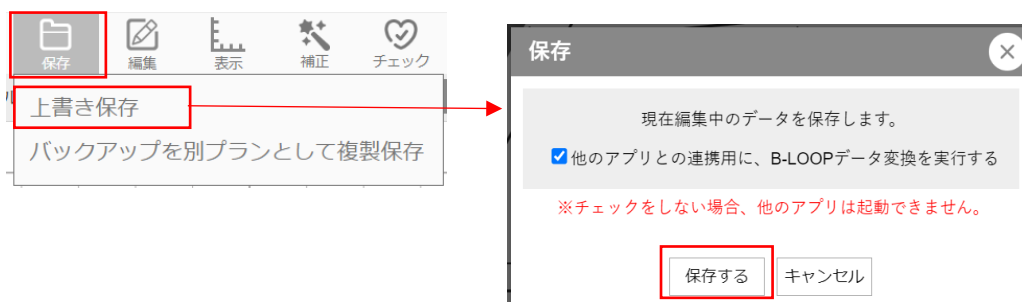
ヘッダーの保存ボタンから上書き保存をクリックし、保存ダイアログで「他のアプリとの連携用に、B-LOOP データ変換を実行する」へはチェックをつけず、保存するボタンをクリックします。図面(PDF)・エクスポート機能を使用する場合や CADECT の作業状況を一時的に保存したい場合はこちらの保存を実行してください。



25.2 上書き保存（B-LOOP 共通データも生成する）

ヘッダーの保存ボタンから上書き保存をクリックし、保存ダイアログで「他のアプリとの連携用に、B-LOOP データ変換を実行する」へチェックをつけて、保存するボタンをクリックします。他連携アプリケーションへ CADECT の入力情報を連携する場合はこちらの保存を実行してください。

※ 図面によっては、処理時間が多い場合があります。



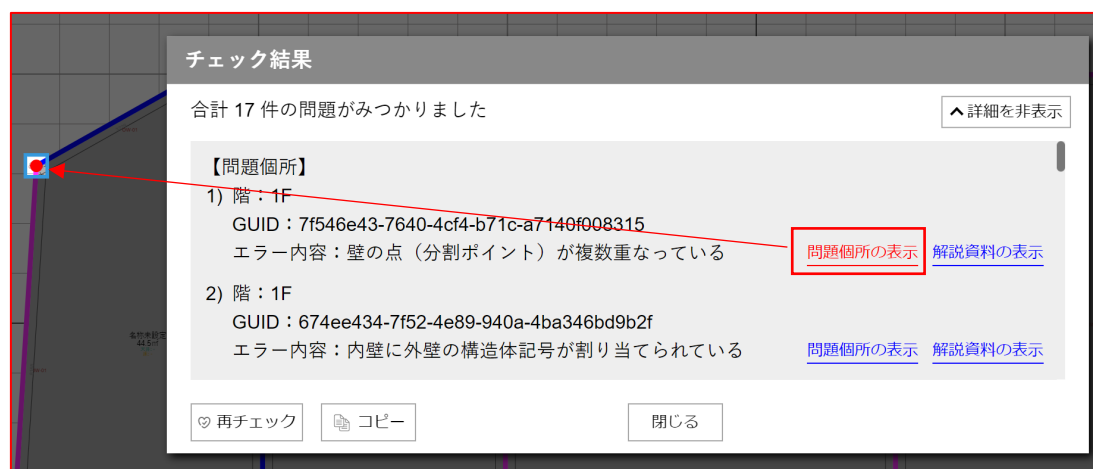
25.2.1 保存前のエラーチェック

保存時にチェックが実施され、エラーが検出された場合には、お知らせダイアログが表示されます。

エラーを無視して、強制的にエラーにする場合は「保存する」ボタンをクリックします。またエラーの詳細を確認する場合は、「詳細」ボタンをクリックし、チェック結果ダイアログを表示します。



チェック結果ダイアログにて、検出されたエラーの問題個所が表示されます。また「再チェック」ボタンをクリックすると、再度エラーチェックが実施され、「コピー」ボタンをクリックすると、問題の一覧をクリップボードにコピーすることができます。



【エラー詳細】

	エラー内容と対処
①	内壁にもかかわらず、外壁の構造体が設定されている 原因：内外判定で内壁にもかかわらず、外壁部材が割り当てられている壁をエラーとして検出します。
②	外壁にもかかわらず、内壁の構造体が設定されている。※隣接する室の間に、極小の隙間が生じている場合がある。 原因：内外判定で外壁にもかかわらず内壁部材が割り当てられている壁をエラーとして検出します。

③	壁の点（分割ポイント）が複数重なっている。 原因：壁の点（分割ポイント）が複数重なっている箇所がある。
④	隣接する室の境界となる壁に、別の構造体記号が割り当てられている 原因：隣接する室の境界となる壁がそれぞれ別の構造体記号が割り当てられている壁をエラーとして検出します。
⑤	隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない。 原因：隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない場合をエラーとして検出します。
⑥	建具は壁上に配置されていない 原因：壁上に載っていない建具をエラーとして検出します。
⑦	部屋の領域が重なっている 原因：エリアの交差判定を行い、重なっているエリアをエラーとして検出します。
⑧	屋根で構造体が設定されていない 原因：屋根に構造体記号を設定していない場合、エラーとして検出します。
⑨	屋根が他の屋根と重なっている 原因：屋根と屋根の重なりを検知しエラーとして検出します。
⑩	吹抜け「○○（部屋名）」の上部エリアが設定されていない 原因：吹抜け（面積参入）に紐づく、吹抜け（面積不算入）を設定していない場合、エラーとして検出します。



また、問題個所の表示に併せ、解説資料の表示をします。参照する場合はクリックします。

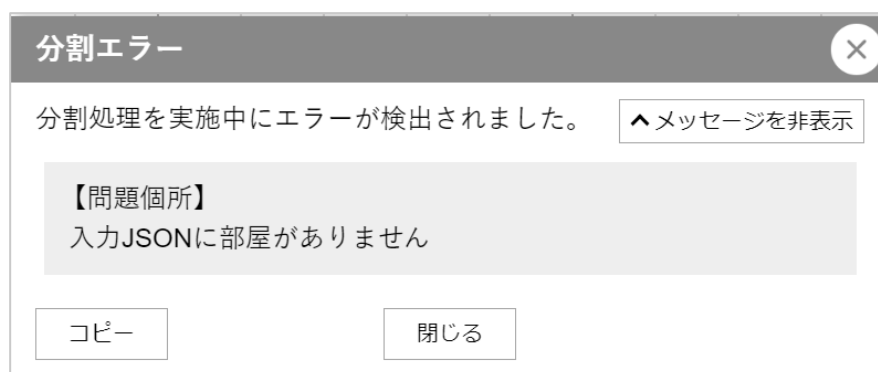
【解説資料の種類】

①	<u>内壁に外壁の構造体記号が割り当てられる。</u>
②	<u>外壁に内壁の構造体記号が割り当てられる。</u>
③	<u>隣接する室の境界となる壁に、異なる構造体記号が割り当てられている。</u>
④	<u>建具が壁上に配置されていない。</u>
⑤	<u>部屋の領域が重なっている。</u>
⑥	<u>屋根に構造体記号が割り当てられていない。</u>
⑦	<u>屋根が他の屋根と重なっている。</u>
⑧	<u>隣接する室の片方の壁には点（分割ポイント）があるが、もう片方の壁にはない。</u>
⑨	<u>壁の点（分割ポイント）が複数重なっている。</u>
⑩	<u>吹抜け「○○（部屋名）」の上部エリアが設定されていない。</u>

25.2.2 保存時のエラー対処

『25.2 上書き保存（B-LOOP 共通データも生成する）』を実行した際に分割結果生成に失敗すると、データは保存されずに分割エラーダイアログが表示されます。

分割エラーダイアログを表示後、問題個所の表示をクリックすると、該当エリアが選択された状態で表示されます。



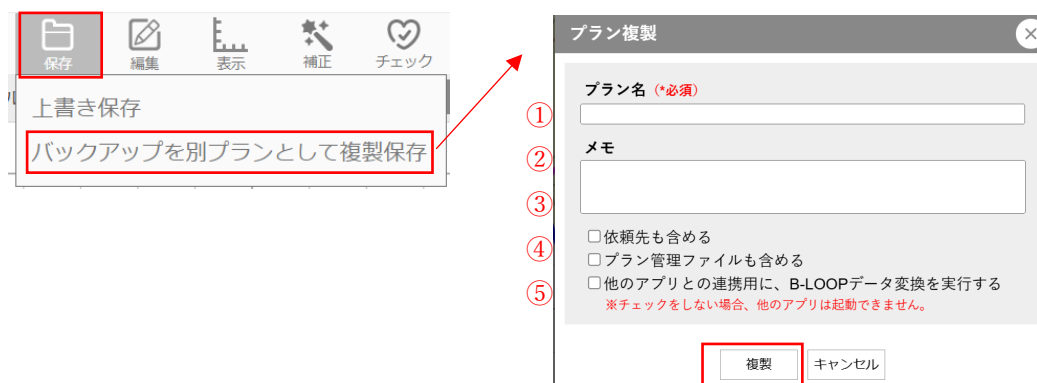
【エラーリスト】 合計 16 種類

	エラー内容と対処
①	原因不明のエラー。(サポートまでお問い合わせください) 対処：不要な点を削除、間取りをチェックするため、補正ウィザードを開始してデータを確認してください。
②	レベルの変換に失敗したため、階が表示できません。[Level の名称] 対処：フォーマットが異なっていて、階が取り込めません。フォーマットが合っているか確認してください。
③	柱の基準レベルが見つからないため、○○。[柱の GUID] 対処：柱が参照するレベルがない場合に起きるエラーです。Revit データを確認してください。
④	マテリアルの名称がないため、構成材料の建材名が空欄になります。マテリアル ID[Revit ID] 対処：マテリアルの建材名が空白になっている時に起きるエラーです。該当する ID のマテリアルを確認してください。
⑤	マテリアルの熱伝導率の値がゼロもしくはマイナスのため、構成材料の熱伝導率がゼロになります。マテリアル名[xxxxxx] 対処：マテリアルの熱伝導率の値がゼロ、もしくはマイナスになっています。該当マテリアルの熱伝導率を確認してください。
⑥	マテリアルに熱伝導率が定義されていないため、構成材料の熱伝導率がゼロになります。マテリアル[xxxxxx]

	対処：マテリアルに紐づいている情報が確認できない時に起きるエラーです。該当マテリアルの設定を確認してください。
⑦	屋根があるレベルが特定できない、もしくは、最上階より上であるため、最上階の屋根として変換します。 対処：屋根が存在しているレベルが決定できない時に起きるエラーです。屋根のレベルを確認してください。
⑧	マテリアルの断熱の設定がされていないため、構成材料の熱伝導率がゼロになります。マテリアル[xxxxxx] 対処：該当マテリアルの設定を確認してください。
⑨	マテリアルが「カテゴリ別（デフォルト）」のため、構成材料の建材名空欄になります。マテリアル ID[Revit ID] 対処：該当マテリアルを確認し、修正してください。
⑩	柱まわりの壁の補正時に、エリアが消えました。部屋境界を見直してください。部屋[XXXX] 対処：該当の部屋を確認し、部屋の境界を修正してください。
⑪	部屋と床の重なり判定時にメモリーオーバーしました。部屋境界を見直してください。 対処：不要な点を削除、間取りをチェックするため、補正ウィザードを開始してデータを確認してください。
⑫	部屋が登録されていないため、エリアが生成できません。 対処：部屋の数がゼロになっています。一つ以上部屋を入力してください。
⑬	拡張子が間違っています。B-LOOP for Revit で出力し rblp 拡張子のファイルであるかご確認ください。 対処：B-LOOP for Revit で出力した rblp 拡張子のファイルであるか確認してください。
⑭	床、天井の重なり判定時に頂点数の規定値を超えたため、部材が取り込まれません。曲線分割最大長さ（オプション）をご確認ください。部材 ID[Revit GUID] 対処：補正機能の部屋・エリア境界直線化を適用させてください。もしくは、曲線分割最大長さを確認し、該当箇所を修正してください。
⑮	窓が参照するレベル情報が設定されていないため、窓を取込めません。[窓の GUID] 対処：該当する窓のレベル情報を確認してください。
⑯	ドアが参照するレベル情報が設定されていないため、ドアを取込めません。[ドアの GUID] 対処：該当するドアのレベル情報を確認してください。

25.3 バックアップを別プランとして複製保存

ヘッダーの保存ボタンからバックアップを別プランとして複製保存をクリックし、プラン複製ダイアログを開きます。

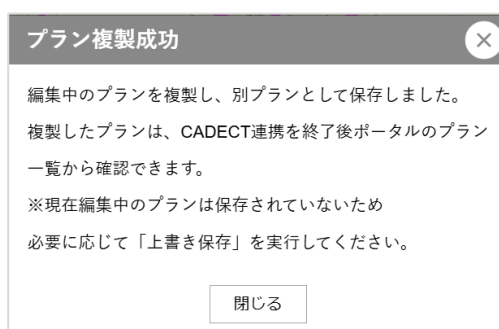


各種情報を入力して、「複製」ボタンをクリックします。

【設定情報】

①	プラン名	複製保存先となる新規 B-LOOP プランの名称を入力します。プラン名は必須となります。最大 40 文字入力可能です。
②	メモ	任意のメモ入力機能です。最大 500 文字入力可能です。
③	依頼先も含める	依頼先も含める場合は選択します。
④	プラン管理ファイルも含める。	プラン管理ファイルも含める場合は選択します。
⑤	他のアプリとの連携用に、B-LOOP データ変換を実行する	B-LOOP 共通データも生成したい場合は選択します。

保存が成功すると下記ダイアログが表示されます。



複製保存したデータは、①プラン名でつけた名称で、B-LOOP ポータルの同じ物件内に新規プランとして複製保存されます。複製保存後は、引き続き元のプランデータを継続して編集することが可能です。別プランとして複製保存した後に、さらに元のプランデータを編集して上書き保存をした場合は、最初に開いた方のプランにデータ保存されます。

26. チェック機能

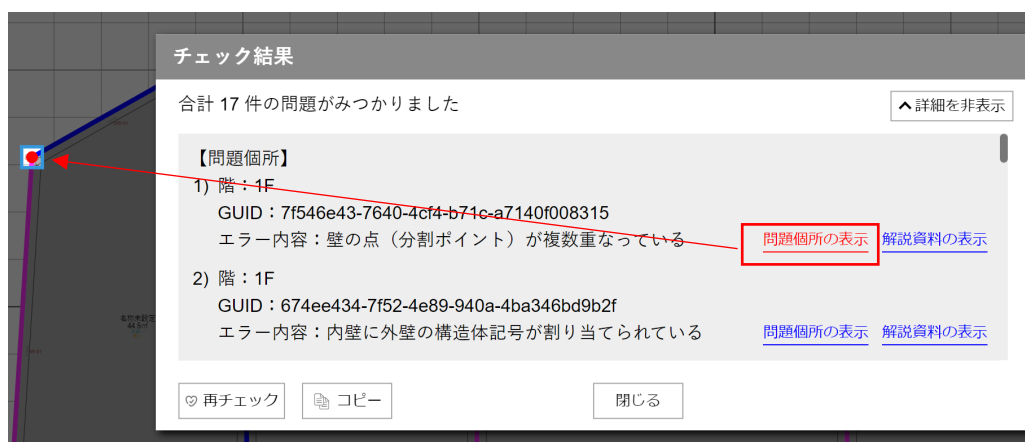
図面をチェックする機能です。

26.1 ヘッダーメニューからチェック

ヘッダーメニューの「チェック」ボタンをクリックすると、エラーチェックが実施され、エラーが検出された場合には、チェック結果ダイアログを表示します。



チェック結果ダイアログにて、検出されたエラーの問題個所が表示されます。また「再チェック」ボタンをクリックすると、再度エラーチェックが実施され、「コピー」ボタンをクリックすると、問題の一覧をクリップボードにコピーすることができます。



エラー詳細と、解説資料については『保存前のエラーチェック』をご参照ください

エラーが見つからない場合は、下記アラートを表示します。



27. 補正機能

Revit データを取り込んだ際の図面補正や補正補助として使用します。全階、表示階のみ、選択したエリアのみの3パターンで補正を行うことができます。全階、表示階のみ、補正を行う場合は、ヘッダーの「補正」ボタンを選択、また、選択したエリアのみ補正を行う場合は、エリアを選択した後、画面右の「補正」メニューを選択してください。

27.1 ヘッダーメニューから補正

ヘッダーメニューの補正ボタンをクリックし、「部屋・エリア境界直線化」ボタン、「エリアのポイント結合」ボタン、「間取りをチェックして補正」ボタンのいずれかをクリックして、ダイアログを表示します。



27.1.1 部屋・エリア境界直線化

「部屋・エリア境界直線化」ボタンをクリックし、部屋・エリア境界直線化ダイアログを表示します。ここでは、本当は直線であるのに、思わぬ点ができていて使用します。設定した許容値の範囲以内にある点を削除し、直線化することができます。

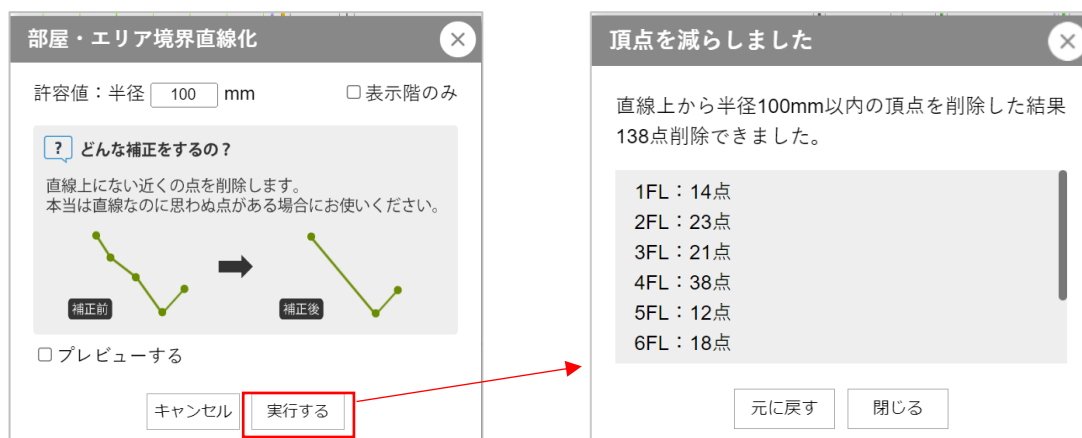
【設定情報】

①	許容値	頂点の部屋・エリア境界直線化を行うか否かの距離の閾値を示します。少ないと部屋・エリア境界直線化で削除される頂点の数が減り、多いと削除される頂点の数が増えます。
②	表示階のみ	チェックの有無により、全階、表示階のみの切り替えます。

設定情報を設定し、「プレビューする」をチェックすると、削除される点が赤く表示されます。



設定情報を設定し、「実行する」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。削除した頂点が存在した場合は下記のように確認することができます。また、「元に戻す」ボタンをクリックすると、補正する前の状態に戻ります。



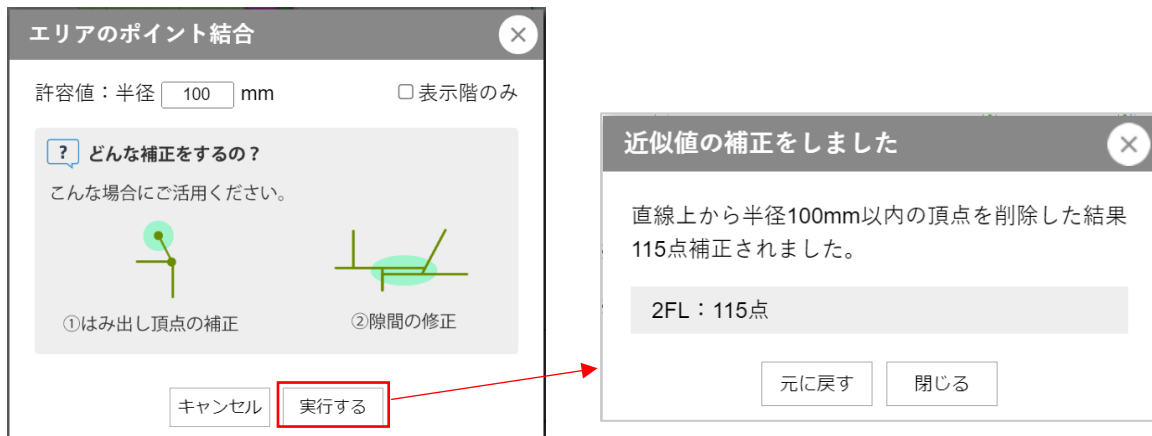
27.1.2 エリアのポイント結合

「エリアのポイント結合」ボタンをクリックし、エリアのポイント結合ダイアログを表示します。ここでは、はみ出している頂点が存在する場合や隙間を補正する際に使用します。設定した許容値の範囲以内にある点を削除し、補正します。

【設定情報】

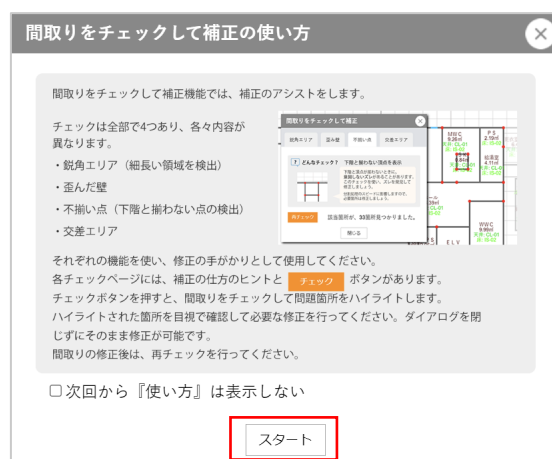
①	許容値	ある頂点の直線からの距離を表します。
②	表示階のみ	チェックの有無により、全階、表示階のみの切り替えます。

設定情報を設定し、「実行する」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。削除した頂点が存在した場合は下記のように確認することができます。また、「元に戻す」ボタンをクリックすると、補正する前の状態に戻ります。



27.1.3 間取りをチェックして補正

「間取りをチェックして補正」ボタンをクリックし、間取りをチェックして補正の使い方ダイアログを表示します。ここでは、補正をする際のアシストをします。「スタート」ボタンをクリックして、操作を進めます。また、次回から『使い方』は表示しないをチェックすると、『使い方』ダイアログは表示されなくなります。



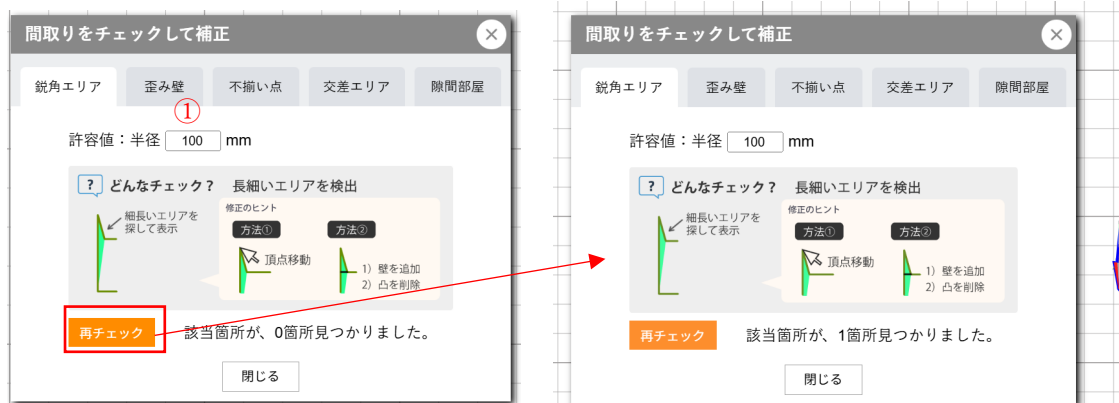
27.1.4 間取りをチェックして補正 - 鋭角エリア

設定情報を設定し、「スタート」ボタンをクリックすると、間取りをチェックして補正ダイアログが表示されます。鋭角エリアのタブでは、細長くなっているエリアを検出します。

【設定情報】

① 許容値	ある頂点の直線からの距離を表します。
-------	--------------------

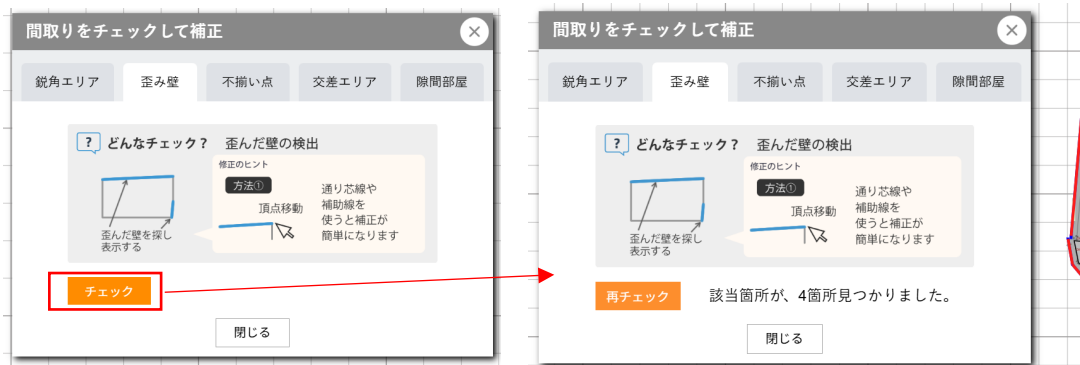
設定情報を設定し、「チェック」ボタンをクリックし、細長いエリアを赤く表示します。



27.1.5 間取りをチェックして補正 - 歪み壁

歪み壁のタブでは、部屋に対して歪んだ壁を検出します。

「チェック」ボタンをクリックし、歪んだ壁がある場合、壁を赤く表示します。



27.1.6 間取りをチェックして補正 - 不揃い点

不揃い点のタブでは、下階と一致していない頂点を検出します。

「チェック」ボタンをクリックし、不揃いの点がある場合、点を赤く表示します。



27.1.7 間取りをチェックして補正 - 交差エリア

交差エリアタブをクリックし、部屋同士の重なっているエリアを検出します。

「チェック」ボタンをクリックし、重なっている、もしくは交差しているエリアがある場合、エリアが色付きで表示されます。



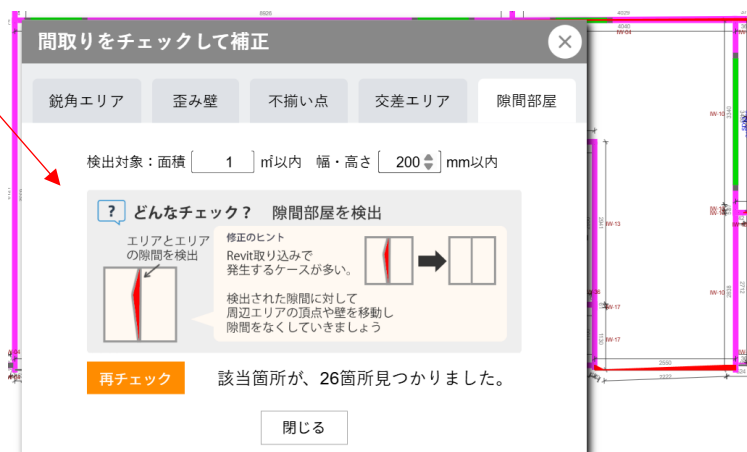
27.1.8 間取りをチェックして補正 - 隙間部屋

隙間部屋タブをクリックし、エリア間の隙間を検出します。

【設定情報】

①	面積	検出したい隙間の面積閾値を入力します。
②	幅・高さ	検出したい隙間の幅・高さ閾値を入力します。

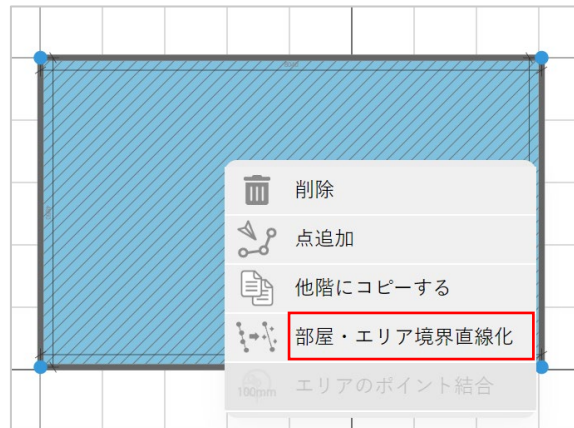
「チェック」ボタンをクリックし、隙間エリアがある場合は、その隙間が色付きで表示されます。



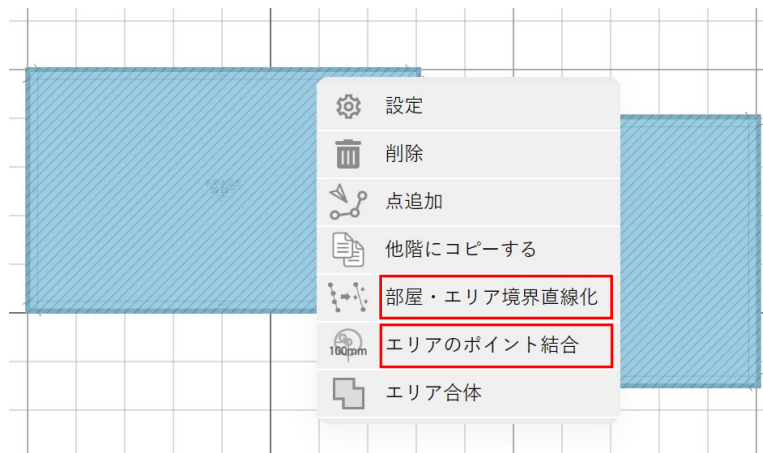
27.2 エリア選択して補正

エリアを選択すると画面右に補正メニューが表示されます。1つのエリアを選択した場合は、補正メニューの部屋・エリア境界直線化のみ行うことができます。また、複数のエリアを選択した場合、部屋・エリア境界直線化とエリアのポイント結合を行うことができます。

【エリア単体選択】



【エリア複数選択】



27.2.1 部屋・エリア境界直線化

エリアを選択後、補正メニューより部屋・エリア境界直線化をクリックし、選択中の部屋の部屋・エリア境界直線化ダイアログを表示します。ここでは、本当は直線であるのに、思わぬ点ができていて使用します。設定した許容値の範囲以内にある点を削除し、直線化することができます。

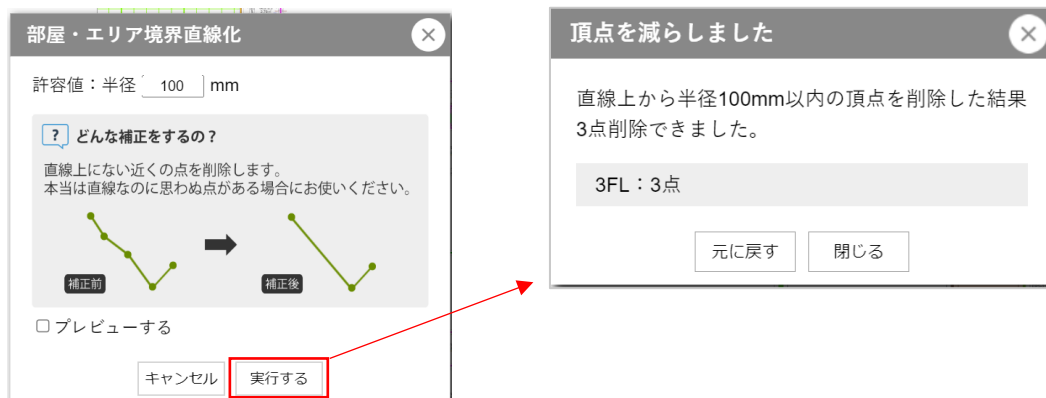
【設定情報】

① 許容値	ある頂点の直線からの距離を表します。
-------	--------------------

設定情報を設定し、「プレビューする」をチェックすると、削除される点が赤く表示されます。



「実行する」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。削除した頂点が存在した場合は下記のように確認することができます。また、「元に戻す」ボタンをクリックすると、補正する前の状態に戻ります。



27.2.2 エリアのポイント結合

エリアを複数選択後、補正メニューよりエリアのポイント結合をクリックし、選択中の部屋のエリアのポイント結合ダイアログを表示します。ここでは、はみ出している頂点が存在する場合や隙間を補正する際に使用します。設定した許容値の範囲以内にある点を削除し、補正します。

【設定情報】

①	許容値	ある頂点の直線からの距離を表します。
---	-----	--------------------

設定情報を設定し、「実行する」ボタンをクリックすると、ダイアログが表示されます。削除した頂点が存在した場合は下記のように確認することができます。また、「元に戻す」ボタンをクリックすると、補正する前の状態に戻ります。



27.3 Revit データ取込時の図面補正

Revit データを取り込んだ際の図面補正を行うことができます。

Revit データ取込後、自動的に自動補正オプションのダイアログが表示されます。

詳細補正、簡易補正のいずれかを選択すると、補正をかけながら図面を生成します。補正によって作成されるデータサイズを削減することができます。

補正なしを選択すると、補正処理は一切かけずにそのまま、図面を生成します。

自動補正オプション

☐ **補正なし**
部屋囲みの一直線上にあるポイントを補正せずそのまま復元します。
データは大きくなります。

☒ **詳細補正**
部屋囲みの一直線上にあるポイントでも壁が違う場合は、
ポイントを残した状態で変換します。データは少し小さくなります。

☐ **簡易補正**
部屋囲みの一直線上にあるポイントはすべて削除します。
データは最も小さくなります。

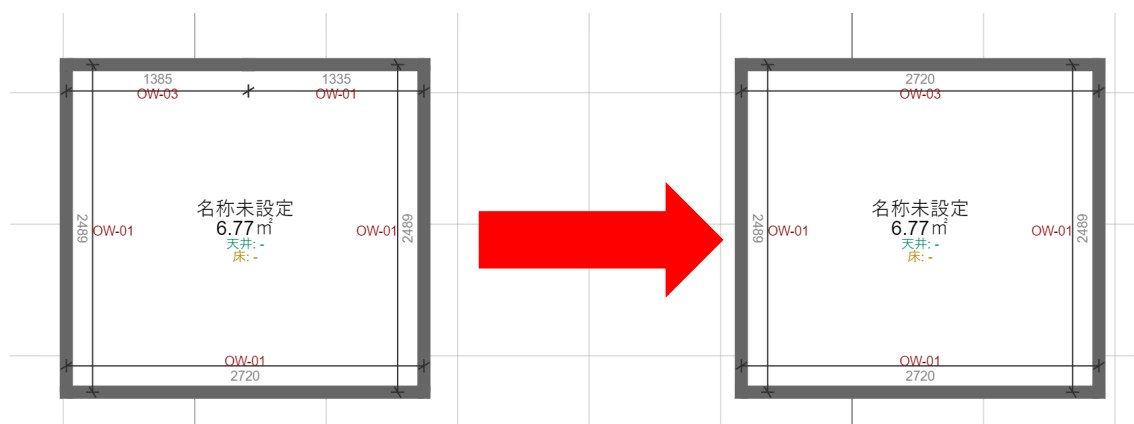
OK

27.3.1 簡易補正

部屋囲みの頂点座標を始点から終点まで順番に検査し、頂点を削除しても形状が変わらない頂点を削除します。

前後の壁の構造体記号が異なる場合も、削除対象となります。

始点から終点まで順番に補正していくため、前後の壁の構造体記号が異なる場合には、前の壁の構造体記号が採用されます。

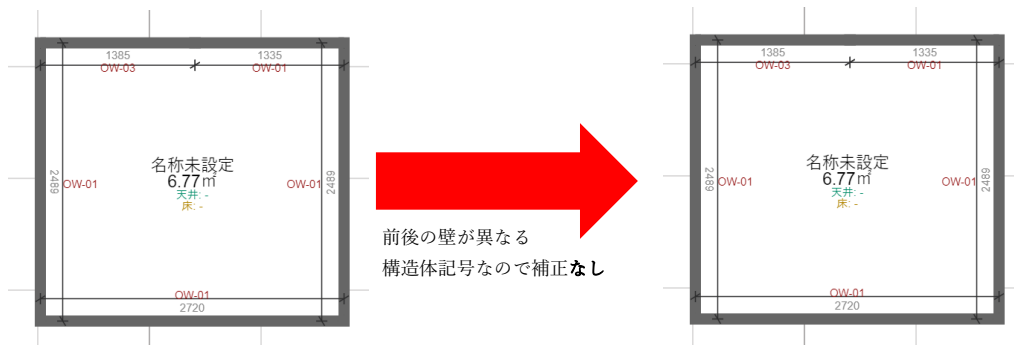


27.3.2 詳細補正

部屋囲みの頂点座標を始点から終点まで順番に検査し、頂点を削除しても形状が変わらない頂点を削除します。

前後の壁の構造体記号が異なる場合は、削除対象となりません。

●前後の壁の構造体記号が異なる場合は補正対象外



●前後の壁の構造体記号が同じ場合は補正対象

